ONLINE
ScreenAssist

OnlineScreenAssist マニュアル　Ver.4.1.2

2025 年 3 月

Provided by santec. Powered by ISL Online

目次

1. Online ScreenAssist とは 4

1.1 動作環境 4
1.2 通信環境 4

2. 管理機能 5

2.1 トライアルでのご利用について 6
2.2 オンラインページにログインする 7
2.3 オンラインページ 8
2.4 ユーザー 9
2.5 履歴 20
2.6 プロフィール 24
2.7 ライセンス 24
2.8 セキュリティ 26

3. 専用プログラムのインストール 33

3.1 PC アプリケーションコンソールのインストール 33
3.2 PC アプリケーションコンソールの設定 35
3.3 アンインストール 41
3.4 Online ScreenAssist Desk/Client のインストール 42
3.5 Online ScreenAssist Desk/Client の設定 42

4. モバイルアプリケーションのインストール 45

4.1 iPhone/iPad にインストールする 45
4.2 Android 端末にインストールする 46

5. Online ScreenAssist Agent インストール 47

5.1 オンラインページからのインストール 47
5.2 アクセスパスワード 48
5.3 常駐接続をセットアップ 49
5.4 複数台にインストールする：サイレントインストール win mac 50
5.5 クローニング 55

6. PC アプリケーションコンソールから接続する 56

6.1 接続方法 56
6.2 終了方法 57

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

目次

7. オンラインページから接続する 58

7.1 接続方法 58
7.2 終了方法 59

8. iPhone/iPad からの操作 60

8.1 iPhone/iPad アプリにログインする 60
8.2 接続方法 61
8.3 接続オプション 63
8.4 メニューバー 64
8.5 サブメニュー 67
8.6 アプリケーションの設定 68

9. Android 端末からの操作 71

9.1 Android アプリにログインする 71
9.2 接続方法 72
9.3 メニューバー 73

10. リモートコンピューターの操作 76

10.1 ツールバー 76
10.2 接続オプション 85
10.3 ファイルを転送する 87
10.4 ファイルマネージャー 89
10.5 ペンツールを使用する 91
10.6 チャットウィンドウ 92
10.7 フルスクリーン表示 93
10.8 マルチモニター 94
10.9 レコーディング 95

11. オンラインページ/PC アプリケーションコンソールの機能 97

11.1 接続先 PC をグループで管理する 97
11.2 アクションメニュー 100

12. PC アプリケーションコンソールの機能 104

12.1 代替接続を利用する 104
12.2 アクセスパスワードを保存する 107
12.3 ショートカットを作成 107

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

目次

13. Online ScreenAssist Agent の機能 108

13.1 タスクトレイ（システムトレイ） 108
13.2 メインウィンドウ 108
13.3 Online ScreenAssist Agent の設定 109
13.4 バージョンアップ情報とアップグレード 122
13.5 オフラインモード 125

14. ワンタイム接続 127

14.1 Online ScreenAssist Desk/Client の接続 127
14.2 起動画面 128
14.3 終了方法 129
14.4 PC アプリケーションコンソールの接続 129
14.5 オンラインページの接続 131

15. Web 会議を利用する 133

15.1 Web 会議の利用方法 133
15.2 ログインする 133
15.3 会議（セミナー）を作成する 133
15.4 Web 会議に参加する 135
15.5 メイン画面 137
15.6 オンラインページ 156

16. Wake On LAN 機能の設定 164

16.1 PC の BIOS 設定 164
16.2 Windows　OS の高速スタートアップを無効に設定する 165
16.3 ネットワークアダプター（LAN カード）の設定 165
16.4 Agent が同一ネットワーク内に存在する 166

17. Online ScreenAssist Agent のアンインストール 167

17.1 常駐接続リストから削除する 167
17.2 常駐接続プログラムのアンインストール：Windows の場合 167
17.3 常駐接続プログラムのアンインストール：Mac の場合 168

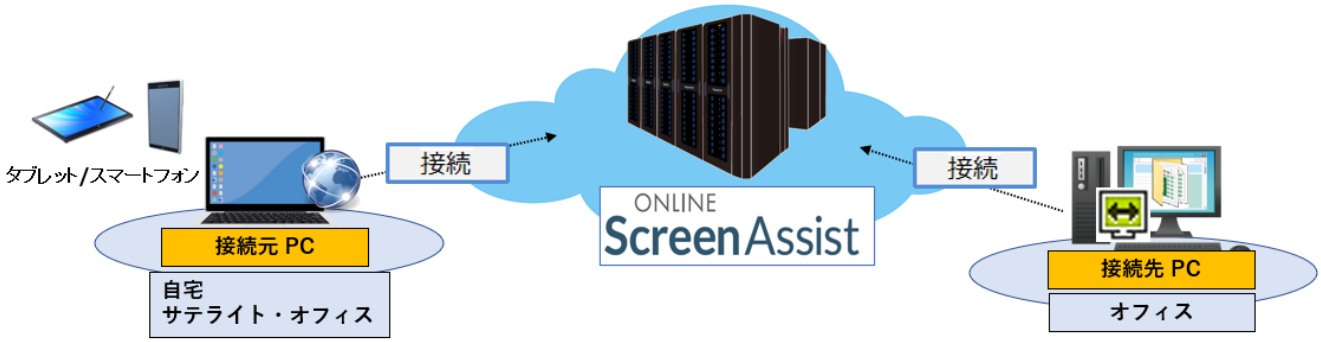
18. 留意事項 170

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

1. Online ScreenAssist とは

Online ScreenAssist は離れた場所にあるコンピューターの画面を共有・操作、サーバーのメンテナンス等やテクニカルサポートなどの業務を大幅に効率化するリモートサポートツールです。

■構成イメージ



■本マニュアルについて

本マニュアルで使用している画像は、Windows 版のものです。Mac 版をご利用の場合は一部画像が異なる場合がございますのでご了承ください。

各機能 Windows 版、Mac 版それぞれで利用可能かどうかは、各機能横にあるアイコンマークで参照することができます。

(例)Mac 版のみで利用可能な機能: mac

(例)Windows 版のみで利用可能: win

1.1 動作環境

オペレーティングシステム

Windows 10 32bit および 64bit / Windows 11 32bit および 64bit

Windows Server / 2016 / 2019 64bit / 2022 64bit

macOS Mojave / Catalina / Big Sur / Monterey / Ventura / Sonoma/ Sequoia

※Mac OS X Server はサポートしておりません。

1.2 通信環境

・最低速度: 256Kbps(DSL)以上

・外向き TCP ポート:7615/443/80 のいずれかの開放が必要です。

・ドメイン「*.OnlineScreenAssist.com」「*.islonline.com」「*.islonline.net」に対する接続許可が必要です

※詳しい動作環境は以下の URL より動作環境ファイルをダウンロードしご参照ください。

動作環境ファイル:https://www2.santec.com/osa/wp-content/uploads/environment_OSA.pdf

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2. 管理機能

Online ScreenAssist をご利用いただくには、アカウントを取得する必要があります。
オンラインページはライセンス所有者（以降：管理者）、および管理者が作成したユーザーがログインして利用できます。

■ログイン時注意点

ログインするアカウントは管理者の場合、アカウント通知書をご確認の上、アカウント ID と再設定したパスワードを入力ください。
ユーザーの場合は、ドメイン名と管理者が作成したユーザー名をアカウント ID として入力ください。

		ログイン時のユーザー名（アカウント ID）
ドメイン名	osaTest	
管理者 Email アドレス	osa-admin@osassist.com	\\osatest\osa-admin@osassist.com
管理者が作成したユーザー	user01	\\osatest\user01

■ユーザーの作成とログイン方法について

管理者（ライセンス所有者）はドメイン内にユーザーを作成して管理できます。ユーザーを作成している場合は、意図しないユーザーでのログインを防ぐため、**「¥¥ドメイン名¥ユーザー名（メールアドレス）」**の形式でログインすることを推奨しています。
（大文字、小文字は区別して認識されます）

・ユーザーを作成していない場合
　メールアドレス（例：tarou@santec.jp）
・ユーザーを作成している場合※
　(1)管理者（ライセンス所有者）
　　¥¥ドメイン名¥メールアドレス（例：¥¥santec¥tarou@santec.jp）
　(2)ユーザー（オペレーター）
　　¥¥ドメイン名¥ユーザー名（例：¥¥santec¥jirou）
　※ 環境によっては「¥」マークが「バックスラッシュ」で表示されます

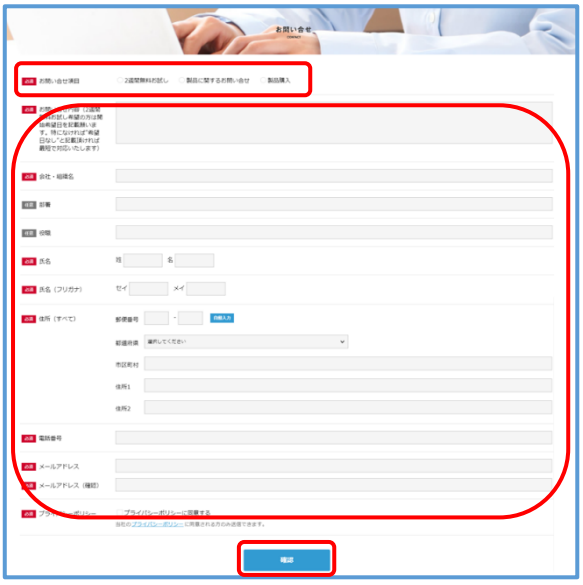
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.1 トライアルでのご利用について

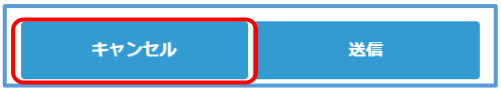
Online ScreenAssist の製品ご購入前に、Online ScreenAssist をトライアルとしてお試し頂けます。
トライアルでのご利用は以下の手順となります。

(1) 製品サイトへアクセスして[FREE 無料お試し]を選択します。
製品サイト URL:https://www.santec.com/osa/

(2) [お問合せ項目]を選択してください。必要事項を入力し、[確認]を選択します。



(3) 入力の修正を行う場合は画面下部の[キャンセル]を選択し、修正してください。



(4) 入力に誤りがないことを確認し、[送信]を選択します。

(5) 登録したメールアドレスにトライアルでのご利用案内が送付されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.2 オンラインページにログインする

トライアル版、または、製品版をご利用の場合、ユーザー専用のオンラインページをご利用します。

▼ログインページ

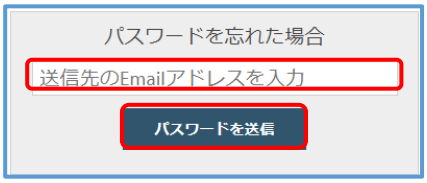
http://onlinescreenassist.com

ご登録いただいているアカウント(ユーザー名、パスワード)を入力して[ログイン]ボタンを選択します。

※ブラウザでログインページを開いたまま 15 分を経過した場合はページを更新してからアカウントを入力してください。

2.2.1 パスワードを忘れた場合

1. ログインページの[パスワードを忘れた場合]を選択します
2. アカウント作成時に登録した Email を入力、[パスワードを送信]を選択します。
3. 受信したメールからパスワードを再設定します。
   ※メール内リンクの有効期間は 1 時間です。



2.2.2 2 段階認証を有効にしている場合

2 段階認証を有効にしている場合、ログインを選択した後にセキュリティコードの入力を求められます。

セキュリティコードを入力して[認証する]ボタンを選択します。

※誤ったセキュリティコードを 3 回入力すると強制的にログアウトされます。

しばらく時間を置いた後、再ログインできるようになります。

「このデバイスを登録する」をチェックすると、次回ログイン時にセキュリティコードの入力が不要になります。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.3 オンラインページ

ログイン後、「ワンタイム接続」画面に移動します。

①	**製品**	Online ScreenAssist の各製品を利用できます （ワンタイム接続/常駐接続/Web 会議） 詳細な利用方法については、各製品のマニュアルをご参照ください
②	**管理**	・ドメイン管理 全体およびユーザー個別に機能の利用制限などが設定できます 本機能はライセンス管理者とライセンス管理者が許可したユーザーのみ利用可能です。詳細な利用方法については、ドメイン管理マニュアルをご参照ください https://islsupport.oceanbridge.jp/portal/ja/kb/isl-online/manual/administration ・ユーザー ユーザーの登録・削除・無効化、個別に制限をする設定などを行えます
③	**ダッシュボード**	・接続中のセッション 自身を含む全ユーザーの現在利用中のセッション状況（ワンタイム接続、常駐接続）が確認できます。
④	**マイアカウント**	・プロフィール ユーザー情報（Email、パスワード、氏名）を変更します。 ・ライセンス ご契約中のライセンス情報が表示されます。 ・セキュリティ 2 段階認証（多要素認証）の設定やアカウントにアクセスした端末情報を確認できます。 ・ログアウト ご利用中のアカウントからログアウトします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.4 ユーザー

ドメイン内にユーザーを作成し管理します。

2.4.1 ユーザー(オペレータ)の追加

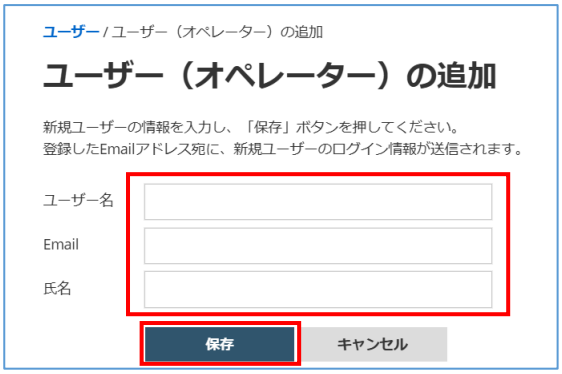
(1) [ユーザー(オペレーター)の追加]を選択して、ユーザーを作成します。

一度作成したユーザーのユーザー名は変更できません。

変更が必要な場合は、新規にユーザーを作成します。

(2) ユーザー名、Email、氏名(任意)を入力して、[保存]を選択します。

※ユーザー名は半角英数、 -(ハイフン)、_(アンダーバー)、ピリオド(.)の文字のみ利用できます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

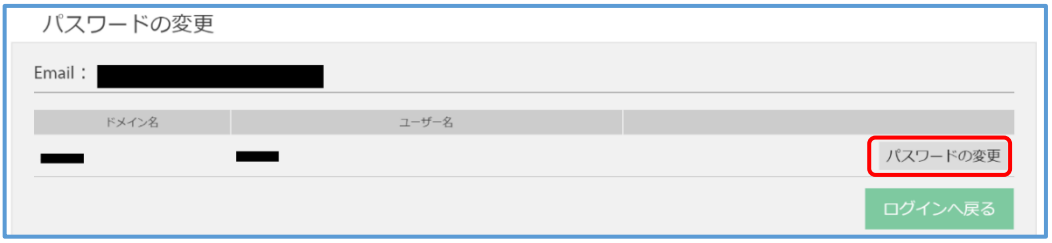
≪注意≫ 管理者以外のユーザー

ログイン時のユーザー名（アカウント ID）は「\\ドメイン名\設定したユーザー名」となります。

(3) 作成したユーザーの Email にパスワードを設定するメールが送信されます。

メール内の[パスワードの設定]を選択するとブラウザが起動し「パスワードの変更」画面が表示されます。

[パスワードの変更]を選択し、新しいパスワードを設定して、[変更してログイン]を選択します。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.4.2　プロフィールの変更

(1) [その他]-[プロフィールを変更]を選択します。

(2) Email、氏名を編集し、[プロフィールの変更]を選択します。

2.4.3　CSV ファイルで取り込む

(1) [CSV から取り込む] を選択します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

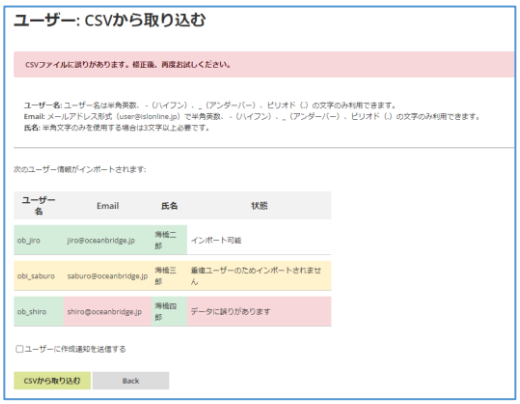
(2) 取り込むユーザーを定義した CSV ファイルをアップロードし、[確認] を選択します。

※CSV ファイルは、先頭列から「ユーザー名(一意の ID), Email, 氏名」の順で作成します。
なお、列名は含めずに作成してください(列名がある場合、エラーによりインポートができません)。
※区切り文字はコンマ(","）またはセミコロン(";")が使用できます。
※「氏名」に半角文字のみを使用する場合は 3 文字以上が必要です。
※CSV ファイルで一度に取り込めるユーザーの上限は 500 です(取り込みは 10 分程度かかります)。
一度に大量のユーザーを取り込むとサーバーエラーが表示されることがありますが、内部では処理が実行されます。
処理の完了後に再度アクセスするとページが表示されます。

(3) 取り込みユーザーの確認画面が表示されます。確認後、[CSV から取り込む] を選択します。
取り込みユーザー宛にメール通知を送信する場合には、「ユーザーに作成通知を送信する」にチェックを入れます。

※インポートデータにエラーがあるとインポートができません。
CSV ファイルを修正後、再度アップロードしてください。

(4) 取り込みユーザーの確認画面が表示されます。確認後、[CSV から取り込む] を選択します。
インポート後、取り込みが完了したユーザーの一覧が表示されます。
作成通知オプションにチェックを入れた場合、作成された各ユーザーはメール通知内のリンクから
パスワードが設定できます。



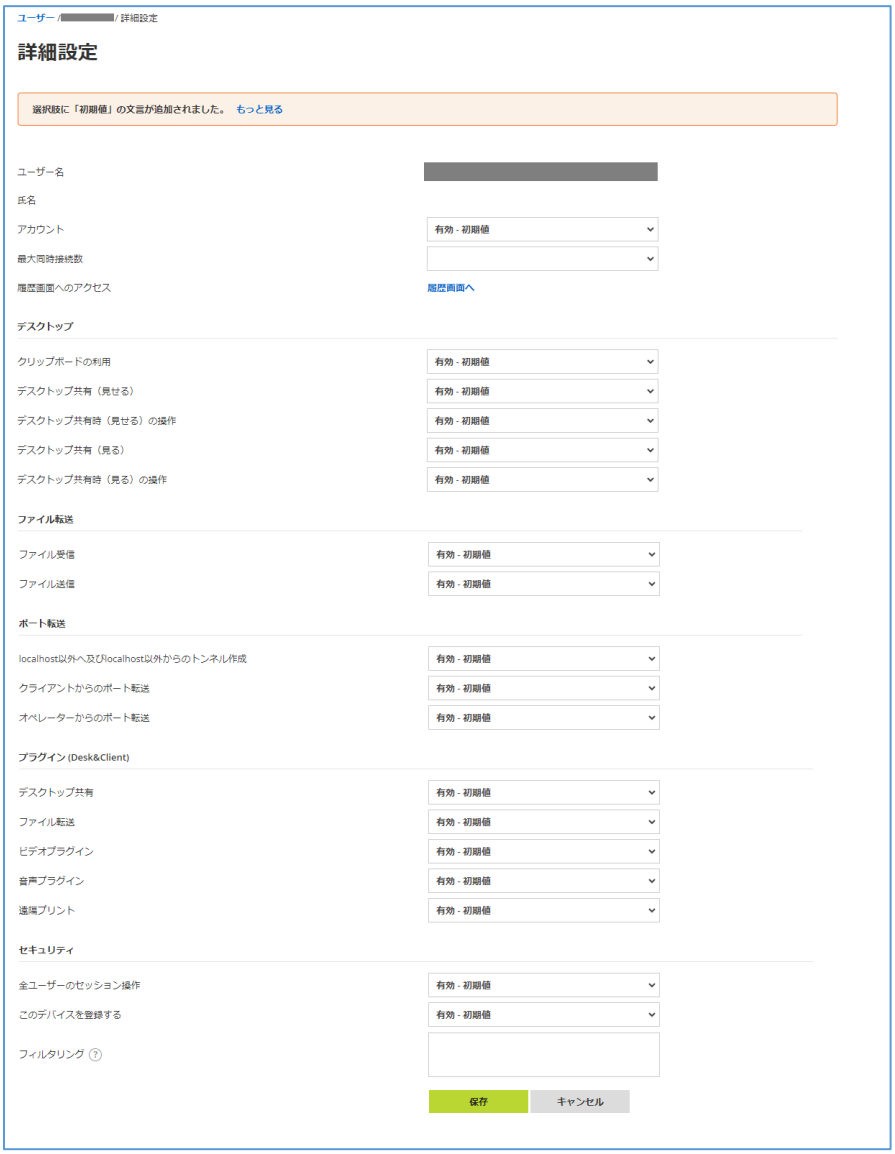
※重複したユーザーは取り込みがスキップされます。
また、CSV ファイル内にユーザー名の重複がある場合は一番上の行のユーザーを取り込み、
それ以下の重複はスキップします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.4.4　詳細設定、ダイアログ設定

ユーザーごとに利用できる Online ScreenAssist の機能を制限します。

(1) 詳細設定



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

アカウント	このユーザーによる製品の利用を許可/禁止※1します
最大同時接続数	複数のライセンスをご利用の場合、このユーザーで利用できる接続先端末数を制限します（体験版をご利用中の方は「2」に設定されています）
履歴画面へのアクセス	このユーザーによる製品の利用履歴の閲覧を許可/禁止します※2 （初期値では、履歴の閲覧は禁止されています）
デスクトップ	クリップボードや画面共有に関する機能を制限します
クリップボードの利用	デスクトップ共有中、オペレーター端末とクライアント端末でのクリップボードの共有を許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見せる）	デスクトップ共有を行う際の「見せる」機能を許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見せる）の操作	オペレーターの画面を見せる際、クライアントによるコントロールを許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見る）	デスクトップ共有を行う際の「見る」機能を許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見る）の操作	クライアントの画面を見る際、オペレーターによるコントロールを許可/禁止※1します
ファイル転送	接続先とのファイル転送機能の制限します
ファイル受信	ファイル受信を許可/禁止※1します
ファイル送信	ファイル送信を許可/禁止※1します
ポート転送	代替接続に関する機能を制限します
localhost 以外へ及び localhost 以外からのトンネル作成	内部ネットワーク端末への接続を目的としたクライアント端末の利用、ポート転送によるプリンターの使用を許可/禁止※1します
クライアントからのポート転送	クライアントからのポート転送を許可/禁止※1します
オペレーターからのポート転送	オペレーターからのポート転送を許可/禁止※1します
プラグイン（Desk&Client）	画面共有やファイル転送に関する機能を制限します
デスクトップ共有	画面共有機能の利用を許可/禁止※1します
ファイル転送	ファイル転送機能の利用を許可/禁止※1します
ビデオプラグイン	ビデオチャット機能の利用を許可/禁止※1します
音声プラグイン	音声チャット機能の利用を許可/禁止※1します
遠隔プリント	遠隔プリント機能の利用を許可/禁止※1します 現在ご利用できません
全ユーザーのセッション操作	ドメイン内でアクティブなセッション（自身を含む）の切断を許可/禁止※1します
このデバイスを登録する	2 段階認証の際に表示されるオプション[このデバイスを登録する]の利用を許可/禁止※1します許します
フィルタリング※3	ユーザーが利用できる端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します 許可：allow_ip, allow_mac, allow_all 禁止：deny_ip, deny_mac, deny_all

※1 許可：有効にします / 禁止：無効にします。
「初期値」とは、その値がドメインレベルの設定値から継承されていることを意味します。
※2 「履歴画面へ」を選択後、すべてのユーザーのアクセス権限を一括で設定します。
※3 フィルタリングについて

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

ユーザーが利用できる接続元端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します。
フィルタリングは「Online ScreenAssist」の使用を許可/禁止するものであるため、該当のユーザーは
リモート接続が出来なくなります。

・フィルタリングについて

ユーザーが利用できる端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します。フィルタリングは「Online ScreenAssist」の使用を許可/禁止するものであるため、当該ユーザーは本サービスを利用できなくなります。
改行または半角セミコロンで区切って設定します。

- 記入例 1: allow_ip xxx.xxx.xxx.xxx
  allow_ip xxx.xxx.xxx.0/255.255.255.240
  deny_all
  このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の IP アドレスを持つ端末、または「xxx.xxx.xxx.0/28」のサブネットマスクに属する端末上でのみ製品を利用できます。
- 記入例 2: allow_mac xx-xx-xx-xx-xx-xx;deny_all
  このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の mac アドレスを持つ端末のみ製品を利用できます。
- 記入例 3: allow_ip xxx.xxx.xxx.xxx
  allow_mac xx-xx-xx-xx-xx-xx
  deny_all
  このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の IP アドレスを持つ端末、または「xx-xx-xx-xx-xx-xx」の MAC アドレスを持つ端末上でのみ製品を利用できます。

注意:

現在、サブネットマスクのフィルタリングに CIDR 表記での記述ができません。

補足:

・フィルタリングはユーザー単位、接続の端末単位の 2 箇所で設定できます。両者は並行して設定することも可能です。

・本項目では、ユーザー単位でのフィルタリング設定方法を記載しています。接続元の端末単位で接続先コンピューターを制限したい場合は、接続先コンピューターから設定する必要があります。

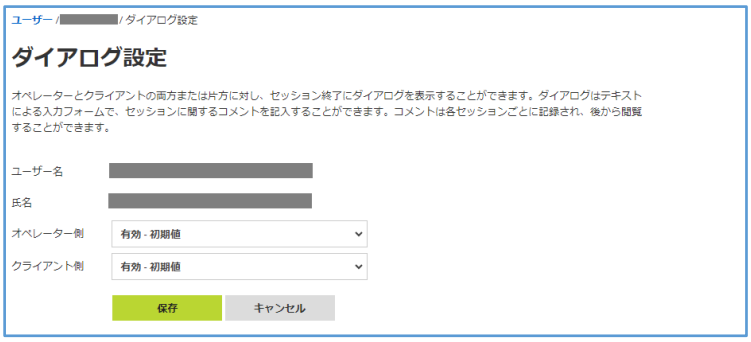
・IP アドレスによるフィルタリングは、Online ScreenAssist サーバーへのアクセスで使用する IP アドレスを指定します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

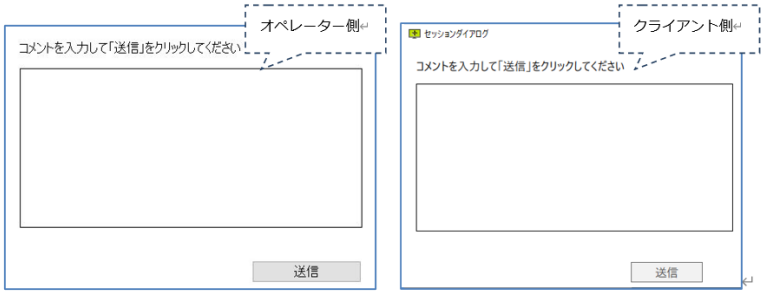
(2) ダイアログ設定

有効にした場合、リモート接続終了時に表示されるセッションダイアログにコメントを入力できます。

また、セッション中のチャット内容が履歴に保存されるようになり、ここから転送されたファイルの履歴も確認できます。



セッションダイアログ



セッションダイアログに入力したコメントおよびチャット内容は、履歴で確認できます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■ユーザー(オペレーター)をエクスポートする

[エクスポート] を選択して、ドメイン内のユーザーと各ユーザーに割り当てられた設定の一覧を CSV ファイルに出力できます。

氏名	ユーザーの氏名を出力します
ニックネーム	ユーザーのニックネームを出力します
ユーザー名	ログインに利用する Email またはユーザー名を出力します
Email	ユーザーの Email を出力します
アカウント	「アカウント」の設定値※1 を TRUE/FALSE※2 で出力します
最大同時接続数	「最大同時接続数」の設定値※1（接続先端末数の制限台数）を数字で出力します
デスクトップ共有	「デスクトップ共有」の設定値※1 を TRUE/FALSE※2 で出力します
ファイル転送	「ファイル転送」の設定値※1 を TRUE/FALSE※2 で出力します

※1 TRUE：有効 / FALSE：無効

※2 CSV ファイルの区切り文字はセミコロン（;）またはコンマ（,）がご利用いただけます

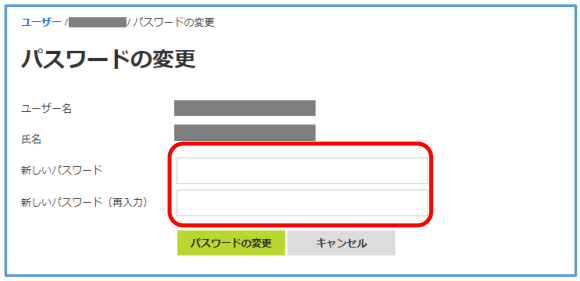
■ユーザー(オペレーター)がパスワードを変更する

・管理者（ライセンス所有者）がユーザーのパスワードを強制的に変更する場合

(1) [その他]-[パスワードを変更] を選択します。

(2) 8 文字以上の推測されにくいパスワードを設定し、[パスワードの変更] を選択します。

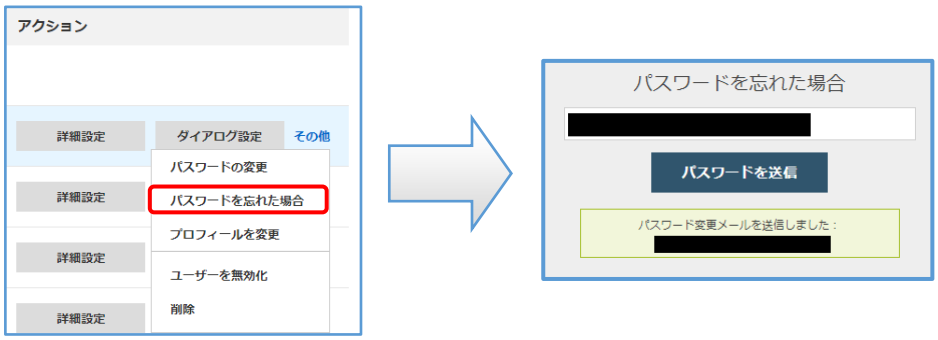
パスワードには ASCII 印字可能文字（半角英数字、ハイフンなど）が使用できます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

・ユーザーにパスワードを設定させる場合

ユーザー一覧の[その他]-[パスワードを忘れた場合] を選択すると、ユーザーの Email に変更に必要なメールが自動で送信されます。再度変更メールを送信する場合は、[送信] を選択します。

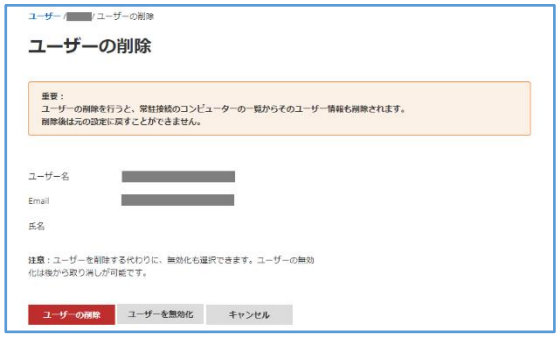


■ユーザー（オペレーター）の削除

[ユーザーの削除] を選択して、対象のユーザーを削除します。

1 度ユーザーを削除すると元に戻すことができないのでご注意ください。

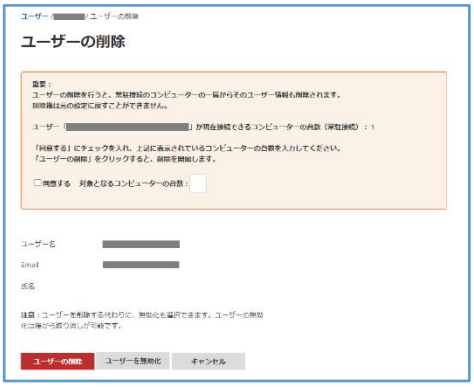
なお、ユーザーの無効化では該当アカウントの停止が可能な他、後から取り消しもできます。



・ユーザーが常駐接続の接続先（クライアント）を登録している場合

以下の画面が表示されます。

「同意する」にチェックし、「このユーザーが現在接続できるコンピューターの台数（常駐接続）」に表示されている数字を「対象となるコンピューターの台数」に入力し、[ユーザーの削除] を選択します。



・対象ユーザーが常駐接続のグループ所有者の場合

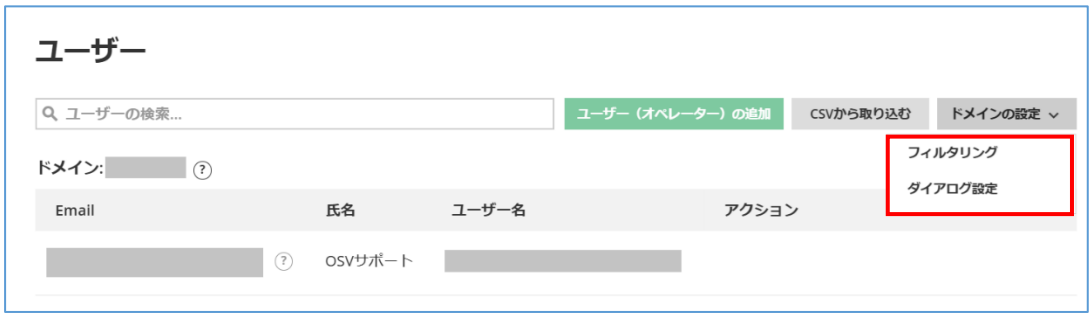
対象ユーザーが常駐接続のグループ所有者の場合、ユーザーを削除することはできません。

ユーザーの無効化によりアカウントを使用停止にするか、表示された警告のリンクからグループの所有者を変更後、ユーザーを削除してください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■ドメインの設定を変更する

「フィルタリング」および、「ダイアログ設定」は、[ドメインの設定] でドメイン全体に対しても設定できます。

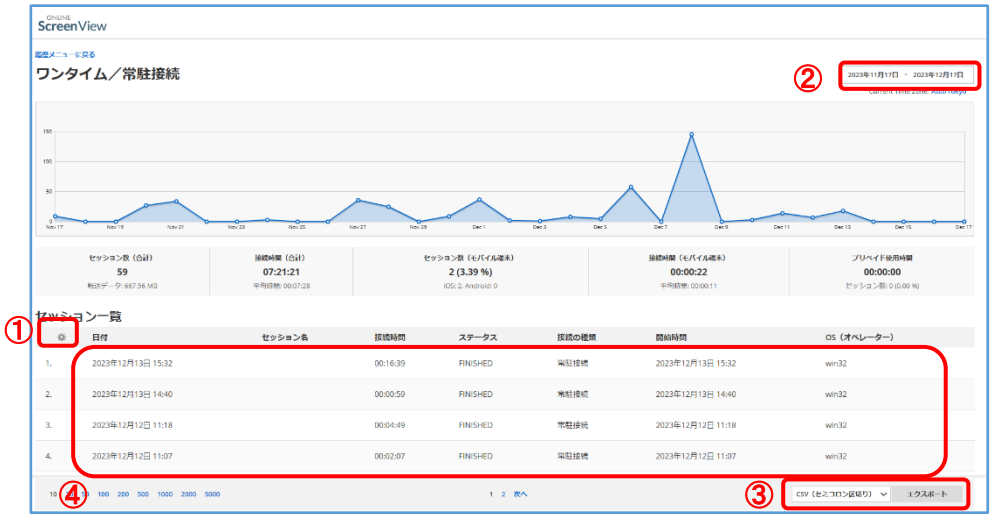


2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.5 履歴

利用状況（履歴）を確認できます。

■ワンタイム接続／常駐接続



①ツールボタン			セッション履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れ[変更] を選択します
②期間選択			表示する期間を選択します（日.月.年）
③エクスポート			セッション履歴を CSV 出力します 区切り文字はカンマ(,)またはセミコロン(;)を指定します
④セッション履歴	**項目名**	**表示名**	**説明**
	日付	Date	セッションコード取得日時
	セッションコード	Session Code	セッションコード
	セッション名	Session Name	セッションにつけられた名称
	ユーザー名	Username	接続を行ったユーザー名
	Email（クライアント）	Client Email	Email 招待によってセッションに参加したクライアントのメールアドレス
	接続時間	Session Duration	セッション接続時間の合計
	ステータス	Status	RUNNING：セッションの接続時 FINISHED：セッションの一時停止および終了時 RECONNECTED：一時停止からの再開およびセッション転送による再接続時

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

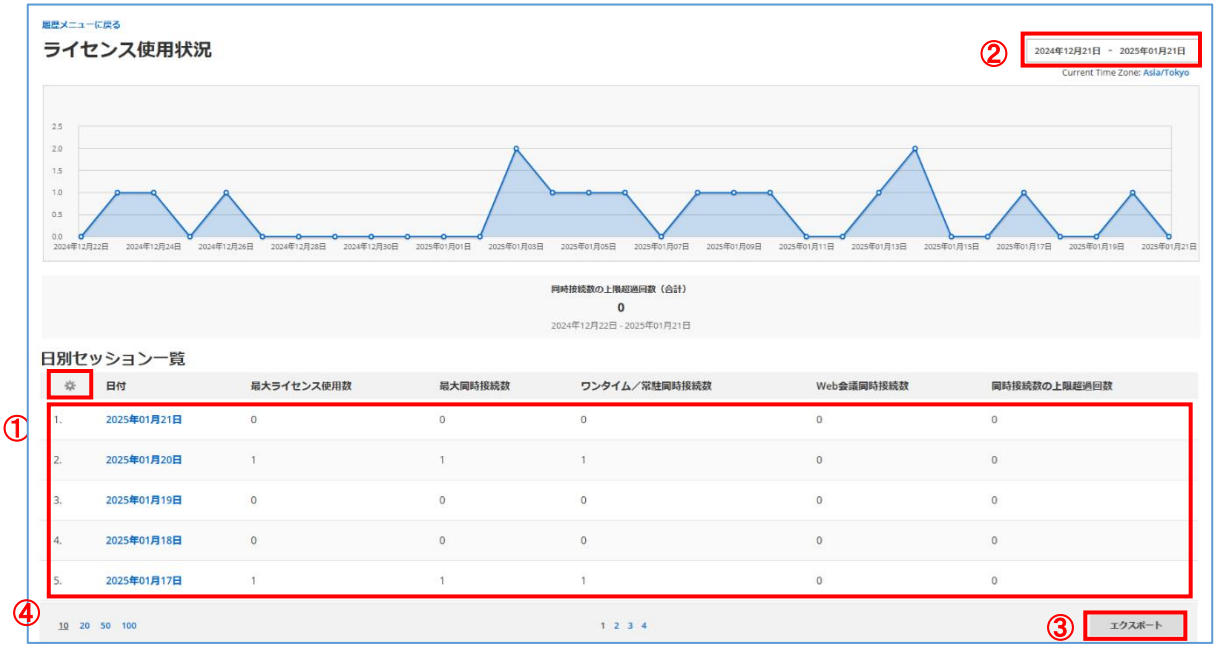
	接続の種類	Session Type	セッション接続の種類（ワンタイム接続/常駐接続）
	開始時間	Session Start	セッションの開始時間（UTC）
	転送データ（Bytes）	Bytes	セッション中に転送されたデータ量の合計
	サーバー	Server	接続に使用した中継サーバー
	OS（オペレーター）	Desk Platform	オペレーターの OS 種別
	Ver（オペレーター）	Desk Version	オペレーターが接続に使用したプログラムのバージョン
	IP アドレス（オペレーター）	Desk IP	オペレーターの IP アドレス
	OS（クライアント）	Client Platform	クライアントの OS 種別
	Ver（クライアント）	Client Version	クライアントが接続に使用したプログラムのバージョン
	IP アドレス（クライアント）	Client IP	クライアントの IP アドレス
	ホスト名（クライアント）	Client Hostname	クライアントのホスト名（PC 名）
	詳細（クライアント）	Client Description	クライアントの詳細
	ホスト名（オペレーター）	Desk Hostname	オペレーターのホスト名（PC 名）
	MAC アドレス（クライアント）	Client MAC Addresses	クライアントの MAC アドレス一覧
	MAC アドレス（オペレーター）	Desk MAC Addresses	オペレーターの MAC アドレス一覧
	プリペイド使用時間	PPU Minutes Used	プリペイドライセンス使用時間
	セッションダイアログ（オペレーター）	Desk Comment	接続元セッションダイアログに記載した内容※
	セッションダイアログ（クライアント）	Client Comment	接続先セッションダイアログに記載した内容※
	チャット内容	Chat Transcript	セッション接続中のテキストチャットの内容や送受信された転送ファイルの名称※
	メモ	Notes	セッションに関する補足情報
	編集	Edit	「セッション名」「Email（クライアント）」「メモ」編集用アイコンの表示
	マルチセッション ID	Multi-session ID	使用しません

※ユーザーページより「ダイアログ設定」を有効にした場合のみご利用いただけます

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■ライセンス使用状況



①ツールボタン	履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れます
②期間選択	表示する期間を選択します（年.月.日）
③エクスポート	ライセンス使用状況履歴を CSV 出力します 区切り文字はセミコロン(;)が適用されます

④ライセンス使用履歴

項目名	表示名	説明
日付 （または時間）	Date	ユニークな日付（または時間）です
最大ライセンス使用数	Peak Licence Usage	該当する日付（または時間）の最大ライセンス使用数が表示されます（最大同時接続数と同じです）
最大同時接続数	Max Concurrent Connections	該当の日付（または時間）に行われた、常駐接続の最大同時接続数の値が表示されます
ワンタイム/常駐同時接続数	ISL Light Sessions	該当の日付（または時間）に行われたワンタイム接続、常駐接続の最大同時接続数の値が表示されます
Web 会議同時接続数	ISL Groop Sessions	該当の日付（または時間）に行われた Web 会議の最大同時接続数の値が表示されます
同時接続数の上限超過回数	License Limit Hit	同時接続数が契約ライセンス数に到達している状態の時に新規セッションが試行され、接続に失敗した回数が表示されます

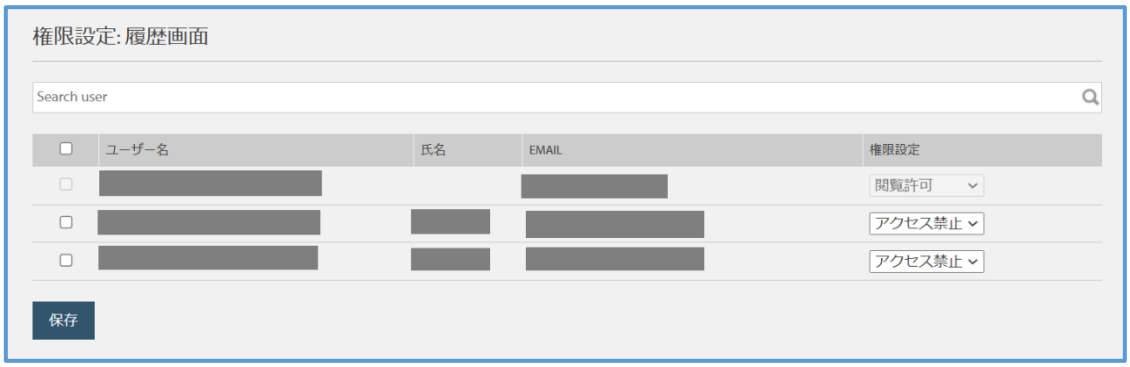
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■権限設定：履歴画面

各ユーザーについて、製品の履歴画面へのアクセス権限を一括で設定できます。

権限設定のドロップダウンリストから[閲覧許可/アクセス禁止]を選択後、[保存]で設定を適用します。

※初期値では、管理者以外のすべてのユーザーの権限設定が[アクセス禁止]となっています。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.6 プロフィール

ユーザー情報（Email、パスワード、氏名、ニックネーム）を変更します

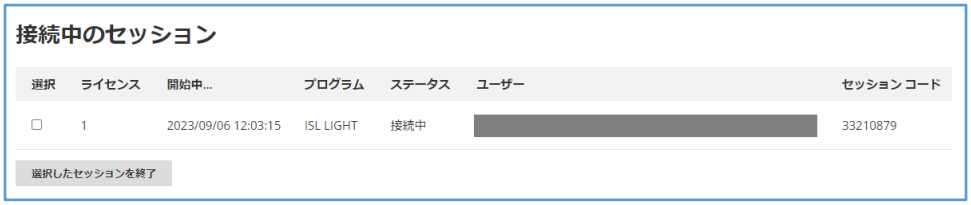
設定変更	ユーザー情報（Email、パスワード、氏名、ニックネーム）、システムのタイムゾーンを変更します。 ※パスワードや電子メールを変更するときは、再度ログインが必要になります。
その他の設定	管理するドメインに対して標準のタイムゾーンを設定します。

2.7 ライセンス

契約ライセンス情報を確認できます。

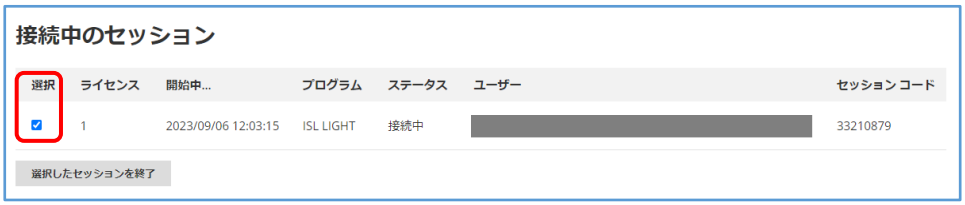
■現在利用中のセッションを確認/切断する

(1) [表示] を選択すると、自身を含む全ユーザーの現在利用中のセッション状況が確認できます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(2) セッションを強制的に切断する場合は、切断するセッションにチェックを入れ、[選択したセッションを終了] を選択します。

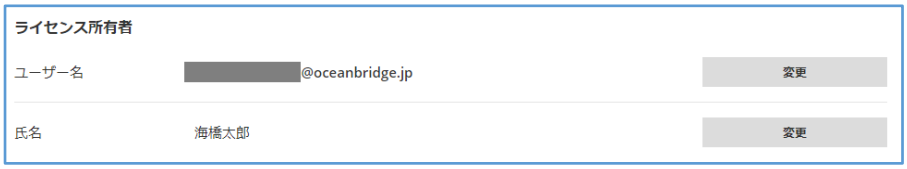


■ライセンスの契約内容を確認する

ご契約中のライセンス情報が表示されます。

■ライセンス所有者の情報を確認する

ライセンス所有者の情報を表示します。（変更はできません）



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

2.8 セキュリティ

2 段階認証（多要素認証）の設定やアカウントにアクセスした端末情報を確認できます。

2.8.1 2 段階認証とは

2 段階認証を有効にすると、アカウントのセキュリティを強化できます。

ログイン時にパスワード入力に加えて認証アプリ、電話番号、Email から取得できるセキュリティコードの入力が必要になります。

サポート対象の認証アプリは以下の通りです。

・Google Authenticator

・Microsoft Authenticator

2 段階認証はユーザーごとに設定されるため、管理者（ライセンス所有者）の 2 段階認証を有効にしてもドメイン全体には適用されません。

ドメインに属するユーザーの 2 段階認証はユーザーごと個別に設定を行ってください。

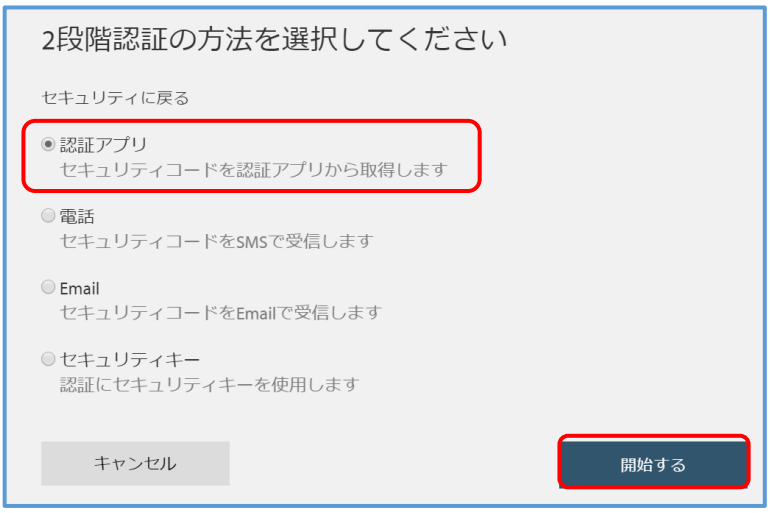
何らかの理由（端末の故障など）でセキュリティコードが取得できない場合、アカウントにログインできなくなります。
必ず複数の認証方法・端末を設定してください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

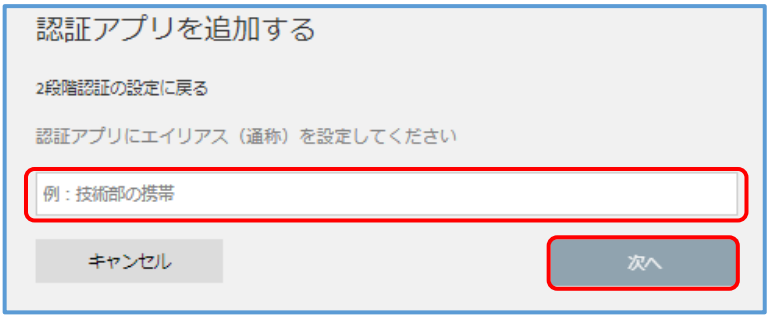
2.8.2　2 段階認証を設定する

■認証アプリ

(1) セキュリティページより[2 段階認証]を選択し、認証アプリを選択して[開始する]を選択します。



(2) 認証アプリに通称（任意の名前）を設定し、[次へ]を選択します。



(3) デバイス上で認証アプリを起動後、アカウントのセットアップを行います。

① [手動で設定を行う]をクリックします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

② 設定キーが表示されます。

③ 認証アプリを起動後、アカウントのセットアップを行います。

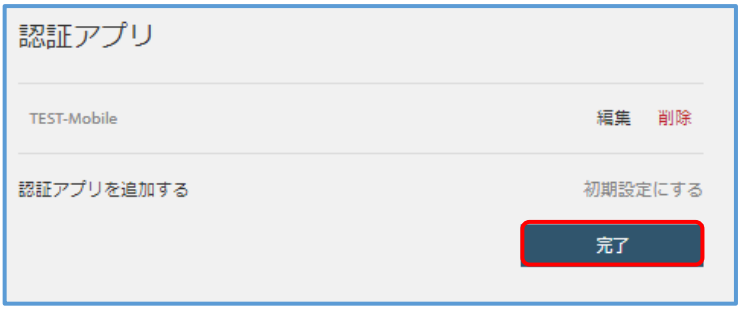
④ 認証アプリの設定を保存して、認証コードを発行します。

(4) 認証アプリの設定を保存して、認証コードを発行します。

(5) ブラウザ画面に戻り、[次へ]を選択します。

(6) 発行された認証コードを入力して、[次へ]を選択します。

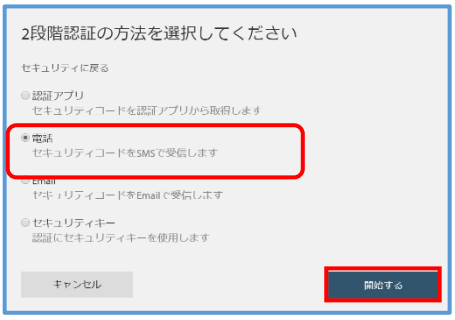
(7) 認証を完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティコードの有効期間は「1 分間」です

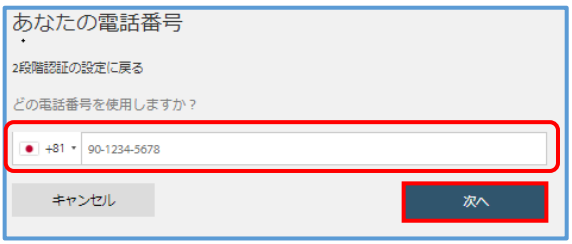
以降、設定したアカウントでログインすると、ログイン情報（ユーザー名およびパスワード）の入力に続き、認証アプリの認証コードの入力が必要となります。

(8) セキュリティページより[2 段階認証]を選択し、電話番号を選択して[開始する]を選択します。



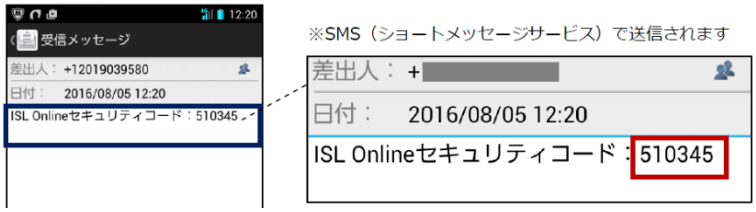
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(9) セキュリティコードの送信先（携帯電話番号）を設定し、[次へ]を選択します。

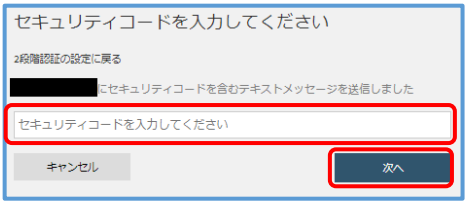


■電話番号（SMS）

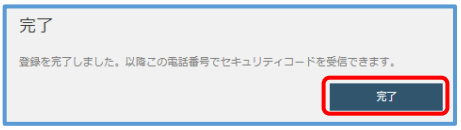
(1) 登録した電話番号に、セキュリティコード（6 桁）が SMS で送信されます。※機種により表示の違いがあります



(2) ブラウザ画面で受信したセキュリティコードを入力して、[次へ]を選択します。



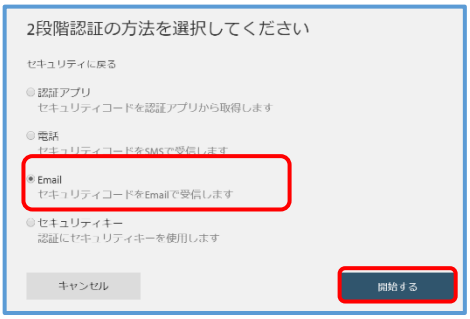
(3) 認証が完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。



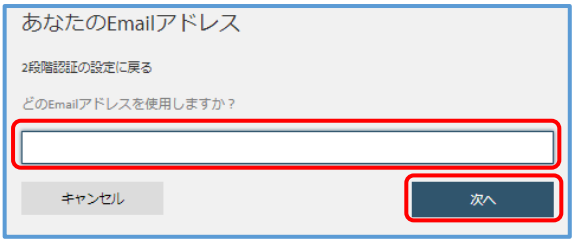
設定したアカウントでログイン後、ログイン情報の入力に続き、セキュリティコードの入力が必要になります。

■Email

(1) セキュリティページより[2 段階認証]を選択し、Email を選択して[開始する]を選択します。



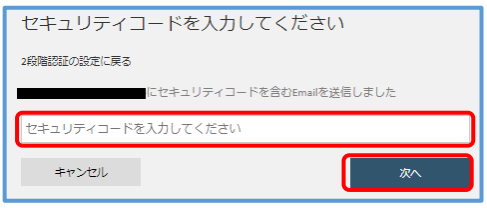
(2) セキュリティコードの送信先（Email）を入力して、[次へ]を選択します。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(3) 登録した Email 宛に、セキュリティコード(6 桁)が通知されます。

(4) ブラウザ画面でセキュリティコードを入力して、[次へ]を選択します。



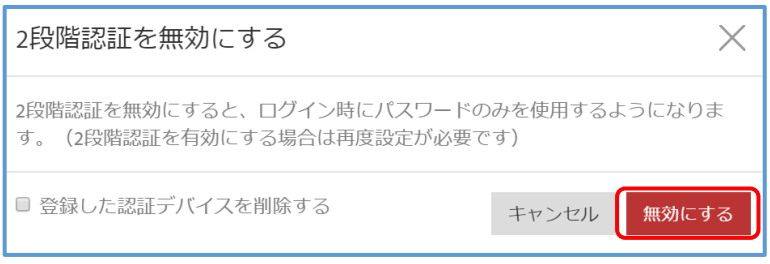
(5) 認証を完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。

2.8.3 2 段階認証を解除する

(1) 2 段階認証を設定している場合、「有効」が表示されます。

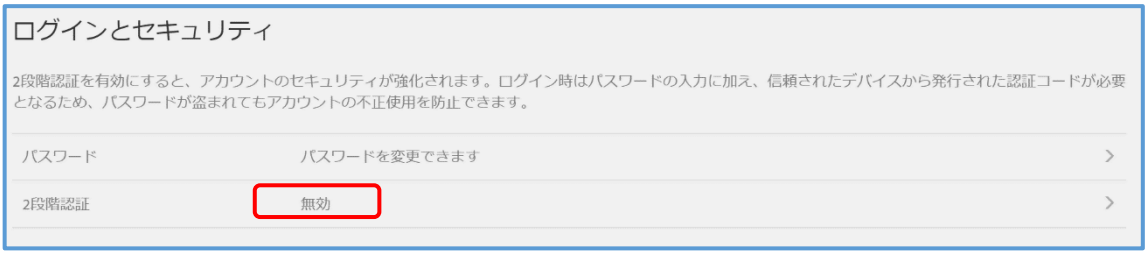
(2) 2 段階認証を解除(無効)する場合、[無効にする]を選択します。

(3) 表示されたメッセージを確認して、[無効にする]を選択します。



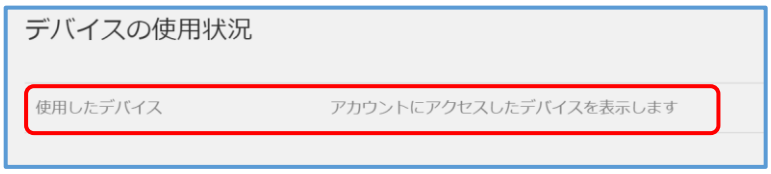
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(4) セキュリティページの 2 段階認証の項目が、[無効]になっていることを確認します。



2.8.4 アカウントにログインした端末の履歴を確認する

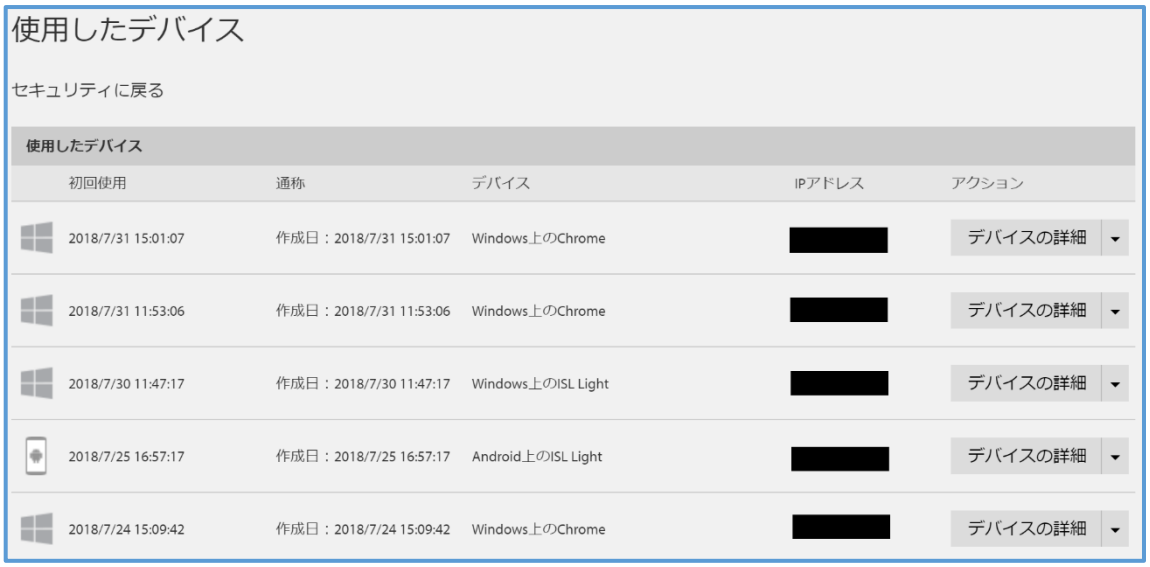
[使用したデバイス]を選択すると、アカウントにログインした端末の履歴を確認できます。



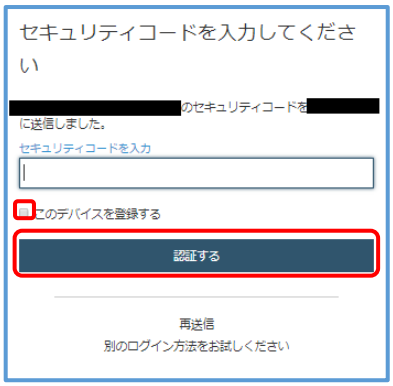
2 段階認証を有効にした状態でオンラインページにログインする際「このデバイスを登録する※」にチェックを入れた場合、対象のデバイスからのアクセスに関しては 2 段階認証を求められなくなります。

※上記設定を行った場合「30 日間」経過すると再度認証要求があります

対象のデバイスを削除することで 2 段階認証の認証要求が再開します。



■このデバイスを登録する



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

※複数の認証方法・端末を設定した場合でも、セキュリティコードは「初期設定」の宛先のみに送信されます。認証画面の[別の認証方法でコードを取得]を選択することで、他の認証方法や端末でセキュリティコードが取得できます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3. 専用プログラムのインストール

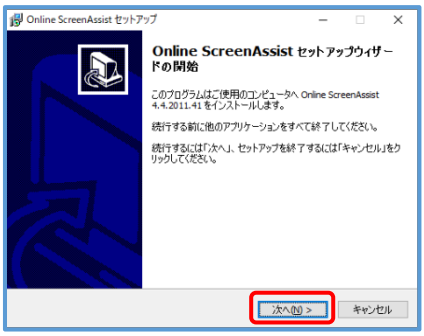
Online ScreenAssist は Web ブラウザ（オンラインページ）からご利用の他、専用アプリをご用意しています。

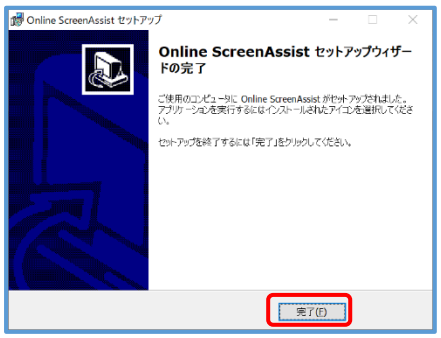
3.1 PC アプリケーションコンソールのインストール

(1) 製品ホームページのサポートページ(https://www.santec.com/osa/support/download/)にアクセスし、Online ScreenAssist 接続プログラム（以降：PC アプリケーションコンソール）をダウンロードします。
(2) [インストール]を選択します。
(3) [今すぐ起動する]を選択するとインストールせず、すぐに利用を開始します。

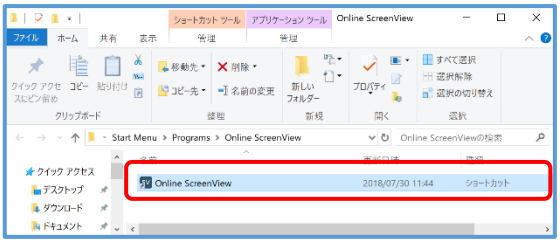
※インストールは必須ではありませんが、インストールした場合は Windows の[すべてのプログラム]（Mac の場合はアプリケーション）から、または作成したショートカットからすぐに起動できるようになります。

(4) [次へ]を選択するとインストールが始まります。インストールが終了したら[完了]を選択します。





(5) ショートカットを作成する
[スタートメニュー]-[OnlineScreenAssist]を右クリックし、[その他]-[ファイルの場所を開く]を選択します。Online ScreenAssist のショートカットを任意の場所にコピーする、または[送る]-[デスクトップ（ショートカット作成）]を選択するとデスクトップにショートカットが作成されます。
C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥OnlineScreenAssist



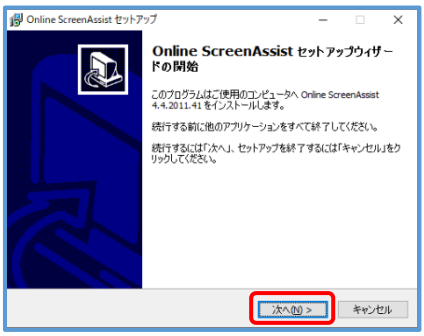
PC アプリケーションコンソールのインストール(1) 製品ホームページのサポートページ(https://www.santec.com/osa/support/download/)にアクセスし、Online ScreenAssist 接続プログラム（以降：PC アプリケーションコンソール）をダウンロードします。
(2) [インストール]を選択します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(3) [今すぐ起動する]を選択するとインストールせず、すぐに利用を開始します。

※インストールは必須ではありませんが、インストールした場合は Windows の[すべてのプログラム]（Mac の場合はアプリケーション）から、または作成したショートカットからすぐに起動できるようになります。

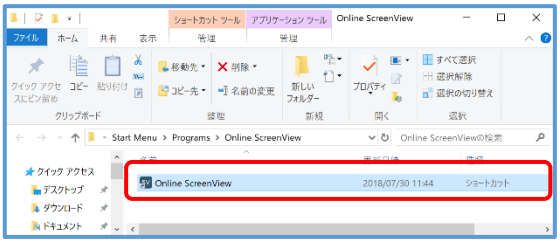
(4)　[次へ]を選択するとインストールが始まります。インストールが終了したら[完了]を選択します。



(5) ショートカットを作成する

[スタートメニュー]-[OnlineScreenAssist]を右クリックし、[その他]-[ファイルの場所を開く]を選択します。Online ScreenAssist のショートカットを任意の場所にコピーする、または[送る]-[デスクトップ（ショートカット作成）]を選択するとデスクトップにショートカットが作成されます。

C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥OnlineScreenAssist



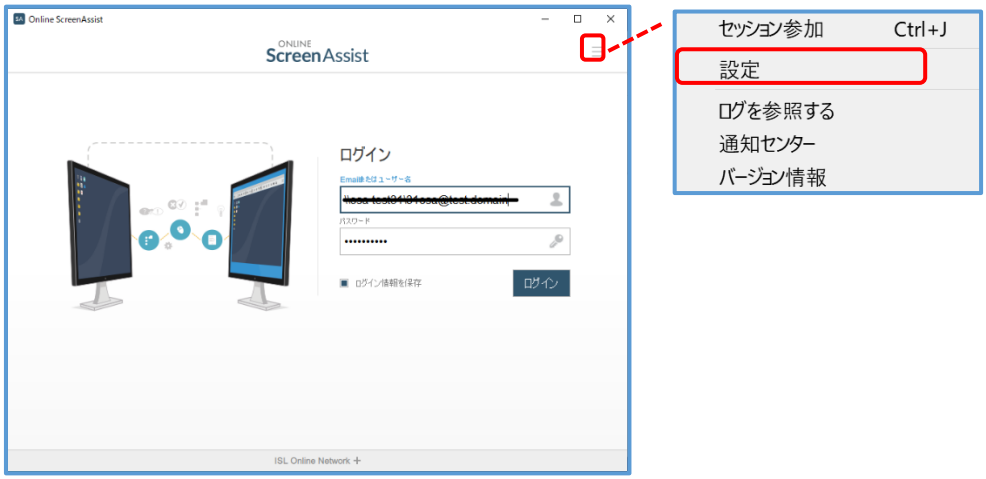
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.2 PC アプリケーションコンソールの設定

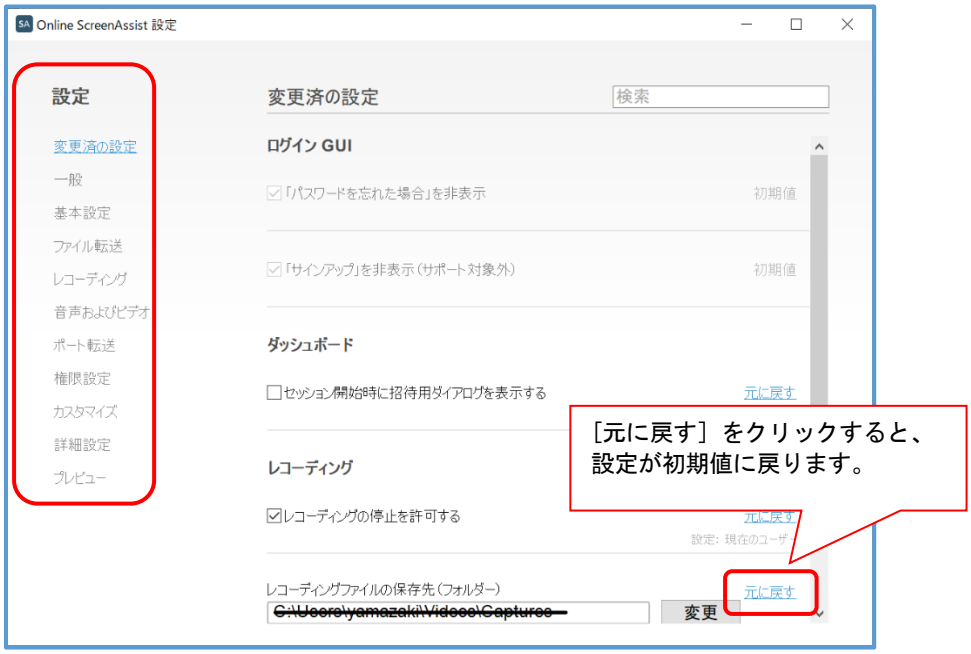
PC アプリケーションコンソールの設定内容を変更できます。

表示される項目は状態（接続前、接続後など）によって変わります。

設定を反映させるには PC アプリケーションコンソールの再起動が必要な場合があります。



■設定画面



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.2.1　一般

自動アップグレードなど、一般的な内容に関する設定を行います。

自動アップグレードなど、一般的な内容に関する設定を行います。

自動アップグレード	ISL Light のアップグレードが可能かどうかの確認を行う頻度を「無効」「毎月」「毎週」「毎日」の中から選択します（初期値：毎日）。
言語	使用する言語を選択します。
ダッシュボード（初期設定）	「常駐」「ワンタイム」の中から、ログイン後に表示するダッシュボードの画面を選択します（ログオフ後も設定は保存されます）。
セッション開始時に招待用ダイアログを表示する	チェックを入れると、ワンタイム接続でセッションコードの取得と同時に「セッションに招待する」の画面が開くようになります。
開始時にチュートリアルを表示する	チェックを入れると、ログイン後にメニューバー上にチュートリアルを表示します。
セッション終了後、セッションコードの入力画面を閉じる	チェックを入れると、ワンタイム接続でセッションコードの取得と同時に「セッションに招待する」の画面が開くようになります。
セッション中のツールバーの表示位置	セッション中に表示されるツールバーの位置を選択します。
セッションがインアクティブ状態になっている時間(分)	指定した期間（分）接続先への操作がない（インアクティブ状態の）場合、セッションを終了します。初期値（0）に設定時は、インアクティブ状態の持続時間に関わらず、セッションは終了しません。
セッションを終了する前に、セッションがインアクティブであることを表示する時間(秒)	インアクティブ状態が続いたためにセッションを終了する前にメッセージを表示する期間（秒）を設定します。0 に設定時にはメッセージを表示せず、即座にセッションを終了します。（初期値：60）（[セッションがインアクティブ状態になっている時間(分)]が 0 以外に設定されている必要があります）
DirectX のバージョン win	「DirectX 11 Warp」「DirectX 11」「DirectX 9」「自動で選択」の中から、ISL Light で使用する DirectX のバージョンを選択します（この設定は主にトラブルシューティングで使用します）。
画面共有のグラフィックアクセラレーション win	「自動で選択（Windows ネイティブ）」「DirectX」の中から画面共有で使用するグラフィックアクセラレーションの種類を選択します（この設定は主にトラブルシューティングで使用します）。

※　チュートリアル

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.2.2　基本設定

デスクトップ共有に関する基本的な設定を行います。

※初回のセッションが開始されるまで、設定は表示されません。

デスクトップ共有の画質	[品質を優先][速度を優先]の中から、共有画面の画質を選択します（初期値：速度を優先）。
画面共有時にフォントスムージングを有効にする win	チェックを外すと、アンチエイリアシングを無効にします（初期値：有効）。
画面共有時にデスクトップ背景を表示する	チェックを入れると、画面共有（見せる）実行時およびクライアントしてのセッション参加時に背景画像を表示します（初期値：無効）。使用回線が遅い場合に設定を無効にすると、接続速度が改善する場合があります。
画面共有時に Windows 効果を有効にする	チェックを入れると、画面共有時に Windows Visual effect（視覚効果）を有効にします（初期値：無効）。
ネットワークが切断された際にコンピューターをロックする	ネットワーク障害等によってサーバーとの通信が切断された際に自動でコンピューターをロックします。ネットワーク回復後は端末に再接続されます。
[ESC]キー押下時にブラックスクリーンを解除するまで（秒） win	接続される端末側で[ESC]キーを押下した際にブラックスクリーンを解除するまでの時間を変更できます（※ブラックスクリーンが停止されるまでの秒数はオペレーター側に表示されます）。初期値：10　設定可能範囲：10～180
画面共有時に Windows Aero 表示を有効にする win	チェックを入れると、画面共有時に Windows Aero の表示を有効にします（初期値：無効）。
ワンタイム接続時にブラックスクリーンを有効にする win	チェックを入れると、その端末に対してワンタイム接続でセッションを行った際、ブラックスクリーンが自動で実行されます（初期値：無効）。
リモート端末操作時にデフォルトでクリップボードを利用する	チェックを外すと、クリップボードが無効の状態でセッションを開始します（初期値：有効）。
デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する win	チェックを入れると、画面共有中に画面を見せている側のマウス・キーボード入力を禁止します。
キーボードのショートカット（仮想キーコード）	特定のキーボードの入力文字がユニコードに変換されず、クライアントに正しく送信されない場合にコードを定義します（この設定は主にトラブルシューティングで使用します）。
透過ウィンドウ（アルファチャネル）を送信しない win	チェックを入れると、透過ウィンドウ（アルファチャネル）を表示しなくなります（初期値：無効）。
Desktop duplication API の設定（Win 8 以上推奨）	[無効]を選択すると、Desktop Duplication API の設定を無効にします（初期値：自動で選択）。
ハードウェアアクセラレーションを制御する win	チェックを外すと、ハードウェアアクセラレーション機能を一時的に無効にします（初期値：有効）。
Desktop duplication API を利用する（Win8 以上推奨） win	チェックを外すと、Desktop Duplication API を一時的に無効にします（初期値：有効）。
マウスの右ボタンと中ボタンを入れ替える mac	チェックを入れると、画面共有（見せる）実行時に操作する側のマウスの右ボタンと中ボタンの機能を入れ替えます。
Magnification API を利用する(Win8 以上推奨) win	チェックを外すと、Magnification API を一時的に無効にします（初期値：有効）
モニターのシグナル OFF を検知する	特定のグラフィックドライバーが搭載されている Windows11 に接続する際に「ブラックスクリーンを有効にする」を指定して接続すると、接続先の端末がスリープしてしまう事象を回避する設定です。初期値は OS により異なります。 ▼初期値：Windows 8 以上・10：有効 Windows 11：無効

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.2.3　ファイル転送

ファイル転送に関する設定を行います。

転送されたファイルの保存先（受信時）	ファイル転送でファイル(フォルダー)を受信した際、デフォルトの保存先を設定します
ファイル転送完了後にダイアログを表示する	ドラッグ＆ドロップなどの方法でファイル転送を実行した際にファイル転送ダイアログ※1を表示します

3.2.4　レコーディング

レコーディングに関する設定を行います。

レコーディングの停止を許可する	チェックを外すと、録画開始後にツールバー上のレコーディング（停止ボタン）が押せなくなります。
レコーディングファイルの保存先（フォルダー）	録画した動画ファイルの保存先を指定します。 （保存先にデスクトップを指定できます）
レコーディンファイルのテンプレート名	録画する動画ファイルに名前（テンプレート名）をつけます。
セッション終了時にレコーディングを再生する	セッション終了直後、録画したファイルを開くかどうかたずねるメッセージの表示/非表示を設定します。
自動レコーディング	セッション開始時の自動レコーディングの有効/無効を設定します。

3.2.5　音声およびビデオ

音声およびビデオに関する設定を行います。(初回のセッションが開始されるまで、設定は表示されません。)

システムオーディオを使用する mac	チェックボックスを外すと、音声入力/出力デバイスを手動で選択できるようになります。
音声入力デバイス 音声出力デバイス	音声の入力/出力で使用するデバイス（ヘッドセット）を選択し、入力/出力テストを行います。
マイク音量の自動調節	チェックボックスを外すと、ヘッドセット音量の自動調整の機能を無効にします。
エコーキャンセル	チェックボックスを外すと、音響エコーの抑制/除去の機能を無効にします。
ビデオ入力デバイス	ビデオの入力で使用するデバイス（カメラ）を選択し、テストを行います。
ビデオ画質	ビデオカメラの画質を選択します。
ビデオ win	ビデオカメラの映像を表示します。

3.2.6　ポート転送

フィルタ（接続許可）	使用しません。
フィルタ（リッスン許可）	接続先の IP アドレスやポートを制限します。 例：SSH 接続（ポート 22）を禁止、常駐端末及び 192.168.0.10-192.168.0.50 の端末への接続のみを許可 deny_remote_port 22; allow_remote_ip 127.0.0.1; allow_remote_ip 192.168.0.10-192.168.0.50; deny_all;
RDP 接続ファイル win	RDP 接続中に実行可能な操作を定義したファイル（.rdp）のパスを指定して、接続開始時に読み込ませることができます。 例：C:¥Users¥user1¥Downloads¥rdp_default¥rdp_default.rdp
デフォルトの RDP スキーマ	macOS(Catalina 以前)で RDP 接続を行う場合、以下の設定値を指定します。 /usr/bin/open -W -n "rdp://full address=s:localhost:{PORT}"
デフォルトの SSH スキーマ	Windows で既にインストール済みの SSH 接続用クライアントを使用する場合、プログラムファイルと対応する引数を指定します。 例：Tera Term を指定する場合（64bitOS） "C:¥Program Files (x86)¥teraterm¥ttermpro.exe" localhost -P {PORT}

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

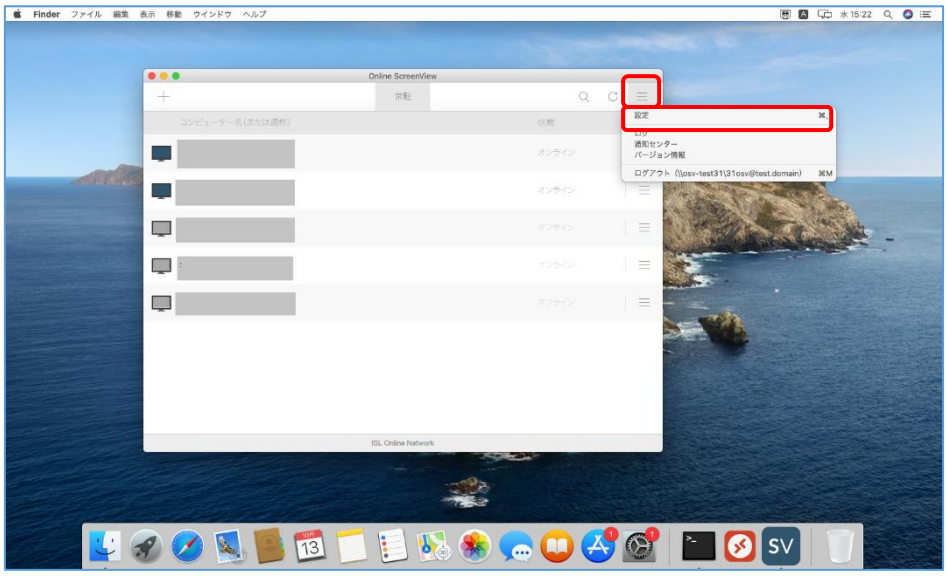
<<補足>>

macOS で RDP 接続する場合の設定

※この設定は Windows では不要です。

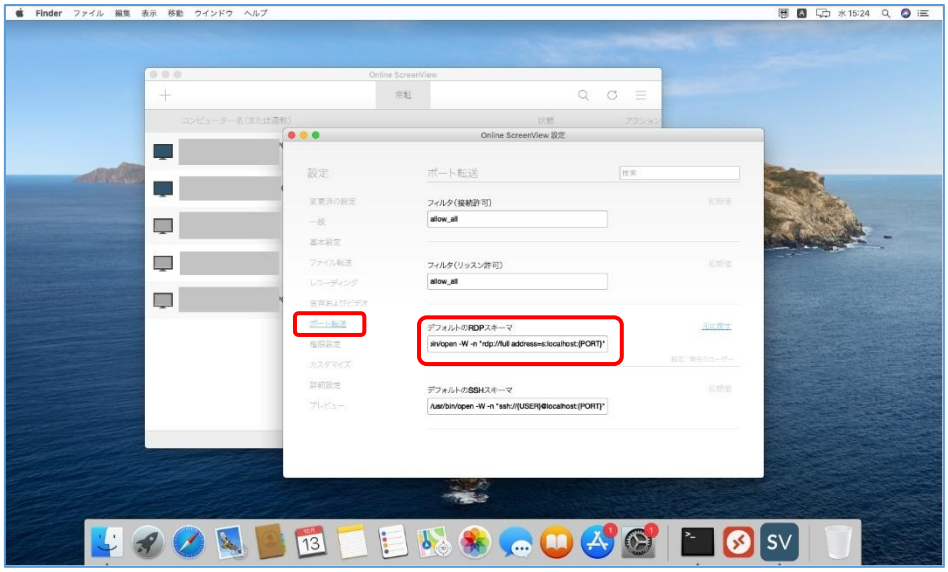
(1) PC アプリケーションコンソールを起動し、Online ScreenAssist にログインします。

(2) メニューから[設定]を選択します。



(3) [ポート転送]を選択し、[デフォルトの RDP スキーマ]の値を変更します。

※設定する値は、「macOS Catalina 以前」と「macOS Big Sur 以降」で違いますのでご注意ください。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.2.7 権限設定

PC アプリケーションコンソールの許可/禁止に関する現在の設定状況を確認します。

設定画面上でチェックボックスを外して内容を変更することはできません。

クリップボードの利用	ファイル受信
デスクトップ共有（見せる）	ファイル送信
デスクトップ共有時（見せる）の操作	localhost 以外へ及び localhost 以外からのトンネル作成
デスクトップ共有（見る）	クライアントからのポート転送
デスクトップ共有時（見る）の操作	オペレーターからのポート転送

3.2.8 カスタマイズ

現在適用中のカスタマイズが確認できます（有効なカスタマイズの項目にチェックが入っています）。設定画面上でチェックボックスを外して内容を変更することはできません。

ダッシュボード	ダッシュボードボタンを非表示
	「ワンタイム」タブを非表示
	「常駐」タブを非表示
	リモート接続時に表示するタイトル
	「パスワードを保存する」を非表示
	「常駐接続をセットアップ」を非表示
	「セッション参加」を非表示
ログイン GUI	「ログイン情報を保存」を非表示
	「パスワードを忘れた場合」を非表示
	「サインアップ」を非表示（サポート対象外）
	サーバーの選択を非表示
招待	オペレーターを招待」を禁止
	「招待する」を禁止
	セッションコード発行画面にて招待 URL のコピーを禁止
セッション情報	「編集」を非表示
セッション	「セッション転送」を禁止
	読み取り専用でチャットを利用
レコーディング	開始時にクライアントへ確認メッセージを表示
	管理者モード内の再起動オプションを非表示
ポート転送	「代替接続」を非表示
クライアント	デフォルトで「開始時に確認画面を表示しない」を有効
	クライアントが参加するまでセッションコード発行画面を表示

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

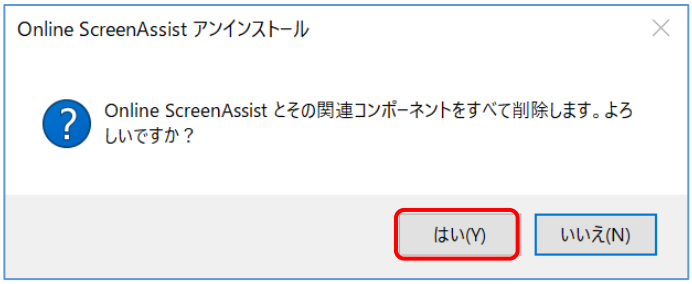
3.3 アンインストール

Online ScreenAssist のアンインストールの手順をご説明いたします。

■ Windows

(1) Windows の［コントロールパネル］-［プログラムと機能］から、
Online ScreenAssist のアンインストールを行います。

(2) 確認メッセージが表示されます。
「はい」を選択するとアンインストールを開始します。



■ macOS

(1)［メニューバー］-［移動］-［アプリケーション］に移動します。

(2) Online ScreenAssist のアプリケーションをゴミ箱に移動します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.4 Online ScreenAssist Desk/Client のインストール

ワンタイム接続専用のプログラムです。

Online ScreenAssist Desk　　オペレーター用のプログラム

Online ScreenAssist Client　　クライアント用のプログラム

製品ホームページのダウンロードページ(https://www.santec.com/osa/support/download/)にアクセスし、ワンタイム接続モジュールの各リンクを選択してダウンロードを行います。

※実行ファイルがダウンロードされますので任意のフォルダーに保存してください。

3.5 Online ScreenAssist Desk/Client の設定

Online ScreenAssist Desk/Client の設定を変更できます。

表示項目は状態(接続前と接続後)によって変更します。

セッションコード取得後に変更が反映されない項目があります。

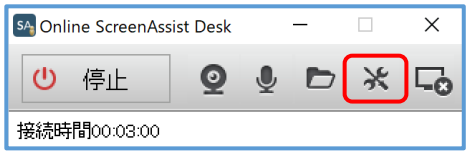
その場合は一度セッションを終了し再度セッションコードを取得します。

設定反映させる場合、Online ScreenAssist Desk/Client の再起動が必要です。

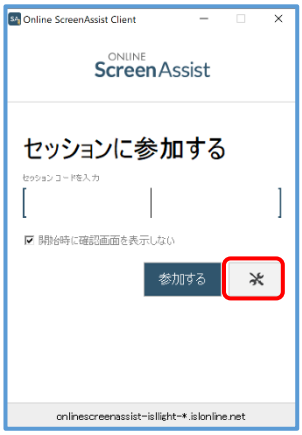
▼Online ScreenAssist Desk

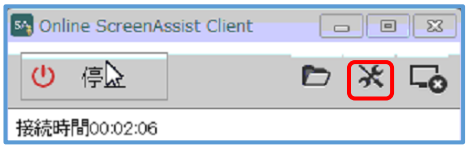
セッション開始前

セッションコード入力後



▼Online ScreenAssist Client





■設定画面

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.5.1　一般

接続先のサーバーや使用言語など、一般的な内容に関する設定を行います。

接続先	接続先のサーバーを変更します(パブリッククラウドライセンスのみ)。
言語	UI 上で使用する言語を選択します。
最大転送単位	使用する帯域に合わせ、Normal、Slow、Slowest の 3 種類の設定ができます。
ログ win	接続時の問題解決などに使用するログファイルを出力します。
リモート情報	接続先の情報を取得します。
バージョン一覧	読み込まれた各種プラグインのバージョンが表示されます。

3.5.2　デスクトップ共有

デスクトップ画面の共有に関する設定を行います。

1	コンソールウィンドウ(コマンドプロンプト)の表示	リモート端末に表示されたコマンドプロンプトを別ウィンドウで表示します。
2	透過ウィンドウ(アルファチャネル)の転送	透過ウィンドウを表示するかどうか選択します。
3	デスクトップ背景を表示しない	背景画像を非表示にします(使用する回線が遅い場合などにこのオプションを使用すると、接続速度が改善する場合があります)。
4	Windows Aero 表示を無効にする	Windows Aero の表示を無効にします。
5	Windows 効果を無効にする	Windows visual effects(視覚効果)を無効にします。
6	フォントスムージングを無効にする	フォントスムージング(アンチエイリアシング)を無効にします。
7	Open GL および DirectX のサポートを有効にする(3D CAD などの使用時)	3D の CAD の表示が遅い場合にこのオプションを使用すると、表示速度が改善する場合があります。
8	ハードウェアアクセラレーションを制御する	☑を外すと、ハードウェアアクセラレーション機能を一時的に無効にします。
9	Desktop Duplication API を有効にする(Win8 推奨)	☑を外すと、Desktop Duplication API を一時的に無効にします。
10	ブラックスクリーン	ブラックスクリーンの実行に必要なドライバーをインストール/アンインストールします。 ※Windows 8 以上、Windows Server 2012 以上のクライアントを対象にブラックスクリーンを実行する場合は、初回にドライバーのインストールが必要です。**エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。**

補足:

・1,2,3,7,8,9 は設定値を端末のレジストリ内に保存しますが、4,5,6 は保存しません。
セッションごとにその都度必要に応じて設定を行う必要があります。

・3 は設定値を端末のレジストリ内に保存しますが、Online ScreenAssist Desk と Online ScreenAssist Client の設定が異なる状態で接続を「終了」した場合、次回セッションを接続を再開すると Online ScreenAssist Client の設定値が Desk 側の設定に上書きされます。

・3 は接続先が Windows の場合に限り有効です。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

3.5.3 遠隔プリント win

現在この機能はお使い頂けません。

3.5.4 ファイル転送

ファイル転送の保存先(フォルダー)を指定します。

3.5.5 ビデオ設定

ビデオ(ビデオ配信)に関する設定を行います。

ビデオ入力デバイス	ローカル端末(自分の端末)で使用するビデオデバイスを選択します。
ビデオ画質	ローカル端末のビデオ入力画質を選択します。
ローカルビデオテスト	ローカル端末のビデオ画像が表示されます。

3.5.6 音声設定 win

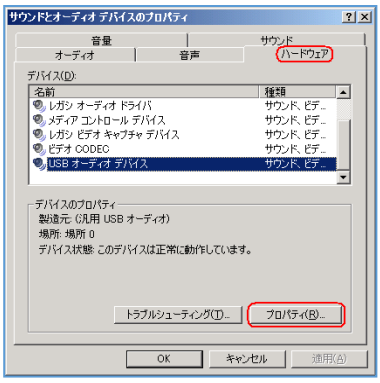
ヘッドセットやマイク(音声配信)に関する設定を行います。

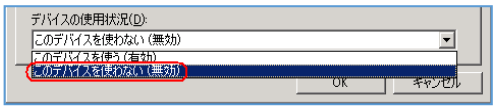
テスト音声	[音声出力テスト]で音声出力を、[音声入力テスト]で音声入力をテストします。
音声出力	音声の出力に使用するデバイスや音量を決定します。
レコーディング	音声の入力に使用するデバイスや音量を決定します。
マイク音量の自動調節	マイク音量を自動で調整します。
エコーキャンセル	エコーが発生する場合に使用します。
高負荷の処理に対して優先設定をする	他のアプリケーションなどの影響で、CPU の使用率が高くなる場合に使用します。

補足:USB カメラなどに付属しているマイクが有効になっていると、ヘッドセットを使って音声配信を行う際にノイズが増大する場合があります。その際は以下の設定を行ってください。

(1) Windows の[コントロールパネル]より[サウンドとオーディオデバイス]を選択します。

(2) [ハードウェア]タブ内の[デバイス]から音声入力を無効にしたいデバイスを選択し、[プロパティ]を選択し、[このデバイスを使わない(無効)]を選択して、[OK]を選択します。





補足:Windows 10 をご利用の場合は[オーディオデバイスの管理]より設定を行ってください。

3.5.7 レコーディング

レコーディングに関する設定を行います。

レコーディングファイルの保存先(フォルダー)	[参照]を選択すると、レコーディング (.isr) ファイルのデフォルトの保存先を設定できます。
ISL Player	[開始]を選択すると、ISL Player のダウンロードを開始します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

4. モバイルアプリケーションのインストール

Online ScreenAssist は姉妹サービス ISL Light アプリを使用することでモバイル端末からもご利用いただけます。

4.1 iPhone/iPad にインストールする

iPhone または iPad にアプリケーションをインストールする必要があります。

(1) App Store 上の「ISL Light iOS」のアプリページに移動します。

App Store の検索欄で「isl」と入力して検索するか、右の QR コードにアクセスしてください

ISL Light iOS のアプリページ

https://itunes.apple.com/jp/app/isl-light/id427579815?mt=8

(2) ISL Light iOS の製品名の横にある[雲マーク]ボタンをタップして、ISL Light iOS のアプリをダウンロードします。

(3) [Apple ID のパスワード] ダイアログが表示されます。

Apple ID のパスワードを入力し、[OK] をタップすると、自動でインストールが開始されます

■アップデート

ISL Light iOS を最新版にバージョンアップするには、App Store 内の「アップデート」あるいは iTunes のライブラリ（App）上でアップデートを行います。

▼App Store

▼iTunes

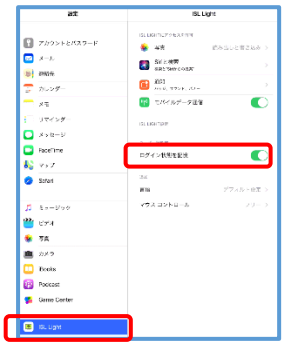
※アップデートがうまくいかない場合は、旧バージョンの ISL Light iOS を一度アンインストールした後、新たにインストールを行ってください。

■ログイン情報を保存する

ホーム画面の[設定]を選択し、アプリー覧から[ISL Light]をタップします。

[ログイン情報を記憶]をオンにします。

ログイン時のユーザー名、パスワードを保存することができます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

4.2 Android 端末にインストールする

Android 端末にアプリケーションをインストールする必要があります。

(1) GooglePlay 上の「ISL Light」のアプリページに移動します。

「islight」と検索し、検索結果から「ISL Light - リモートコントロール」を選択します。

※下の QR コードからもアクセスできます。

(2) [インストール]をタップして、ダウンロード及びインストールを実行します。

アプリの動作に必要なセキュリティ権限が表示されます。
これらの使用に同意する場合は[同意する]をタップします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

5. Online ScreenAssist Agent インストール

5.1 オンラインページからのインストール

(1) Online ScreenAssist オンラインページ(http://onlinescreenassist.com)にログインします。

(2) [常駐接続]-[このコンピューターを追加]を選択して、Online ScreenAssist Agent のインストール用 exe をダウンロードします。

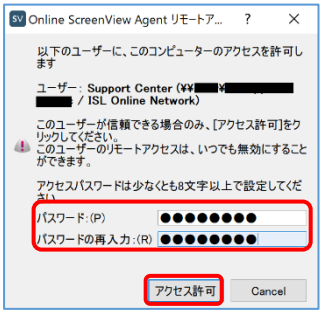
(3) ダウンロードした exe を実行します。
[次へ]を選択するとインストールを開始します。

「セットアップが完了しました」のメッセージが表示されたら、[完了]を選択します

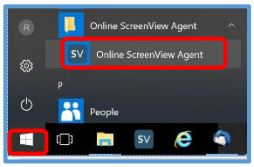
(4) セットアップ完了後、「Online ScreenAssist リモートアクセス許可」ダイアログが表示されます。8 文字以上のパスワードを設定し、[アクセス許可]を選択します。

※パスワードの大文字小文字は区別されます

※パスワードには半角英数、ハイフン、アンダーバーが利用できます。

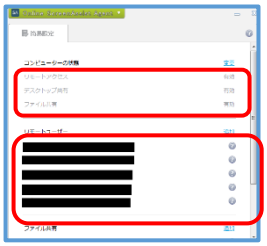


(5) タスクトレイの Agent アイコン、またはスタート画面から[Online ScreenAssist Agent]を選択して、メインウィンドウを表示します。



※RDP 接続でインストールを行った場合、システムトレイに Agent アイコンは表示されません。オンラインページにログインし、追加した端末が表示されるかご確認ください。

(6) 「コンピューターの状態」のオプション(リモートアクセス、デスクトップ共有、ファイル共有)が全て「有効」に、「リモートユーザー」に登録したユーザー名が表示されていればインストール完了です。
「リモートユーザー」には何も表示されない場合は、前述の手順をもう一度行ってください。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

5.2 アクセスパスワード

クライアントのコンピューターへ接続するためのパスワードをアクセスパスワードといいます。

アクセスパスワードの要件

文字数	8 文字以上
利用可能文字	半角アルファベット大文字・小文字、数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

5.3 常駐接続をセットアップ

Online ScreenAssist PC アプリケーションコンソールを起動します。

ダッシュボードのスタート[＋]から[常駐接続をセットアップ]を選択します。

「Email」、「リンク」、「インビテーションコード」の中から Online ScreenAssist のインストーラーがダウンロードできます。

■ Email で招待する場合

[既定のメールアプリで開く]を選択すると、アクセス許可リンク情報を含んだ状態で規定のメールソフトが起動します。

■ リンクで招待する場合

招待リンクが表示されて、右クリック「コピー」を選択し、任意の方法でクライアントに送信します。

■ インビテーションンコードで招待する場合

表示したコードを、任意の方法でクライアントへ連絡します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

5.4　複数台にインストールする：サイレントインストール win mac

(1) サイレントインストールでは、以下の Online ScreenAssist の設定を流し込むことができます。
・ユーザー情報（オペレーターのユーザー名）
・端末のアクセスパスワード
・コンピューター名（オンラインページ上の表示名）
※接続方式、共有などの情報は設定できません。

(2) サイレントインストーラーは、オンライン状態（サーバーと通信が取れる状態）で行う必要があります。
オフライン状態でインストールを実行し、オンラインにならないまま端末が再起動されると、インストールが正常に終了しません。

(3) サイレントインストールのスクリプトサンプルは、サポートページ上で作成できます。
※常駐接続（ISL AlwaysOn）のカスタマイズ（スクリプトサンプル作成ページ）
https://www.islonline.jp/help/faq_customize_aon.html

※上記のサポートページでは、「インストーラーの作成方法」で紹介している追加オプションは設定できません。
追加オプションを利用する場合は上記ページで基本のスクリプト（URL）を作成し、その後必要なオプションを追記してください。

5.4.1　インストーラーの作成方法

(1) オンラインページにログインします。

(2) ［常駐接続］ を選択します。

(3) ［このコンピューターを追加］ を右クリックして「リンクのアドレスをコピー」を選択します。
※ブラウザーによって名称が変わります（Mac の場合は ［このコンピューターを追加］ のアイコン上で「Ctrl+クリック」で「リンクをコピー」を選択）。

(4) コピーした URL をテキストエディターなどに貼り付け、以下の通り URL を編集します。
①「start」→「download」　（Windows のみ）
②「cmdline=」→「cmdline=%2FVERYSILENT+password+%22<任意のパスワード>%22+」
※任意のパスワード＝半角英数 8 文字以上の文字列
③「grant」→「grant_silent」

■パスワードを「abcdefgh」に設定した例

【変更前】
https://islv61-alwayson.islonline.net/start/ISLAlwaysOn?cmdline=grant+%22zeJwdj7tKxEAUQLksWG1lZbm2gmEeufPobAXRwjbNnZk7IbtxIkmWxU6wFPwKG%2b3FL3LBv3DX%2fsA5JwPsv773H68%2f75%2b%2fL29LaGNewPX9zequ9F3h1S3Pu2HcnELbpQXUtYgxSrQetXSRFSmK0smAmWvPFhkFBmlysEIZTphF0oZFIso%2boONEHCI5VlIJEy1RqpPTXhrjFFrEaCRKzUEor2XK3ng6cHXSNmvl9DNMANTv6GkayuVF1U398N9ZFZ7PYAvQNNNM49RMVaENrbsHuhoiUwljl1qu1o%2fnsD2eHIT%2bIFRGa7GEE%2fgD5QBQkA%3d%3d%22

【変更後】
https://islv61-alwayson.islonline.net/download/ISLAlwaysOn?cmdline=%2FVERYSILENT+password+%22abcdefgh%22+grant_silent+%22zeJwdj7tKxEAUQLksWG1lZbm2gmEeufPobAXRwjbNnZk7IbtxIkmWxU6wFPwKG%2b3FL3LBv3DX%2fsA5JwPsv773H68%2f75%2b%2fL29LaGNewPX9zequ9F3h1S3Pu2HcnELbpQXUtYgxSrQetXSRFSmK0smAmWvPFhkFBmlysEIZTphF0oZFIso%2boONEHCI5VlIJEy1RqpPTXhrjFFrEaCRKzUEor2XK3ng6cHXSNmvl9DNMANTv6GkayuVF1U398N9ZFZ7PYAvQNNNM49RMVaENrbsHuhoiUwljl1qu1o%2fnsD2eHIT%2bIFRGa7GEE%2fgD5QBQkA%3d%3d%22

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(1) 次ページに記載の追加オプションを利用する場合は、引き続き URL を編集します。

(2) 編集した URL をブラウザーのアドレスバーに貼り付け、インストーラーを取得します。

(3) Online ScreenAssist をインストールする端末へ取得したインストーラーを配布して実行します。

■追加オプション

(1) System アカウントでのインストール

System アカウントでインストールを実行（許可）します。資産管理ツールによる System アカウントでの配布や Active Directory のスタートアップスクリプトを使用して配布する場合は、「grant_silent」の前に「ignore_system_account+」を追記します。

【変更後】
https://islv61-alwayson.islonline.net/download/ISLAlwaysOn?cmdline=%2FVERYSILENT+password+%22abcdefgh%22+**ignore_system_account+**grant_silent+%22zeJwdj7tKxEAUQLksWG1lZbm2gmEeufPobAXRwjbNnZk7IbtxIkmWxU6wFPwKG%2b3FL3LBv3DX%2fsA5JwPsv773H68%2f75%2b%2fL29LaGNewPX9zequ9F3h1S3Pu2HcnELbpQXUtYgxSrQetXSRFSmK0smAmWvPFhkFBmlysEIZTphF0oZFIso%2boONEHCI5VlIJEy1RqpPTXhrjFFrEaCRKzUEor2XK3ng6cHXSNmvl9DNMANTv6GkayuVF1U398N9ZFZ7PYAvQNNNM49RMVaENrbsHuhoiUwljl1qu1o%2fnsD2eHIT%2bIFRGa7GEE%2fgD5QBQkA%3d%3d%22

(2) 任意のコンピューター名（通称）またはタグを設定

常駐接続の端末一覧に表示されるコンピューター名（通称）に任意の名称またはタグを設定する場合は、「%2FVERYSILENT+password+%22<任意のパスワード>%22」の後に以下を追記します。

●コンピューター名（通称）

「**+description+%22%24%5Bname%5D+XXXX%22**」（**任意の名称**）

例：インストールする端末のコンピューター名が「ADMIN-PC」の場合、コンピューター名（通称）は「ADMIN-PC XXXX」となります。

●タグ（パブリッククラウドライセンスのみ）

「**+tags+%22tag1%22**」または「**+tags+%22tag1%2Ctag2%2Ctag3%22**」（タグを複数設定する場合）

※コンピューター名（通称）とタグを同時に設定することもできます。

※コンピューター名（通称）およびタグを日本語で設定する場合は、URL エンコーディングで変換した文字列を記述します。

※設定内容は、常駐画面の[アクション]-[編集]で後から変更できます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(3)保護された設定への上書きインストール

既に Online ScreenAssist がインストールされている端末に上書きインストールにてユーザーの追加を行う際、Online ScreenAssist 側の設定で[メインパスワードで設定内容を保護する] を有効にしている場合は、オプションの「password」を「manage_password」に変更、任意のパスワードは設定済みのメインパスワードを記載します。

※上書きインストールによってメインパスワードを変更することはできません。

※以下の場合、サイレントインストール実行時にメインパスワードの入力を求められます。

①本オプションを使用しない場合

②スクリプトに記載したパスワードが上書きインストールする端末に設定済みのメインパスワードと一致しない場合

5.4.2 レジストリ変更スクリプトの作成方法 win

Online ScreenAssist の設定情報はそれぞれ特定のレジストリのデータが保有しているため、データの変更を行うスクリプトファイル（.reg）の展開および実行によって設定の一括変更が可能です。初期設定のまま ISL AlwaysOn をご利用になる場合はこの手順を行う必要はありません。

■スクリプトファイルで変更可能な設定項目

Online ScreenAssist の他の設定に関しては、レジストリによる変更が可能/不可能なものがあります。

下記以外の設定に関しては、別途サポート窓口までご相談ください。

項目名	初期値	レジストリキー	データ	変更後の値
タスクトレイアイコンを表示する※1	ON	show_tray	false	OFF
メインパスワードで設定内容を保護する※1	OFF	global_protect	true	ON
接続前に確認を行う※1	OFF	notify_show	true	ON
		notify_timeout	30※3	
接続拒否を有効にする※2	OFF	notify_allow_reject	true	ON
		notify_reject_default	true	
オンデマンドモードを有効にする※4	ON	use_on_demand	false	OFF

※1 初期値ではレジストリエディターにレジストリキーは存在しません。

※2 「接続前に確認を行う」を有効にする必要があります。また初期値では、確認時間の経過後に接続が許可されます。

※3 初期値は「10 秒」に設定されており、最大「120 秒」まで設定が変更できます。

※4 Online ScreenAssist では無効。

本マニュアルに記載するスクリプトファイルのサンプルは、以下からダウンロードできます。

・32bit OS の場合

https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/download/aon_sample_editregistry44_32bit.zip

・64bit OS の場合

https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/download/aon_sample_editregistry44_64bit.zip

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■作成手順

(1) テキストエディターを開きます。
(2) 下に記載のレジストリスクリプト記述例の内容をコピー&ペーストします。
(3) 設定変更を行う端末が 32bit OS の場合は、レジストリキー格納場所を修正します。
(4) 拡張子(.reg)を確認し、任意の名前を付けて、ファイルを任意の場所に保存します。
(5) 作成されたファイルを他の端末に配布して実行します。

レジストリスクリプト記述例 (64bit OS の場合)

```
------------------------------------------------------------------
Windows Registry Editor Version 5.00
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn]
"show_tray"="false"                 タスクトレイアイコンを表示する: OFF
"global_protect"="true"             メインパスワードで設定内容を保護する: ON

"notify_show"="true"                接続前に確認を行う: ON
"notify_timeout"="30"               確認時間(秒):30
"notify_allow_reject"="true"        接続拒否を有効にする: ON
"notify_reject_default"="true"      接続拒否の初期値の設定:拒否

" use_on_demand "="false"           オンデマンドモードを有効にする: OFF

------------------------------------------------------------------
```

レジストリキー格納場所

・32bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

・64bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

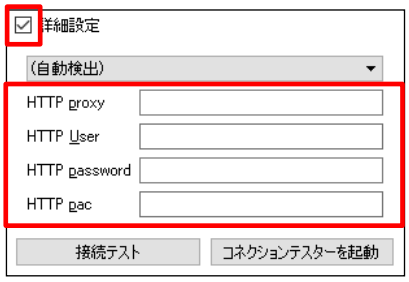
5.4.3 プロキシ設定の展開方法

プロキシの設定値(HTTP proxy、HTTP User、HTTP password)はレジストリに暗号化した状態で保存されます。
プロキシの設定をスクリプトファイルで配布する場合は、あらかじめ任意のクライアント端末にインストールされた Online ScreenAssist で設定を行い、暗号化された設定値をエクスポートして配布します。

(1) クライアント端末にインストールされた Online ScreenAssist の[設定]-[詳細設定]-[接続]-[詳細設定] を選択し、プロキシサーバーの設定を行います。

例 1:プロキシサーバーが「192.168.0.100」
ポート「8080」の場合
HTTP proxy:192.168.0.100:8080

例 2:PAC ファイルの保存場所が
「http://192.168.0.1/proxy.pac」場合
HTTP PAC:http://192.168.0.1/proxy.pac
※ファイルパス(file://C:¥Users...、file://fileserver/share...等)も指定可能です。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(2) [保存] を選択し、設定画面を閉じます。
(3) Windows の検索ボックスに「regedit」と入力し、レジストリエディターを開きます。
(4) 以下のパスで右クリックし、[エクスポート] を選択して設定値をエクスポートします。

・32bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥AutoTransport¥Connect options

・64bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥AutoTransport¥Connect options

(5) 任意の名前を付けて、ファイルを任意の場所に保存します。
(6) 作成されたファイルを他の端末に配布して実行します。
(7) サービスの再起動または端末の再起動を行ってレジストリの設定を適用します。

■Active Directory のグループポリシーを使用した配布に関して

サイレントインストールのインストーラーおよびレジストリ変更スクリプトは、Active Directory のグループポリシーを使用した配布が可能です。

ただし、グループポリシーのログオンスクリプトを使って配布する場合、Online ScreenAssist はインストール時に管理者権限を持ったアカウントで実行する必要があるため、配布時には管理者権限を持たせる必要があります。

Microsoft が提供している「PsExec」を使用した方法を、以下参考までにご案内いたします。

※グループポリシーのスタートアップスクリプトを使って配布する場合は、System 権限での配布が行われます。

■Microsoft 提供の「PsExec」を使用して管理者権限を付与した形で展開を行う方法

(1) Microsoft 提供の「PsTools」をダウンロードします。

・PsTools

https://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/bb896649.aspx

(2) Online ScreenAssist サイレントインストール用のインストーラーを用意します。
(3) 「PsExec の使用法」に沿った形でバッチファイルを作成します。

・PsExec の使用法

https://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/bb897553

例:「バッチファイル」「PsExec.exe」「Online ScreenAssist のインストーラー」の 3 ファイルを同一のフォルダーに配置する場合

psexec -u <ユーザー名> -p <パスワード>　OnlineScreenAssist.exe

※ <ユーザー名>、<パスワード>は管理者権限を持つユーザー名を指定してください。ドメイン環境の場合は「ドメイン名¥ユーザー名」、ローカル環境の場合は「コンピューター名¥ユーザー名」の形式で入力してください。

※プログラム名には Online ScreenAssist のインストーラーのファイル名を入力してください。

ファイル名は「OnlineScreenAssist.exe」など半角スペースがない名称を使用してください。

⑶で保存したバッチファイルを実行します。

グループポリシーを使用する場合は、「バッチファイル」「PsExec.exe」「Online ScreenAssist のインストーラー」の⑶ファイルを、インストール対象者がアクセス可能な共有フォルダーに保存した上でご利用ください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

5.5 クローニング win

(1) クローニングでは Online ScreenAssist をインストールしてあらかじめ各種設定を行ったマスターPC を作成し、その端末を複製して Online ScreenAssist を展開するため、すべての設定を引き継ぐことができます。

(2) マスターPC は、オンライン状態（サーバーと通信が取れる状態）で作成する必要があります。
マスターPC となる端末に Online ScreenAssist をインストールし、クローニングを実施する前に必ず接続確認を行ってください。

(3) Online ScreenAssist がインストールされている端末は固有の ID（uid）によって識別されます。
クローニングでは uid の再取得を行う設定を行ったマスターPC を複製することで、同一の設定値を持つ個々の端末を生成できます。

(1) [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]を開き、「Online ScreenAssist Agent」のサービスを停止します。

(2) レジストリエディターを起動し、以下のキーに移動します。

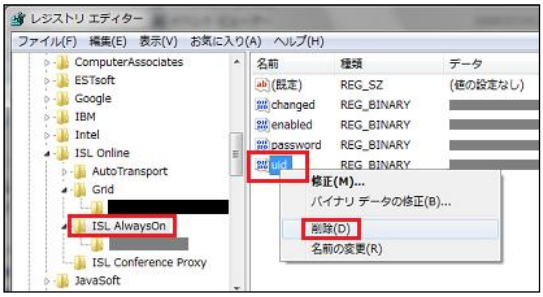
■32bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

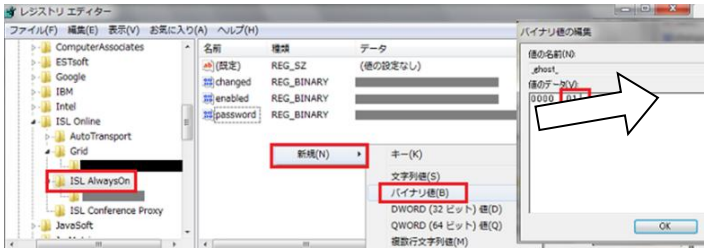
■64bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

(3) バイナリ値 [uid] を削除します。



(4) [新規]-[バイナリ値]を選択後、[名前]に「_ghost_」、[データ]に「01」を入力します。



マスターPC の設定が完了しました。

この状態でクライアント端末を再起動または Online ScreenAssist のサービスを開始すると「_ghost_」と「01」の値が新規の固有 ID に更新されるため、これを複製してください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

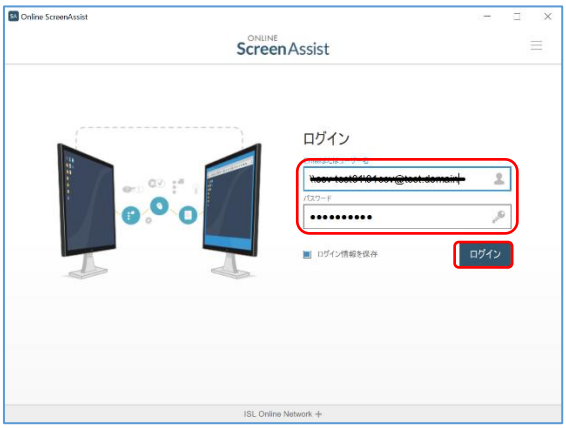
6. PC アプリケーションコンソールから接続する

PC アプリケーションコンソールを使用して常駐接続を利用する方法と画面、操作についてご案内します。

6.1 接続方法

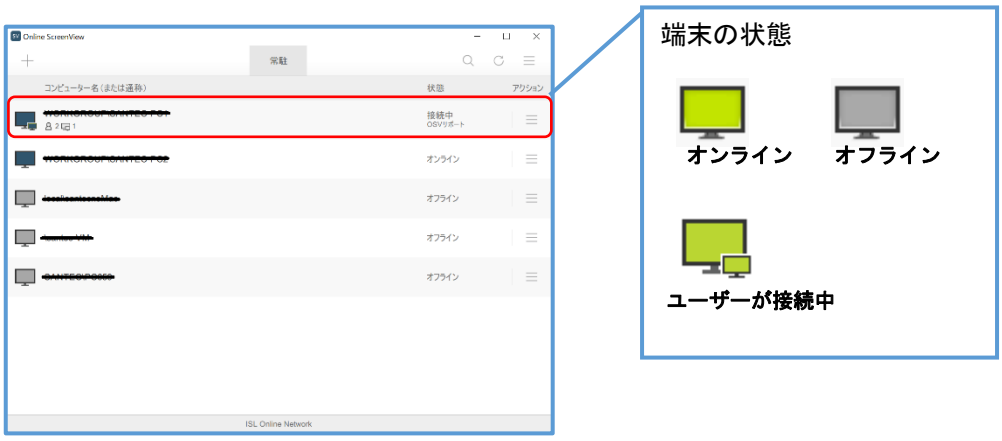
(1) オペレーターの端末で、Online ScreenAssist を起動します。

(2) Online ScreenAssist アカウント（ユーザー名、パスワード）を入力し［ログイン］を選択します。



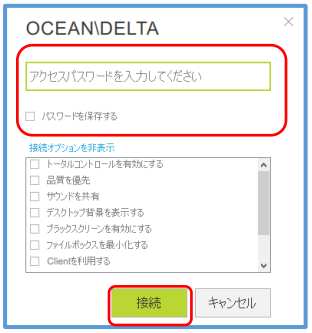
ログイン情報を保存	チェックを入れると、アカウント情報が保存されます
パスワードを忘れた場合	アカウント作成時に登録したメールアドレスを入力して［送信］を選択すると、パスワード変更に必要なメールが送信されます

(3)［常駐］タブに、ダッシュボード（クライアント一覧）が表示されます。
「オンライン」状態の端末に対して接続を行うことができます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(4) 接続先（クライアント）の端末を選択して、アクセスパスワードを入力します。
［接続］を選択すると、クライアントに接続を開始します。



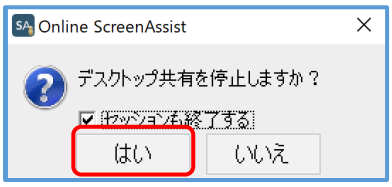
［パスワードを保存する］ のチェックボックスを ON にしておくと、アクセスパスワードが保存され、次回以降クライアントに接続する際にアクセスパスワードの入力が不要になります。

誤ったアクセスパスワードを連続して入力した場合にパスワード入力回数の上限が通知されますが、入力の禁止時間はありません。再度端末を選択することでアクセスパスワードを入力できます。

6.2 終了方法

■デスクトップ共有画面から終了する

(1) デスクトップ共有画面（ウィンドウ）端の[×]を選択します
(2) 終了確認のメッセージが表示されます。
[はい]を選択するとデスクトップ共有を終了します。

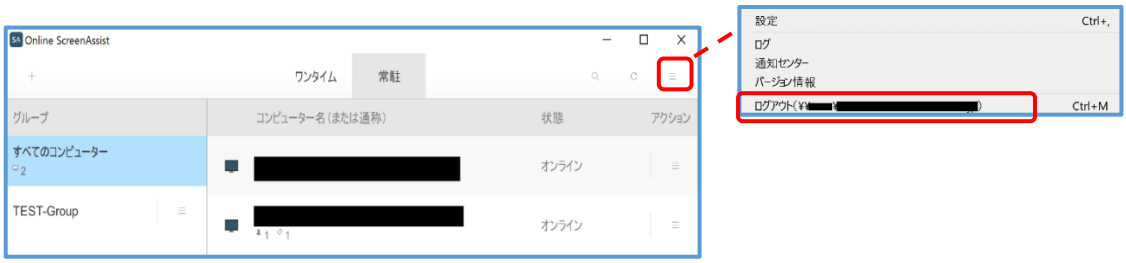


■ツールバーから終了する

ツールバーの[セッション終了] を選択します。

■PC アプリケーションコンソールからのログアウト

右上のメニュー から[ログアウト]を選択します。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

7. オンラインページから接続する

7.1 接続方法

(1) Online ScreenAssist ログインページにアクセスし、アカウント（ユーザー名、パスワード）を入力します。[ログイン]を選択します。

(2) 接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。接続したいリモートコンピューターの[接続]を選択します。

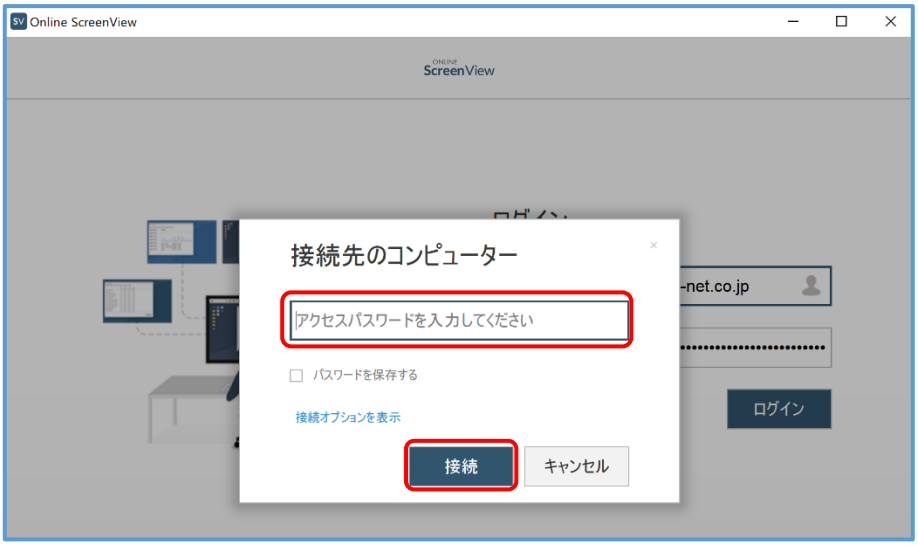
(3) 接続用プログラム（Online ScreenAssist※）がダウンロードされます。
ダウンロードしたプログラムを実行します。
※[下向き▼] - [接続（以前のバージョン）]を選択した場合は、OnlineScreenAssist Connect のプログラムがダウンロードされます。

(4) Windows の場合、「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがあります。
※ダイアログが表示された場合は、[実行]を選択します。
※設定環境や使用しているブラウザによって、表示されるダイアログが異なります。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(5) インストール時に設定したアクセスパスワードを入力し、[接続]または[OK]を選択します。

▼[接続]選択時の画面



※アクセスパスワード入力に 5 回失敗すると、プログラムが終了します。
再度プログラムを実行して接続を行ってください。

※[パスワードを保存する]をチェックした場合、次回以降アクセスパスワードの入力が不要になりますが、接続オプションの変更はできなくなります。

(6) 接続が開始されます。(接続先端末との画面共有が自動的に始まります)

7.2 終了方法

■デスクトップ共有画面から終了する

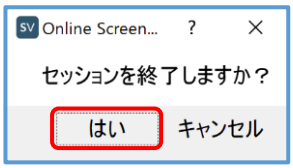
(1) デスクトップ共有画面(ウィンドウ)端の[×]を選択します

(2) 終了確認のメッセージが表示されます。
[はい]を選択するとデスクトップ共有を終了します。
[セッションも終了する]に☑を入れると、デスクトップ共有の終了と同時にセッションも終了します。

■ツールバーから終了する

(1) ツールバーの[セッション終了] を選択します。

(2) オンラインページからログアウトされます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

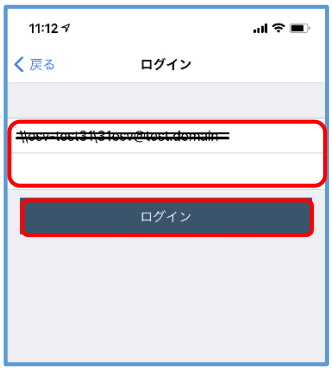
8. iPhone/iPad からの操作

8.1 iPhone/iPad アプリにログインする

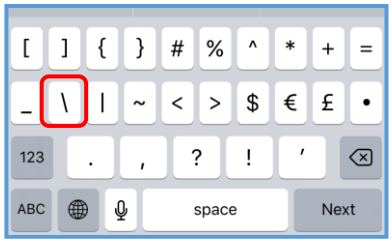
(1) [ISL Light]を起動します。

(2) [オペレーターとしてログイン]をタップします。

(3) ユーザー名とパスワードを入力します。



管理者のユーザー名（アカウント ID）は「\\ドメイン名\登録メールアドレス」となります。
管理者以外のユーザー名（アカウント ID）は「\\ドメイン名\設定したユーザー名」となります。
モバイル用アプリでは[¥]は使用せず記号から半角バックスラッシュ[\]を入力してください。

iPhone の場合	「English(US)モード」→「123」→「＃＋＝」	
iPad の場合	「English(US)モード」→「.?123」→「＃＋＝」	

(4) [ログイン]をタップします。

(5) ログインに成功すると常駐接続のトップ画面が表示されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

8.2 接続方法

iPhone/iPad アプリにログインすると接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。

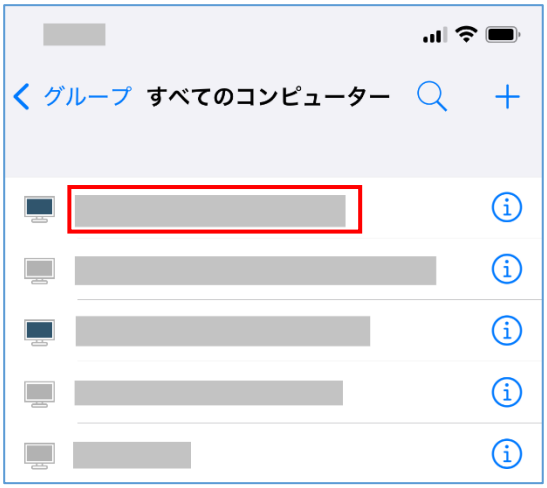
■接続先端末の詳細情報

接続先端末の右にある[i]マークをタップすると端末の詳細を確認できます。

PC 名	ドメイン＋コンピューター名、あるいは設定したコンピューター名
状態	オンライン/オフライン
IP アドレス	IP アドレス
プラットフォーム	Windows または Mac OS X
ISL AlwaysOn のバージョン	インストールされている ISL AlwaysOn のバージョン
パスワードを保存	リモート PC のアクセスパスワードを記憶します

(1) コンピューターの一覧から、接続したい PC をタップします。

アイコンは接続可能：緑（ ）、接続不可能：グレー（ ）の状態を示します。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(2) アクセスパスワードを入力し、［接続］をタップすると接続が開始されます。

(3) 接続が完了すると、オペレーター側に接続先の PC のデスクトップ画面が表示されます。

※[設定]-[操作方法の表示］ をオンにしている場合は、接続先の PC のデスクトップ画面より先に、iPhone/iPad 側に画面の操作方法が表示されます。

※フィルタの設定で iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスによるアクセス制限を行うことはできません。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■WOL 送信

ネットワーク経由で、接続先のコンピューターを起動（Mac の場合はスリープモードを解除）できます。
接続先の端末がオフラインの時に、［接続］が［WOL 送信］に変わります。

・Windows の場合

各端末の電源やマザーボード、OS が ACPI 機能に対応しているほか、ネットワークアダプタがマジックパケットを解釈できる場合に有効です。

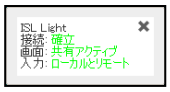
また、事前に BIOS 画面で各種設定を行う必要があります。

・Mac の場合

システム環境設定で、電源アダプタの「ネットワークアクセスによるスリープ解除」に☑が入っている必要があります。

8.3 接続オプション

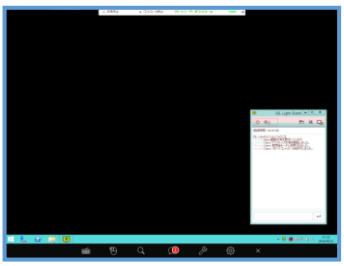
常駐接続では、アクセスパスワード入力時に接続に関するオプションを指定することができます。利用する場合は、[接続オプションを表示]をタップして表示されるオプションを選択して接続を行います。また、接続オプションの設定内容は、実際に接続を開始すると保存されます。

Client を利用する	接続後、クライアント端末上に Online ScreenAssist Client（メニュー画面）およびツールバーを表示します。
ブラックスクリーンを有効にする※1	接続後、接続先の画面をブラックスクリーンにして一時的に相手に操作内容を見せないようにします。
デスクトップ背景を表示する	接続後、クライアント端末のデスクトップ背景を表示します。 ※このオプションはご利用できません。
利用中の RDP のセッションへ接続する※1	Online ScreenAssist ではサポート対象外となります。
メインウィンドウを非表示にする※1	接続後、クライアント端末のデスクトップ上に接続中であることを通知するミニウィンドウ（右）を表示します（[Client を利用する]と併用する必要があります）。 
品質を優先※1	接続後のデスクトップ共有画面の品質を優先して表示します。

※1 クライアント端末が Windows の場合のみご利用になれます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

8.4 メニューバー



デスクトップ共有中は画面下部にメニューバーが表示されます。
メニューバー内のツールを使い、さまざまなリモート操作を行うことができます。

▼iPhone のメニューバー

※iPhone の ISL Light には[設定]アイコンは表示されません。
※設定の機能は、[管理ツール]アイコン内に格納されています。

▼iPad のメニューバー

以下、iPad の表示ケースで詳細をご案内します。

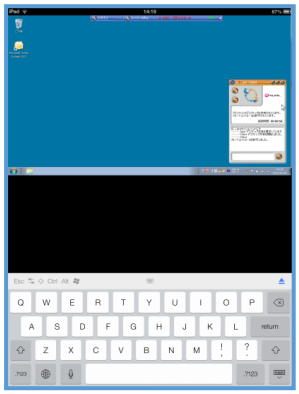
①	キーボード入力	リモート PC 上でキーボードの入力を行います
②	マウス操作	マウスの左クリック/右クリックを切りかえます
③	画面サイズ	共有画面のウィンドウサイズを変更します
④	簡易ログ表示	簡易ログを表示します
⑤	管理ツール※1	タスクマネージャーの実行や[Ctrl + Alt + Del]の送信を行います
⑥	設定	リモート PC のデスクトップ背景の表示/非表示などを行います
⑦	終了	デスクトップ共有またはリモート接続を終了します

※1　一部の機能は、クライアント PC の OS が Windows の場合のみご利用いただけます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

8.4.1　キーボード入力

キーボードを使って、リモート PC 上で文字を入力します。



※リモート PC の OS が Windows の場合は、上部の切り替えボタンをタップしてファンクションキーやカーソルキーが入力できます。

リモート PC の日本語入力システム（Windows:言語バー）の設定により iPhone/iPad から「日本語ローマ字入力」ができない場合は、リモート PC の日本語入力システムの入力モードを「ひらがな」に変更してください。

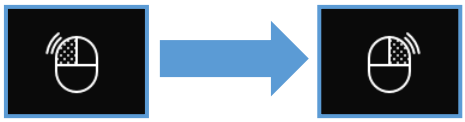
左の図では、Windows の IME ツールバー（言語バー）を表示しています。

リモート PC の OS が Mac の場合は、キーボード上の一部のキーはご利用いただけません。

キーボードの入力を終了する場合はキーボード上部右側の をタップしてください。

8.4.2　マウス操作

マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します。



マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します

共有画面（リモート PC）上で1度右クリックを行うと、自動的にマウスは左クリックに戻ります。

続けて右クリックを行う場合は、再度[マウス]アイコンをタップしてください。

8.4.3　画面サイズ

共有画面の、ウィンドウサイズを変更します。

iPhone/iPad のピンチアウト（拡大表示）やピンチイン（縮小表示）の操作を行うことができます。

共有画面を実サイズで表示する場合は、[1:1] を選択してください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

8.4.4　ツール

デスクトップ画面を操作する際の設定の変更やリモート PC に対して「Ctrl + Alt + Del」などのコマンドの送信を行います。

■設定(iPhone の場合)

設定画面を開きます。

■デスクトップ共有を要求

リモート PC の画面操作が許可されていない場合に表示されます。

以下のいずれかのモードを選択し、デスクトップのコントロールを要求します。

デフォルトで実行	画面共有時、文字情報を Unicode で送信します。
コンパチブルモードで実行	画面共有時、文字情報を非 Unicode で送信します。

実行後、PC 側で要求が許可されると画面操作が可能になります。

■タスクマネージャー(リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

リモート PC 上で、 タスクマネージャーを起動します。

■ブラックスクリーンを有効/無効にする(リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

接続先の端末画面を黒画面にして、一時的に相手に操作内容を見せないようにします。

■管理者モード(リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

デスクトップ共有時に自動で「管理者モード」が実行されます。

■Ctrl + Alt + Del(リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

リモート PC に、「Ctrl + Alt + Del」のコマンドを送信します。再起動を行った端末でログイン画面が表示された場合などに有効です。

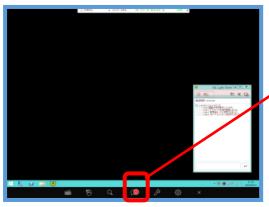
8.4.5　簡易ログ表示

簡易ログを表示するウィンドウ「ワンタイム」を表示します。

ログ情報数の表示

デスクトップ共有中の簡易接続ログの件数が表示されます。

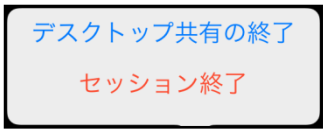
ファイル送受信の履歴、操作履歴などを確認できます。



※拡大

8.4.6　終了

デスクトップ共有またはリモート接続を終了します。



・デスクトップ共有の終了

デスクトップ共有を終了し、チャット画面に戻ります。

セッションは終了していないため、引き続きテキストチャット、[デスクトップ共有を要求]の実行ができます。

・セッション終了

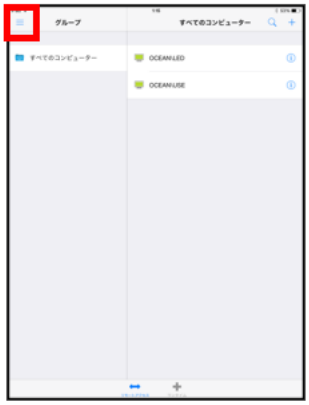
セッションを終了し、コンピューターの一覧画面に戻ります。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

8.5 サブメニュー

セッションコード取得画面（ワンタイム）、コンピューターの一覧（常駐）およびアプリケーション起動画面では、左上の三本線ボタン をタップしてサブメニューを開くことができます。サブメニューではログアウトのほか、履歴やバージョン情報などを確認できます。

セッションコード取得
（ワンタイム）



コンピューターの一覧
（常駐）

アプリケーション起動画面
（共通）

▼サブメニュー

セッション参加	セッションコードを入力して、クライアントとしてセッションを開始します。
設定	次頁の「アプリケーション設定」を参照ください。
通知センター※1	サーバーから送られた通知を確認します（未認証の ISL Online アカウントが存在している場合に通知が送信されます）
ログ※2	ISL Light for iOS のログ情報を確認します。
バージョン情報	現在使用中の ISL Light for iOS のバージョンを確認します。
ログアウト	ログイン中のアカウントからログアウトします。

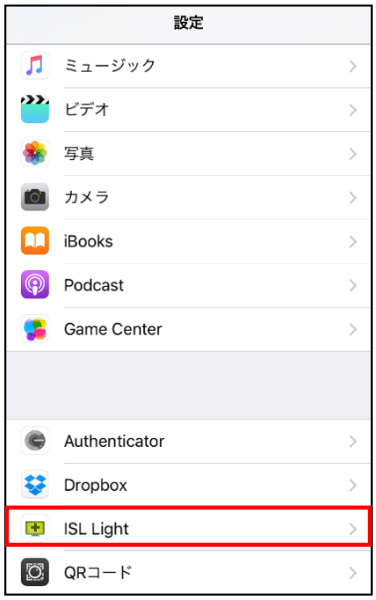
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

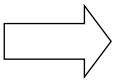
8.6 アプリケーションの設定

(1) ホーム画面の［設定］をタップします

(2) 設定ページに移動します。

アプリケーションの一覧から［ISL Light］をタップします。設定内容が表示されます。





iOS のバージョンや設定により、表示される項目が異なります。

ISL Light にアクセスを許可	
写真	「写真」へのアクセスを許可/禁止します。
Siri と検索	オン：ISL Light for iOS の情報を Siri の検索対象に追加します。
通知	通知を許可：ISL Light for iOS の通知を許可/禁止します。
ユーザー証明書	
ログイン状態を記憶	オン：前回ログインしたユーザー名、パスワードを記憶します。
追加	
言語	ISL Light for iOS の使用言語を変更します。
マウスコントロール	フリー：フリーハンドでマウスを操作します。 ロック：画面中央にポインターを表示し、マウスを固定して操作します。必ずしもポインター上でダブルタップを行う必要はありません。ポインターを対象に合わせた状態で、共有画面上のどこでもタップして実行することができます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■接続設定の変更について

アプリケーション起動画面（アカウントからログアウトした状態）で[メニュー]-[設定]を選択すると、以下の設定が変更できます。

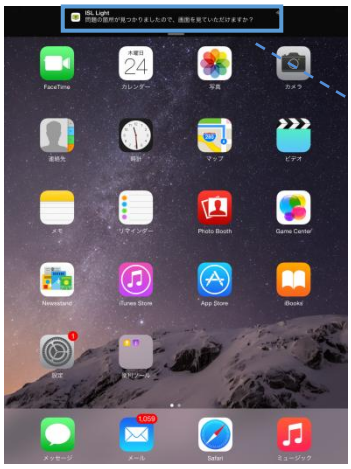
接続設定	
接続先	www.islonline.net
TCP ポート	TCP ポート（番号）を指定します（デフォルト：7615）。
接続方式	ISL Light for iOS で使用する通信方式を指定します（デフォルト：自動検出）。
HTTP を有効にする	HTTP（ポート 80）を有効（オン）/無効（オフ）にします。
HTTPS を有効にする	HTTPS（ポート 443）を有効（オン）/無効（オフ）にします。
認証設定	
ログイン情報を保存	オン：前回ログインしたユーザー名、パスワードを記憶します。
その他	
言語	ISL Light for iOS の使用言語を変更します。
マウスコントロール	フリー：フリーハンドでマウスを操作します。 ロック：画面中央にポインターを表示し、マウスを固定して操作します。必ずしもポインター上でダブルタップを行う必要はありません。ポインターを対象に合わせた状態で、共有画面上のどこでもタップして実行することができます。
プレビュー	
プレビュー機能はサポート対象外です（主にトラブルシューティングで使用します）。 特定現象の調査が必要な場合など、サポート窓口から個別に案内がない限り使用しないでください。	

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

ご参考：通知機能について

ご利用環境（iOS のバージョンなど）により、ISL Light for iOS 起動時に左のようなメッセージが表示される場合があります。通知機能を有効にするには[OK] を、無効にする場合は[許可しない] をタップしてください。

通知機能を有効にすると、製品に関するアラートや関連情報が通知で表示されるようになります。設定はホーム画面の「設定」で変更できます。



Provided by santec. Powered by ISL Online

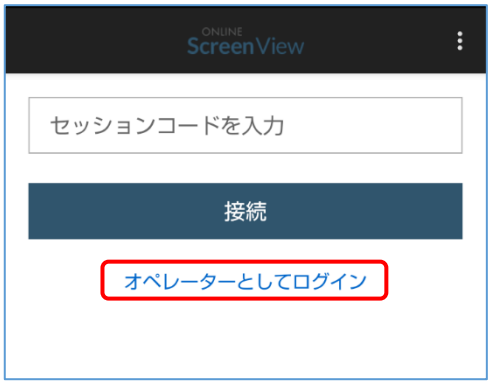
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

9. Android 端末からの操作

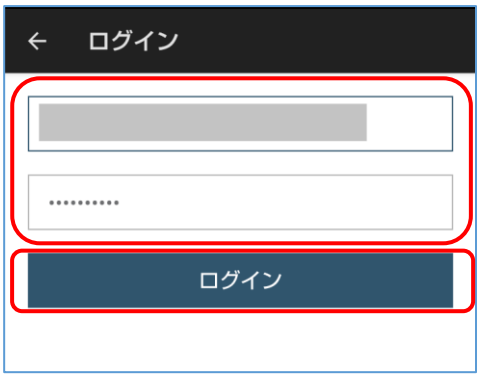
9.1 Android アプリにログインする

(1) インストールした[ISL Light]を起動します。

(2) ログイン画面で[オペレーターとしてログイン]をタップします。



(3) ユーザー名とパスワードを入力します。



管理者のユーザー名（アカウント ID）は「\\ドメイン名\登録メールアドレス」となります。

管理者以外のユーザー名（アカウント ID）は「\\ドメイン名\設定したユーザー名」となります。

[¥]は使用せずバックスラッシュ[\]を入力します。

[\]は、「あ」、「a」、「1」の順にタップ、「9」を長押し、右の順に操作します

(4) [ログイン]をタップします。

(5) ログインに成功すると常駐接続のトップ画面が表示されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

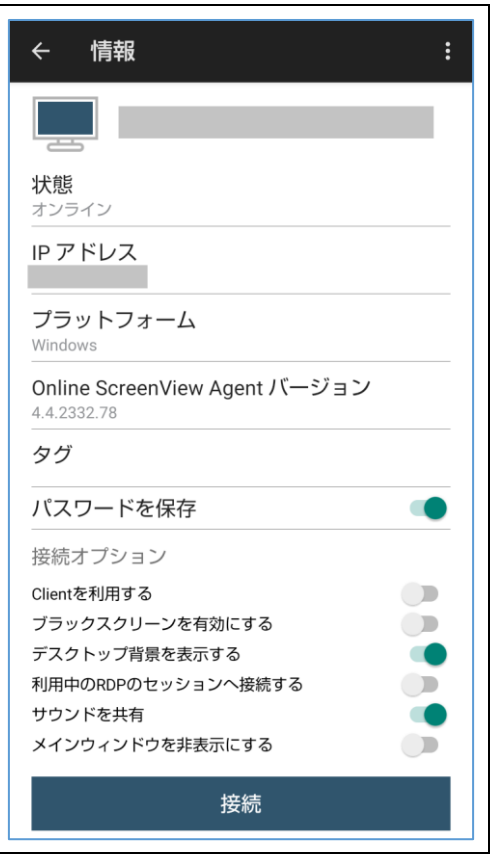
9.2 接続方法

アプリにログインすると接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。

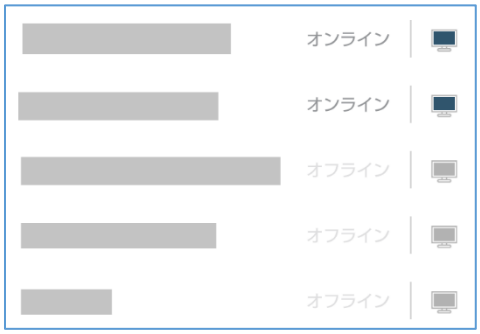
■接続先端末の詳細情報

接続先の PC 名をタップすると端末の詳細を確認できます。

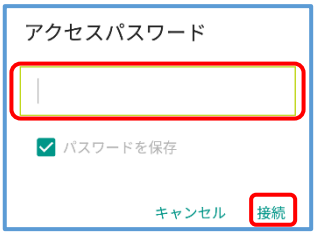
PC 名	ドメイン＋コンピューター名、 あるいは設定したコンピューター名
状態	オンライン/オフライン
IP アドレス	IP アドレス
プラットフォーム	Windows または Mac OS X
Online ScreenAssist Agent バージョン	インストールされている Online ScreenAssist のバージョン情報
タグ	タグ情報を表示します
パスワードを保存	リモート PC のアクセスパスワードを記憶します



(1) コンピューターの一覧から接続する PC 名をタップします。
[パスワードを保存]をオンにし、[接続]をタップします。
※パスワードを保存したくない場合は[パスワードを保存]がオフであることを確認ください。



(2) アクセスパスワードを入力し、[接続]をタップします。



(3) 接続が完了すると、PC 画面が表示されます。
※[設定] の [操作方法の表示] を [オン] にしている場合は、接続先の PC のデスクトップ画面より先に[操作方法]の画面が表示されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

9.3 メニューバー

デスクトップ共有中は画面下部にメニューバーが表示されます。

メニューバー内のツールを使い、さまざまなリモート操作を行うことができます。

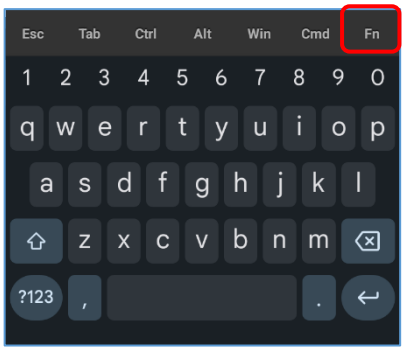
①	キーボード入力	リモート PC 上でキーボードの入力を行います
②	マウス操作	マウスの左クリック/右クリックを切りかえます
③	画面サイズ	共有画面のウィンドウサイズを変更します
④	設定	リモート PC のデスクトップ背景の表示/非表示などを行います
⑤	チャットウィンドウ	簡易ログを表示します
⑥	終了	デスクトップ共有またはリモート接続を終了します

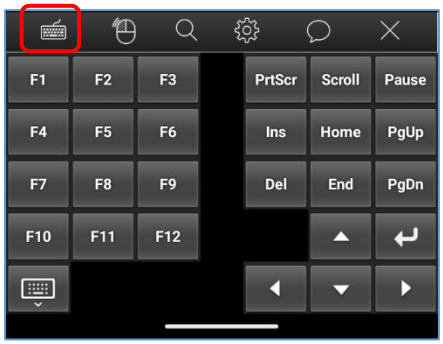
※1　一部の機能は、クライアント PC の OS が Windows の場合のみご利用いただけます。

9.3.1　キーボード入力

キーボードを使って、リモート PC 上で文字を入力します。

リモート PC の OS が Windows の場合は、下の図の「Fn」をタップして
ファンクションキーやカーソルキーが入力できます。





元に戻る場合は、[キーボード]アイコンをタップします。

リモート PC の日本語入力システム（Windows:言語バー）の操作により Android から「ローマ字入力」ができない場合は、リモート PC の日本語入力システムの入力モードを「ひらがな」に変更してください。

左図では、例として Windows の IME ツールバー（言語バー）を表示しています

リモート PC の OS が Mac の場合は、キーボード上の一部のキーはご利用いただけません。

キーボードの入力を終了する場合は Android 端末本体の「戻る」をタップしてください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

9.3.2　マウス操作

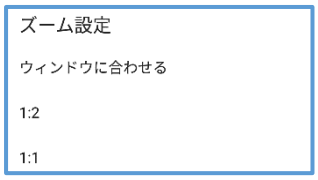
マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します。

マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します

共有画面（リモート PC）上で1度右クリックを行うと、自動的にマウスは左クリックに戻ります。
続けて右クリックを行う場合は、再度[マウス]アイコンをタップしてください。

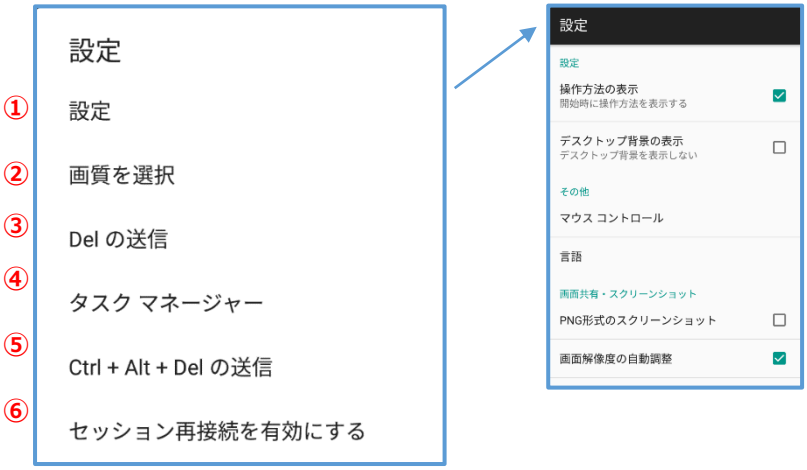
9.3.3　画面サイズ

共有画面の、ウィンドウサイズを変更します。
いずれの画面サイズに変更した場合でも、Android 端末のピンチアウト（拡大表示）や
ピンチイン（縮小表示）の操作を行うことができます。
共有画面を実サイズで表示する場合は、[1:1] を選択してください。



9.3.4　設定

選択すると設定メニューを表示します。
　デスクトップ画面を操作する設定変更やリモート PC に対して「Ctrl + Alt + Del」などのコマンドの送信を行います。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

①	設定	操作方法の表示	デスクトップ共有開始時に、画面の操作方法を表示/非表示にします。
		デスクトップ背景の表示	画面共有時のクライアントのデスクトップ背景を表示/非表示にします。
		マウスコントロール	フリー:フリーハンドでマウスを操作します。 ロック:画面中央にポインターを表示し、マウスを固定して操作します。 必ずしもポインター上でダブルタップを行う必要はありません。 ポインターを対象に合わせた状態で、共有画面上のどこでもタップして実行することができます
		言語	使用言語を変更します。
		PNG 形式のスクリーンショット	画面送信方式が変更されます。
		画面解像度の自動調整	Android から PC への接続時、自動的に解像度を最適化します。
②	画質の選択	品質優先	ハイカラー(ISSC Triple @60%)に設定されます。
		速度優先	共有画面の色数を落とし情報量を減らし速度を優先します。
③	Del の送信	Delete キーを送信します。	
④	タスクマネージャー	タスクマネージャーを起動します。	
⑤	Ctrl+Alt+Del の送信	Ctrl+Alt+Del を送信します。	
⑥	セッション再接続を有効にする	Online ScreenAssist では自動的に再接続を有効にするため、この設定は利用しません。	

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

10. リモートコンピューターの操作

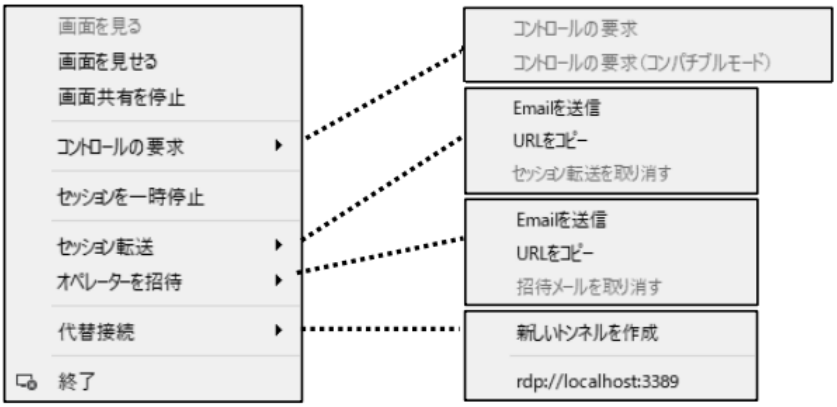
リモート接続した際の操作方法についてご案内します。

10. 1ツールバー

① ダッシュボードの表示/非表示

ダッシュボードを前面に表示します。

② 画面共有



画面を見る	接続先の相手のデスクトップ画面を表示します。
画面を見せる	自身のデスクトップ画面を接続先に表示します。 Online ScreenAssist では使用しません。
画面共有を停止	デスクトップ画面の共有を停止します。
コントロールの要求	接続先にコントロールを要求します。 ※コンパチブルモード：接続元と接続先の双方でコントロールを行います（通常は双方からコントロールを行った場合接続先の操作が優先されます）。接続先の端末で F12 キーを押下するとコントロールを拒否できます。
セッションを一時停止	セッション（接続）を一時停止します。
セッション転送 オペレーターを招待	・Email を送信ダイアログ上にメールアドレスを入力し、Email を送信してセッションに招待します。規定のメールソフトを使用して送信することも可能です。 ・URL をコピーセッション転送 ・招待用の URL をクリップボード内にコピーします。コピーした URL はメモ帳などに張り付けできます。 ・セッション転送/招待メールを取り消す [Email を送信][URL をコピー]で取得した URL を無効にします。
代替接続	Online ScreenAssist上から RDP 接続、SSH 接続によるセッションを実行します。
終了	セッション（接続）を終了します

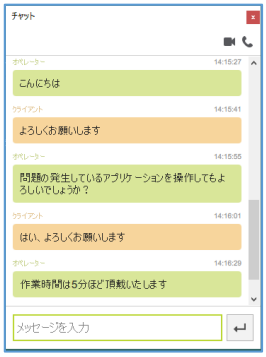
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

③ ファイル転送

ファイルの送信および受信を行います。また、Online ScreenAssist 4.4.2031.107 以降では、ファイルマネージャーを用いて接続先のディレクトリを操作することが可能です。

ご注意：クライアントが Mac OS の場合、ファイル転送で送信した「フォルダー」はゴミ箱に移動できなくなります。

④ チャット



チャットウィンドウを表示します。

テキストおよび音声、ビデオを使用してチャットできます。

補足：Online ScreenAssist でチャットをご利用になる場合は、
接続オプション［Client を利用する］を有効にして接続してください。

⑤モニター

接続先がマルチディスプレイの場合、モニターの選択ボタンおよび
マルチウィンドウ表示ボタンが表示されます

⑥ズーム

実寸（1:1）、または共有画面の解像度に合わせます。

⑦描画ツール

ペン	ペンで書き込みを行います。 ※デスクトップ画面を[見る][見せる]側の双方から書き込みできます。 ※書き込みはデフォルトで 10 秒後に自動的に消去されます。
消去	ペンによる書き込み、ポインターを消去します。 ※右クリックすると「5 秒」「10 秒」「手動」の中から、消去のタイミングを設定できます。
ポインター	ポインター（スタンプ）を押印します。 ※初期設定の場合、ポインターは 10 秒後に自動的に消去されます。
画面操作	マウスポインターに切り替えて画面操作を行います。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

⑧キーボード

リモートの IME を優先	接続先の IME を優先して使用します（入力したキーが Unicode で接続先に送信されます）。
ローカルの IME を優先※1	接続元の IME を優先して使用します。接続先の入力言語は、マウス操作で切り替えられます。
自動（　）	Windows の場合、初期設定で選択されています。 ISL Light を操作している端末の IME が日本語の場合、自動でリモートの IME を優先します。
Ctrl + Alt + Del※2	クライアントに[Ctrl + Alt + Del]を送信します。 （管理者モードが有効な場合のみ実行できます）
Win + L※2	[Windows + L] の操作（ロック）を実行します。
Win + R※2	[Windows + R] の操作（ファイル名を指定して実行）を実行します。
クリップボードを利用	オペレーターとクライアント間のクリップボードの共有（保存したテキストの貼り付け）を許可/禁止できます。
Print Screen	共有画面のスクリーンショットを取得します。 (取得したスクリーンショットは、実行した端末のクリップボード内に保存されます。ペイントソフトなどを起動して貼り付けを行ってください)
クリップボードのテキストを入力※3	接続元のクリップボードのテキストを Unicode で接続先に送信します。OS のログイン画面にパスワードを入力する際などに利用します。送信可能な文字数の上限は 1000 バイトです。

※1 接続元と接続先の入力モードが「日本語」の場合、[Shift]+他のキーを同時に押下すると接続先で[Shift]キーが押された状態が続きます。再度[Shift]キーを押すことで解除できます。

※2 クライアントが Windows の場合のみ実行できます。

※3 クライアントが macOS の場合、英数字などの 1 バイト文字のみ送信可能です。

⑨システム情報

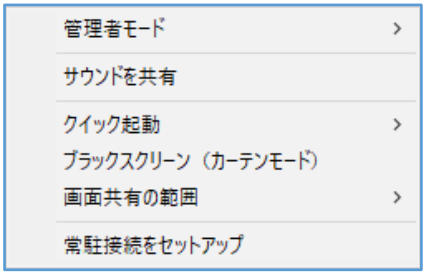
接続先の主なシステム情報を取得します。

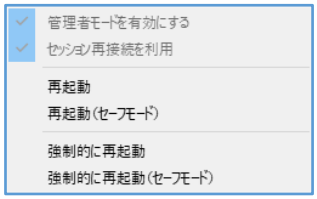
ログを取得	接続先のログを取得します。
詳細情報を取得	接続先の詳細なシステム情報を取得します。 この機能は主にトラブルシューティングで使用します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

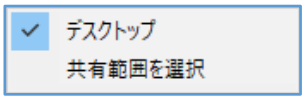
⑩ツール

接続先の再起動やブラックスクリーンなどの機能を実行します。





接続先の OS により起動できるアプリケーションが異なります。後述の説明をご参照ください。



■管理者モード win

管理者モードを有効にすると、クライアント端末（Windows）上に表示されたUAC画面に対する操作やセッション再接続を有効にできます。

※セッション再接続について

セッション再接続を有効にすると、オペレーター側で「再起動」「シャットダウン」「スタンバイ」「ログオフ」「休止状態」を実行しても、クライアント端末の起動後（ログイン後）に再度同じセッションに接続されます。
また、クライアント端末がWindowsの場合は、以下の方法で再起動を行うことができます。

再起動	クライアント端末の再起動を行います。
強制的に再起動	強制的にクライアント端末の再起動を行います。
再起動（セーフモード）	セーフモードでクライアントの再起動を行います。
強制的に再起動（セーフモード）	強制的にセーフモードでクライアントの再起動を行います。

補足：常駐接続では、セッション再接続が自動で有効になります。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■サウンドを共有

Windows OS への接続時に、接続先の音声が共有できます。サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。

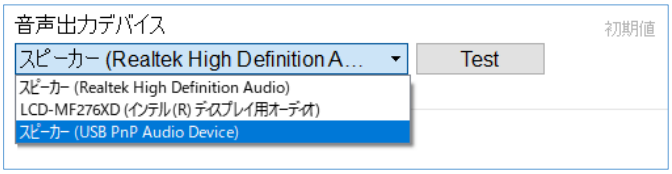
オペレーターの音声出力デバイスの設定方法は、以下をご参照ください（セッションを開始する前に行ってください）。

[手順]

(1)[メニュー]-[設定]を選択します。

(2)[音声およびビデオ]を選択します。

(3)[音声出力デバイス]から使用するデバイスを選択後、[Test]を選択して音声確認テストを行います（正常に設定されている場合はビープ音が聞こえます）。

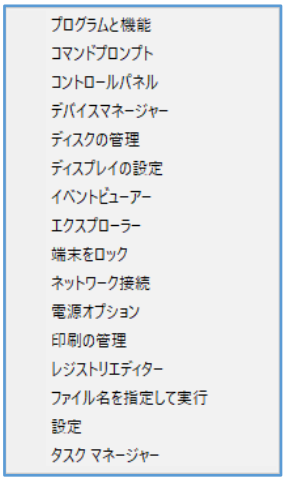


(4)設定画面を閉じます。

■ クイック起動

接続先の OS に搭載されているシステムアプリケーションを起動します。起動できるアプリケーションの種類は、OS により異なります。

Windows



mac OS

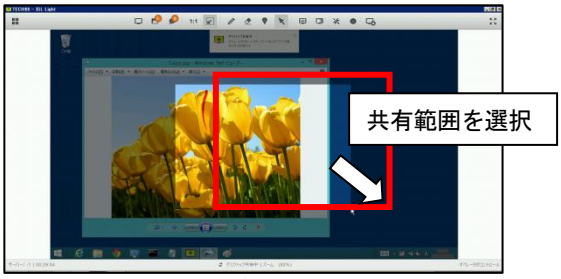
■ブラックスクリーン（カーテンモード）win

接続先の端末画面を黒画面にして、一時的に相手に操作内容を見せないようにします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

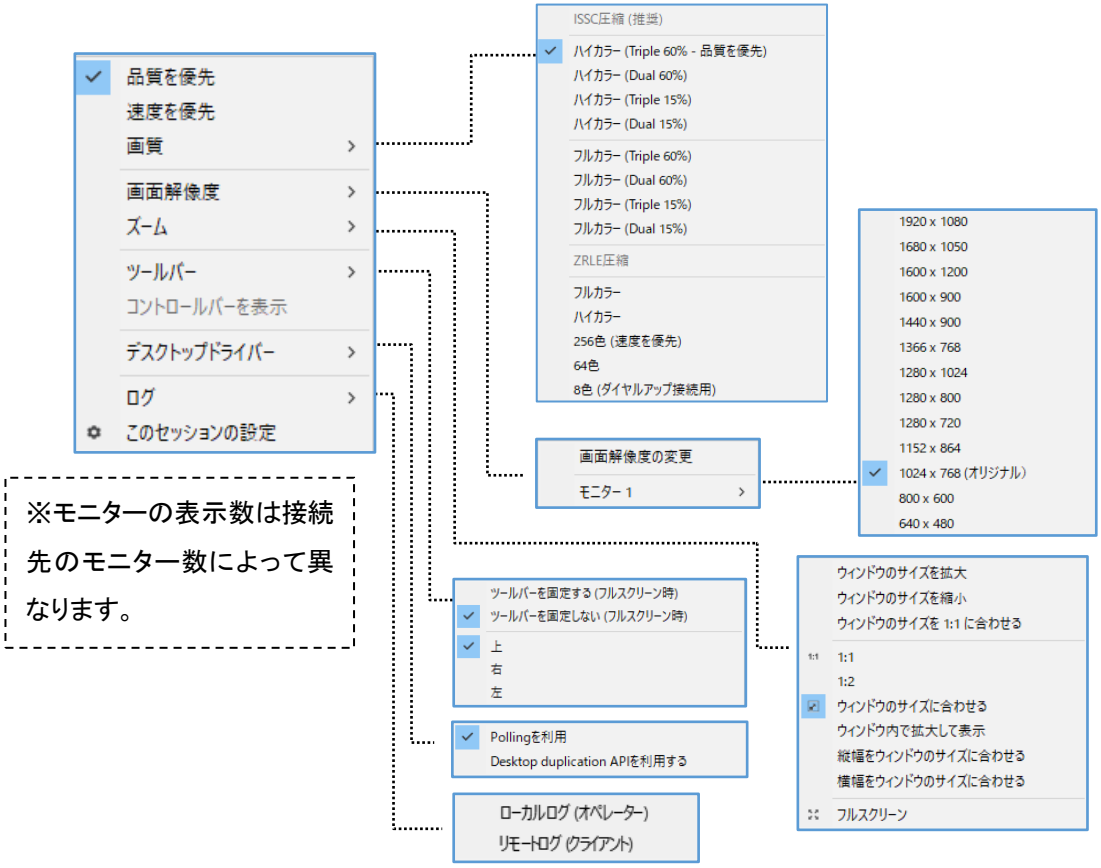
■画面共有の範囲win

画面共有（見る側）の範囲を指定します。

デスクトップ	画面共有の範囲をデスクトップ全体に指定します。 （デフォルトの指定範囲はデスクトップ全体となっています）
共有範囲を選択	画面共有の範囲を任意に指定します。 [手順] 1. 画面共有開始後、[共有範囲を選択] を選択します。 2. マウスをドラッグして、共有範囲を選択します。  3. 選択した範囲のみが画面上に表示されます。

⑫ 設定

画質・表示サイズ・セッションに関する設定などを行います。



※モニターの表示数は接続先のモニター数によって異なります。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■品質を優先

接続先のデスクトップ共有画面を品質優先で表示します。

■速度を優先

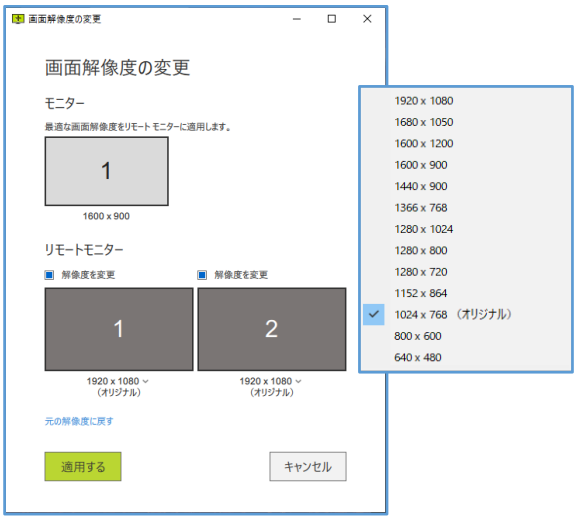
接続先のデスクトップ共有画面を速度優先で表示します。

■画質

「品質を優先」「速度を優先」を含むすべてのオプションが選択できます。

■画面解像度

接続先のモニターの解像度を変更できます。接続先が以下の条件に当てはまる場合にご利用いただけます。
※接続オプション[Client を利用する]利用時は、本機能はご利用になりません。



セッションを終了すると、接続先のモニター解像度は接続前の状態に戻ります。

■ズーム

共有画面の画質およびサイズを調整します。

補足：Windows 版の場合、フルスクリーンは[Ctrl + Esc]のショートカットでも切り替えができます。
（スタート画面も同時に起動します）。

■ツールバー

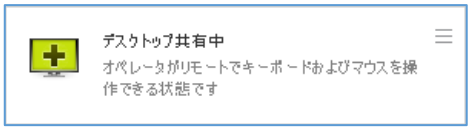
ツールバーの表示に関する設定を行います。

ツールバーを固定する/固定しない	フルスクリーン実行時のツールバーの表示/非表示を設定します。
上 左 右	「上」「左」「右」の中から、ツールバーの表示位置を選択します。

■コントロールバーを表示/隠す

コントロールバーの表示/非表示を設定します。

コントロールバーは、自分が[見せる]側の場合のみ表示されます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■デスクトップドライバー

画面共有に使用するデスクトップドライバーを選択します。

Windows 8 以降	Desktop duplication API または Polling が選択できます。
Windows 8 未満	Polling が選択できます。
Mac OS	Hooks が選択できます。

■システム情報

接続先のシステムに関する情報や、Online ScreenAssist のログを取得します。

ローカルログ（オペレーター）	オペレーターの Online ScreenAssist ログを取得します。
ローカルログ（クライアント）	クライアントの Online ScreenAssist ログを取得します。

■このセッションの設定

接続中のセッションに関する設定画面を開きます。

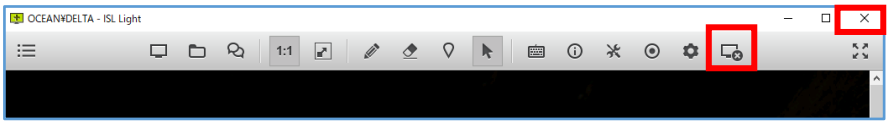
画面操作	クリップボードの利用
	デスクトップ共有（見せる）
	デスクトップ共有時（見せる）の操作
	デスクトップ共有（見る）
	デスクトップ共有（見る）の操作
ファイル転送	ファイルマネージャー
	ファイル受信
	ファイル送信
ポート転送	localhost 以外へ及び localhost 以外からのトンネル作成
	クライアントからのポート転送
	オペレーターからのポート転送
レコーディング	レコーディング

⑬セッション終了

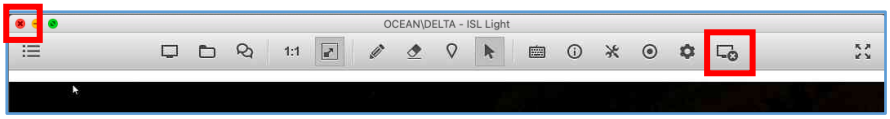
接続中のセッションを終了します。

終了手順：

[Windows]・[Linux]

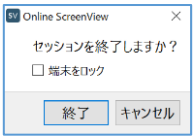


[macOS]



セッションの終了確認メッセージが表示されます。

[終了] を選択するとセッションが終了します。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

⑭フルスクリーン

共有画面をフルスクリーンで表示します。

補足:オペレーターが Windows 版の場合、フルスクリーンは[Ctrl+Esc]のショートカットで切り替えができます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

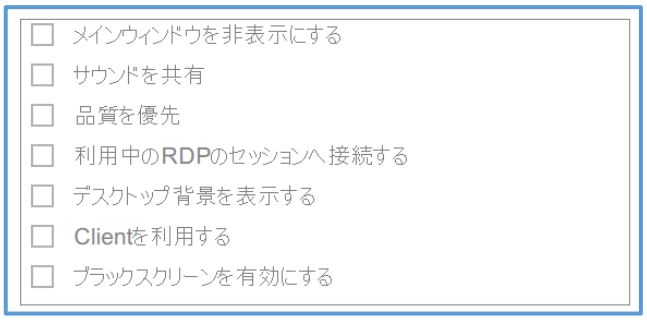
10. 2接続オプション

接続を開始する前に[接続オプションを表示する]を選択し、接続後の画面共有の状態などを指定することができます。

※接続オプションは一度設定(有効・無効)を行った後は設定内容が保存されます。

※接続オプションは、各オプションの機能を利用するときのみ[有効]にしてください。

(必要のないオプションは[無効]の状態にして接続を開始してください)



※PC アプリケーションコンソール、オンラインページどちらも共通の画面です

Client を利用する	接続後、クライアント端末上に Online ScreenAssist Client(メニュー画面)およびツールバーを表示します。
ブラックスクリーンを有効にする※1	接続後、クライアント端末の画面をブラックスクリーンにします。
デスクトップ背景を表示する	接続後、クライアント端末のデスクトップ背景を表示します。
ファイルボックスを最小化する※2	接続後、クライアント端末のデスクトップ上の「ファイルボックス」を非表示にします。
利用中の RDP のセッションへ接続する※1	クライアント端末の RDP 接続(Remote Desktop Protocol/リモート デスクトップ プロトコルで接続中のセッション)に対して、接続を行います。詳細は後述の説明をご参照ください。
メインウィンドウを非表示にする※1	接続後、クライアント端末のデスクトップ上に接続中であることを通知するミニウィンドウ(右)を表示します([Client を利用する]と併用する必要があります)。
品質を優先※1	接続後のデスクトップ共有画面の品質を優先して表示します。
サウンドを共有※1	接続先の音声が共有できます。サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
トータルコントロールを有効にする※1	接続後、クライアント端末のマウスとキーボードの使用を禁止します。

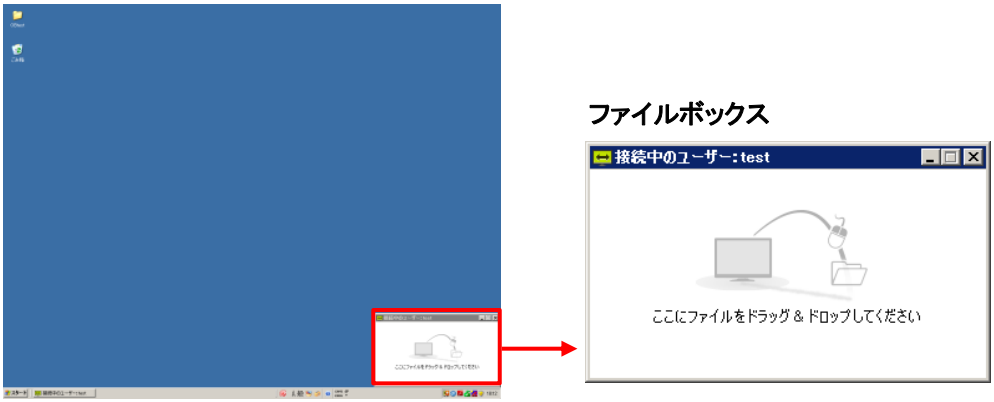
※1 クライアント端末が Windows の場合のみご利用になれます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■「Client を利用する」オプションについて

Online ScreenAssist では必要な各種プラグインをあらかじめ含んだプログラムを利用することで、接続時間の短縮（高速化）を実現しています。高速接続を行うには[Client を利用する]のオプションは無効になっている必要があります。

高速接続ではクライアント端末のデスクトップ画面に「ファイルボックス」が表示されます。ファイルボックスにファイル（フォルダー）をドラッグ&ドロップすると、クライアント端末からファイル（フォルダー）を転送できます。転送されたファイルは、ファイル転送で指定した受信ファイルの保存先に保存されます。クライアント端末にファイルを転送した場合は、デスクトップ上にファイルが保存されます。



高速接続の場合、Online ScreenAssist のツールバーおよび Online ScreenAssist Client のメニュー画面は表示されません。

また、一部の機能がご利用いただけないため、これらの機能を利用する際はこのオプションにチェックを入れます。

■「ブラックスクリーンを有効にする」オプションについて

オプションを有効（ON）にすると、画面共有と同時にクライアントの画面を黒表示にして、一時的に相手に操作内容を見せないようにすることができます。

ブラックスクリーンは、ツールバーから再度ブラックスクリーンを実行するか、リモー トPC 側で[ESC] キーを入力すると解除されます（解除されるまでに数秒かかります）。

（補足）

・クライアント端末が Windows の場合のみ実行できます。

・接続先が Windows 8 以上、Windows Server 2012 以上の場合、このオプションを有効にして接続を開始すると、OS のロック画面に接続されます。

・サインイン/サインアウト時やロック画面への切り替え、[Ctrl + Alt + Del]キー押下時など、Windows セッションが切り替わる際にブラックスクリーンが一時的に無効になります。

・ブラックスクリーン上にオペレーターのマウスカーソルの動きが表示されます。

・Windows 7 の端末では、スタートメニューやタスクトレイ選択時にブラックスクリーンが一時的に無効になります。

・Windows 8 以上、Windows Server 2012 以上の端末への接続で以下に該当する場合、ブラックスクリーンの実行には初回のみクライアント端末に専用のドライバーをインストールする必要があります。

手順は以下をご参照ください。インストール には管理者権限が必要です。

また、Windows 10 の大型アップデート（バージョン 1607：Anniversary Update）以降に初期インストールされた端末では、利用できません。

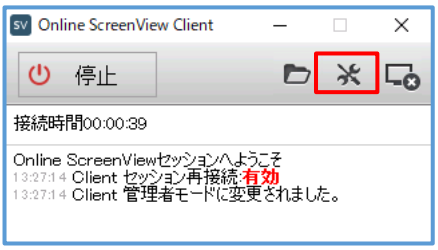
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

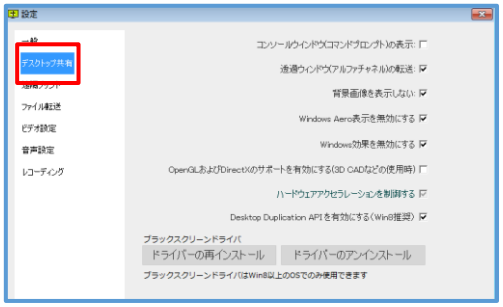
■ドライバーのインストール

(1) セッションを開始します。

(2) クライアント端末のチャットウィンドウの[設定]を選択します。

(3) メニューから[デスクトップ共有]を選択し［ドライバーの再インストール]を選択してインストールを行います（UAC を有効にしている場合は、インストール時にメッセージが表示される場合があります。[はい]を選択してインストールを許可してください）。





10. 3ファイルを転送する

セッションを開始すると、ファイルやフォルダーの転送（送信・受信）ができます。

※接続方法により表示されるウィンドウ、表示が異なります。

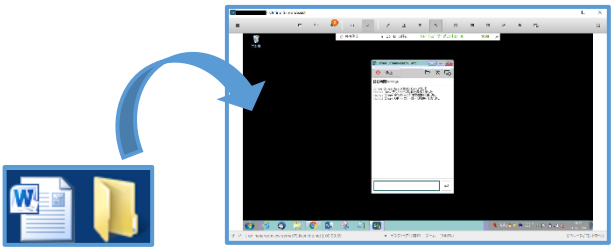
≪注意≫

2018 年 3 月現在クライアントが Mac の場合、ファイル転送で送信した「フォルダー」はゴミ箱に移動できません。

また、iPhone、iPad や Android などのモバイル端末ではファイルを転送することはできません。

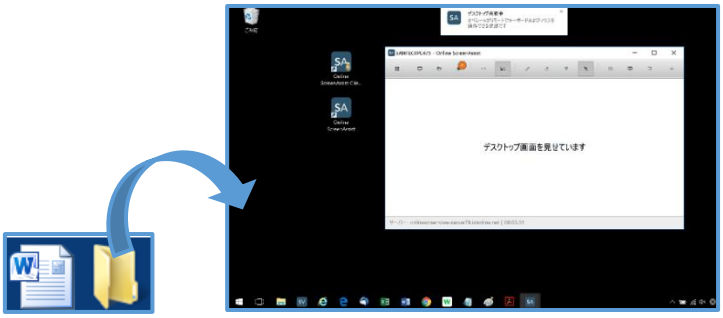
【方法 1】共有画面上にドラッグ &ドロップする

共有画面上にファイルまたはフォルダーをドラッグ &ドロップします。



【方法 2】ツール画面上にドラッグ &ドロップする（PC アプリケーションコンソール）

ツール画面上にファイル/フォルダーをドラッグ &ドロップします。



※ツール画面は[見せる]を実行した PC 上に表示されます。

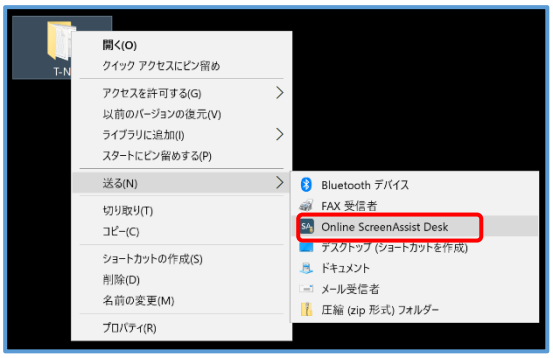
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

【方法 3】右クリックで送信する対象を選択する

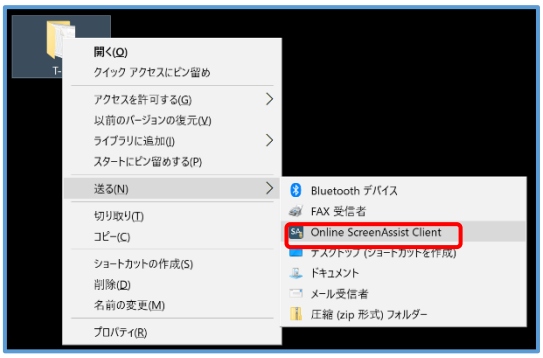
(1) 送信したいファイル（フォルダー）の上で右クリックを行います。

(2) [送る]-[Online ScreenAssist Desk(Online ScreenAssist Client)]を選択します。

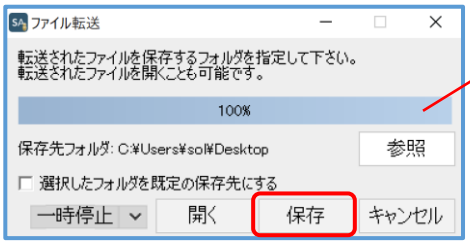
▼お手元の PC から送信する場合



▼クライアントから送信する場合

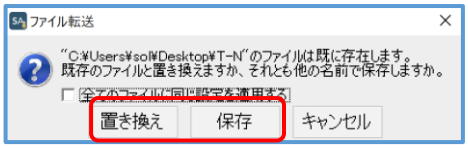


(3) ファイル（フォルダー）の転送が開始されると、転送先のデスクトップ上に以下のウィンドウが表示されます。



ゲージが 100%になったら転送完了です
ファイルを保存してください

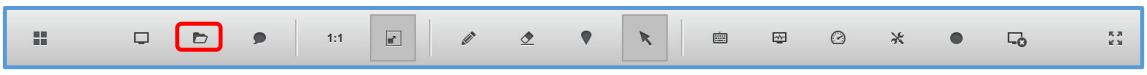
≪補足≫既存ファイル（フォルダー）の置き換えについて



送信した先に同じ名前のファイル（フォルダー）が存在していた場合は、保存する際に別名で「保存」あるいは「置き換え（上書きして保存）」できます。

【方法 4】ツールバーを利用する

ツールバー内の「ファイル転送」から送信します。



(1) ツールバー内の [ファイル転送] を選択します。

(2) [ファイルを送信する] または [ファイル受信] を選択します。

(3) 転送するファイル/フォルダーを指定し、[開く] を選択します。

受信する場合は、相手先にファイルを指定するウィンドウが表示されます。

(4) ファイル/フォルダーの転送が開始されます

受信する場合は [変更する] を選択して保存先を変更できます。

※[転送内容を表示する]を選択すると、転送中の状態を確認できます

(5) デスクトップに転送されたファイルが保存されます。

≪補足≫既存ファイル/フォルダーの置き換えについて

送信した先に同じ名前のファイル/フォルダーが存在していた場合は、保存する際にファイル/フォルダーを別名で「保存」または「置き換え（上書き）」できます。

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

10. 4ファイルマネージャー

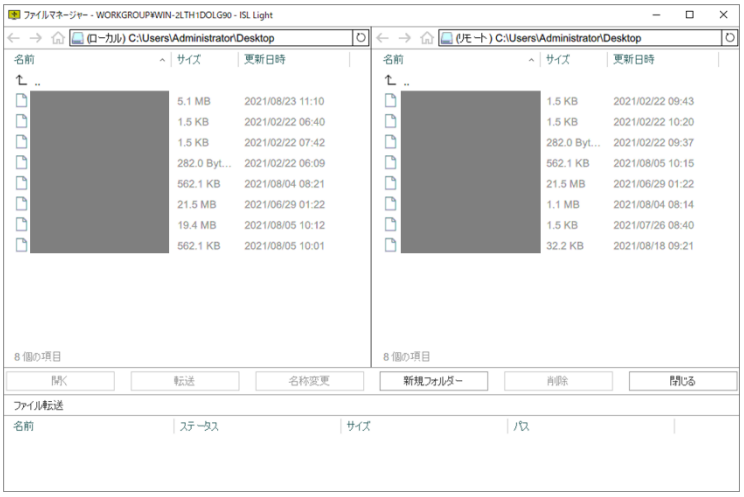
OnlineScreenAssist 4.4.2031.107 以降では、ファイルマネージャーを使用して、ファイル転送の他、接続先のフォルダーやファイルに対して操作を行うことが可能です。

(1) 共有画面のツールバー内の[ファイル転送]を選択します。

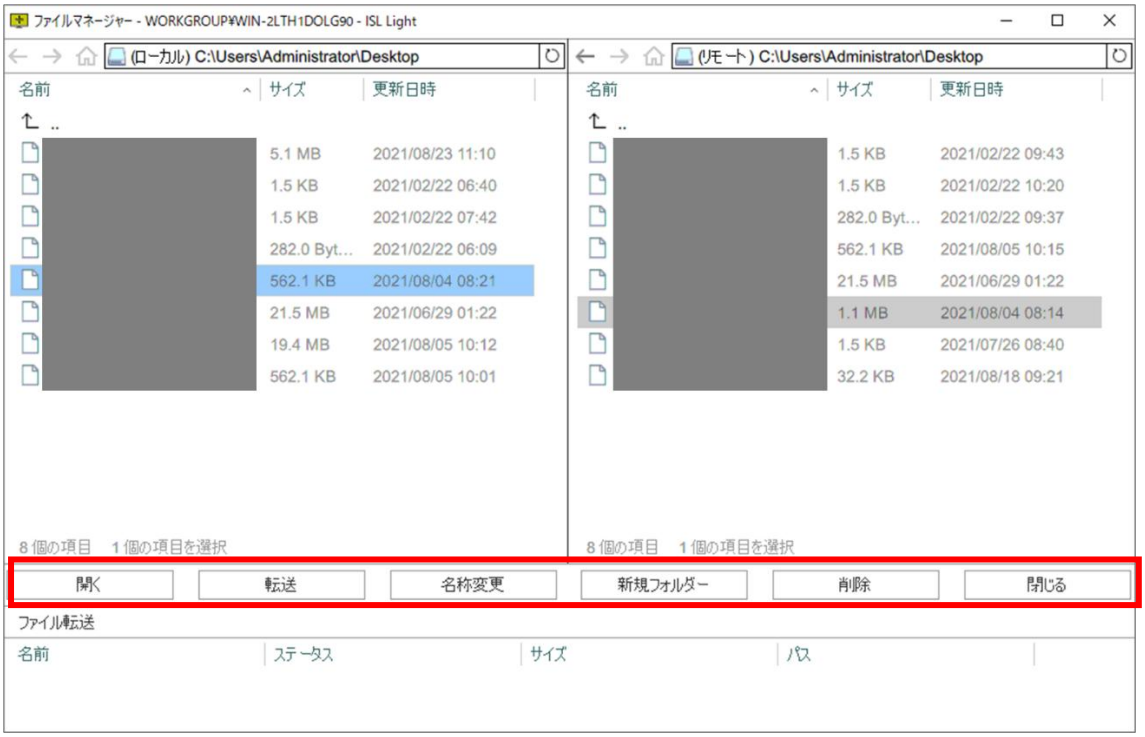
(2) [ファイルマネージャー]を選択します。

(3) ファイルマネージャーが表示されます。クライアント側で、オペレーターからのファイル管理を許可します。
（常駐接続時には、接続先の端末のファイル管理が自動で許可されます）

(4) オペレーターのローカル端末と、接続先の端末のデスクトップに保存されているフォルダーやファイルの一覧が表示されます。また、クライアント側にはファイル転送のイベントログが自動で表示されます。
（常駐接続時には、イベントログが表示されません）



ファイルマネージャーでは、以下の機能が利用可能です。

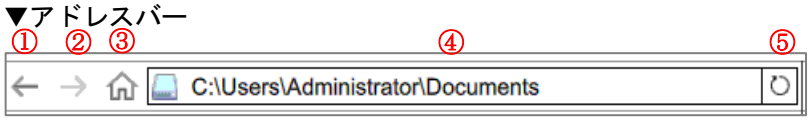


2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

開く	フォルダーを選択して[開く]を選択すると、選択したフォルダーを開き、フォルダー内のファイル/フォルダーの一覧を表示します。ファイル/フォルダー一覧の一番上の[..]を選択して[開く]を選択すると、現在のディレクトリから一つ上のディレクトリへ移動できます。 ※直接フォルダーを右クリックして[開く]を選択するか、フォルダーをダブルクリックして実行することも可能です。
転送	選択したファイル/フォルダーを転送します。(ローカルフォルダー内を選択時には送信、リモートフォルダー内を選択時には受信します) ※直接ファイル/フォルダーを右クリックして[転送]を選択して実行することも可能です。
名称変更	選択したファイル/フォルダーの名称を変更します。 ※直接ファイル/フォルダーを右クリックして[名称変更]を選択して実行することも可能です。
新規フォルダー	ローカル側(左)のウィンドウ、もしくはリモート側(右)のウィンドウ内を選択して[新規フォルダー]を選択すると、指定した側のディレクトリに新しいフォルダーが作成されます。 ※直接ウィンドウ内を右クリックして[新規フォルダー]を選択することも可能です。
削除	選択したファイル/フォルダーを削除します。 ※直接ファイル/フォルダーを右クリックして[削除]を選択して実行することも可能です。
閉じる	ファイルマネージャーのウィンドウを閉じます。

ファイルマネージャー上部のアドレスバーは、表示するディレクトリの変更やディレクトリ内の情報の更新などが可能です。

▼アドレスバー



①	戻る	直前に表示したディレクトリに戻り、表示します。
②	進む	[戻る]を選択前のディレクトリを表示します。
③	ホーム	デスクトップのディレクトリを表示します。
④	ディレクトリパス	表示されているディレクトリの絶対パスが表示されています。 移動したいディレクトリの絶対パスを直接入力して表示することも可能です。
⑤	更新	ファイルマネージャー外で行われたフォルダーやファイルの変更を、ファイルマネージャー内に反映させます。 ※直接ウィンドウ内を右クリックして[更新]を選択して実行することも可能です。

■ファイル転送イベントログ

ファイルマネージャー上での操作はすべてイベントログに記録され、セッション内でオペレーターとクライアントの双方からログの閲覧が可能です。ファイル転送イベントログは以下の手順で開きます。

[オペレーター側の手順]

(1) 共有画面のツールバー内の[ファイル転送]を選択します。

(2) [ファイル転送イベントログ]を選択して、ログを表示します。

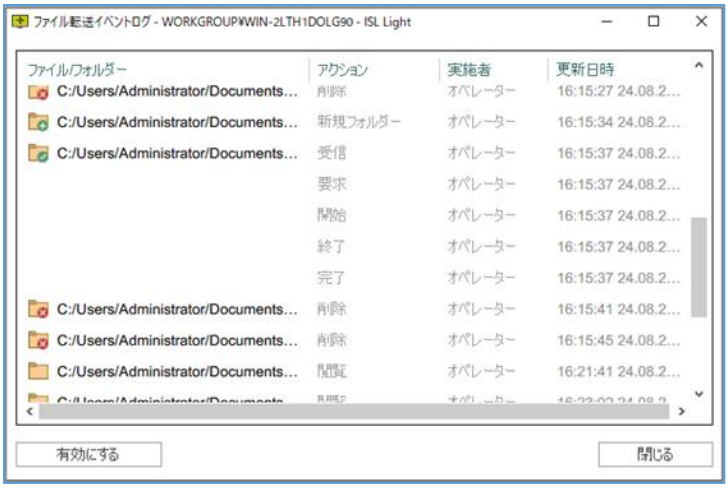
[クライアント側の手順]

(1) チャットウィンドウのツールバー内の[ファイル転送]を選択します。

(2) [イベントログ]を選択して、ログを表示します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

ファイル転送イベントログでファイルマネージャー上での操作を確認することができます。



ファイル/フォルダー	操作が行われたファイル/フォルダー名が表示されます。
アクション	ファイルマネージャー上で行われた操作の内容が表示されます。
実施者	操作を行った実施者がオペレーターかクライアントかが表示されます。
更新日時	操作が行われた日時が表示されます。
有効にする/無効にする	[有効にする/無効にする]を選択すると、接続相手が自身の端末のディレクトリへアクセスすることを許可/禁止します。
閉じる	ファイル転送イベントログのウィンドウを閉じます。

10.5ペンツールを使用する

クライアント端末側に相手がいる場合、デスクトップ共有を開始すると、共有画面上にペンで書き込みができます。

書き込みは「見る」側、「見せる」側の双方からできます。

■見る側

(1) デスクトップ共有を行います。

(2) ツールバー内の [ペン] を選択します。

(3) マウスを操作して、ペン(赤)で自由に書き込みができるようになります。

≪補足≫描画を消す

ペンの書き込みを消去する場合は、[描画ツール] - [消しゴム] を選択します

書き込みはデフォルトでは 10 秒後に自動的に消去されますが、[消しゴム] を右クリックすると

[5 秒ごと][10 秒ごと][手動で削除]の中から消去のタイミングを選択できます。

■見せる側

(1) デスクトップ共有を行います。

(2) [コントロールバー] の右上のボタンを選択して、[ホワイトボード] - [フリーハンド]を選択します。

(3) マウスを操作して、ペン(青)で自由に書き込みができるようになります。

≪補足≫

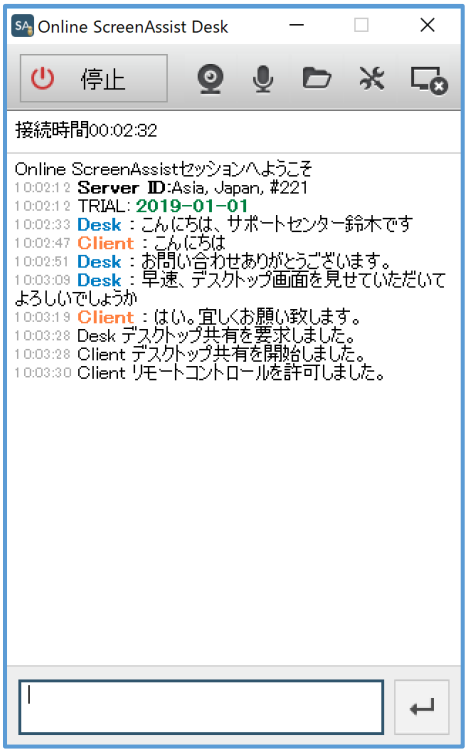
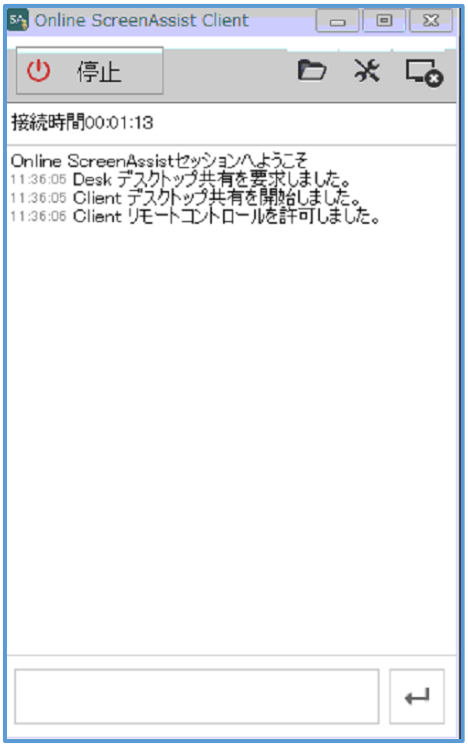
書き込み(描画線)は、30 秒に自動で消えます。手動で消す場合は [Esc] キーを入力してください。

接続元からクライアント側の書き込み(描画線)を消すことはできません。

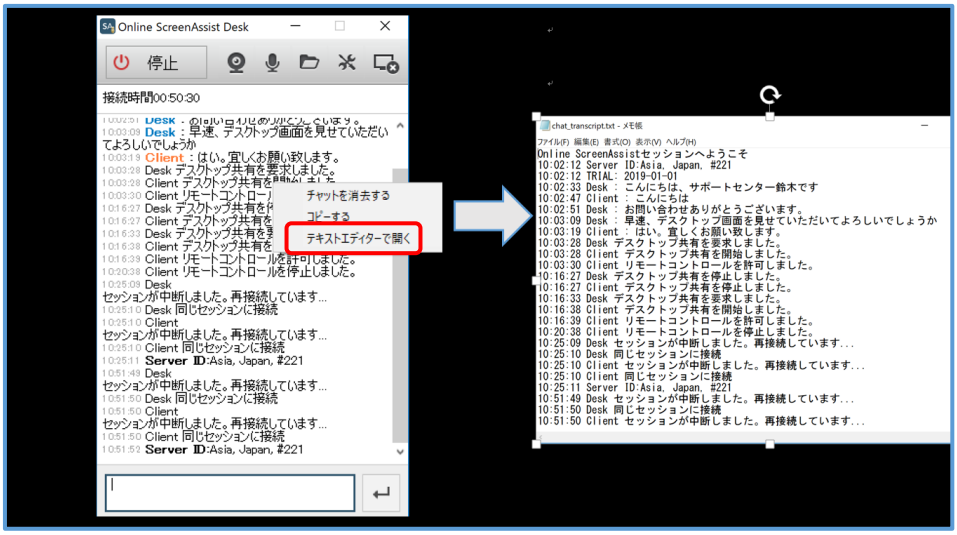
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

10. 6チャットウィンドウ

チャットウィンドウについて

▼オペレーター側	▼クライアント側
	
オペレーター側に表示されるチャットウィンドウ上部のツールバーでは、オペレーター側からデスクトップ共有を開始・停止・再開できるほか、マイク・カメラの ON/OFF、ファイル転送、設定（ログの参照）、セッション終了ができます。	開始直後にクライアント側に表示されるチャットウィンドウ上部のツールバーでは、クライアント側からデスクトップ共有（見せる）を開始・停止・再開できるほか、ファイル転送、設定（ログの参照）、セッション終了ができます。

※チャットメニュー上で右クリックして[テキストエディターで開く]を選択すると、会話（チャットウィンドウのメッセージ内容）をテキストエディターに書き出すことができます。

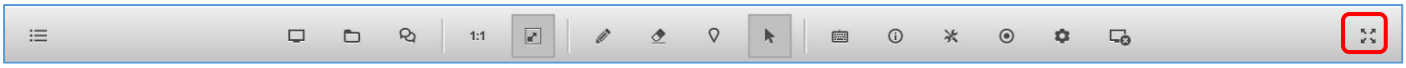


※会話（チャットウィンドウのメッセージ）の内容は、履歴としてオンラインページ上で確認できます

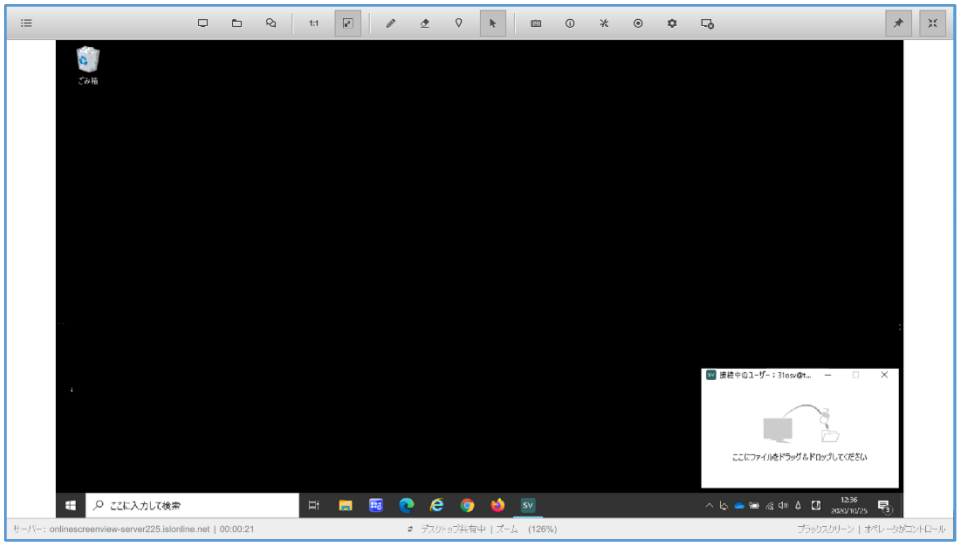
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

10. 7フルスクリーン表示

画面共有時の操作画面をフルスクリーン（全画面）表示にします。

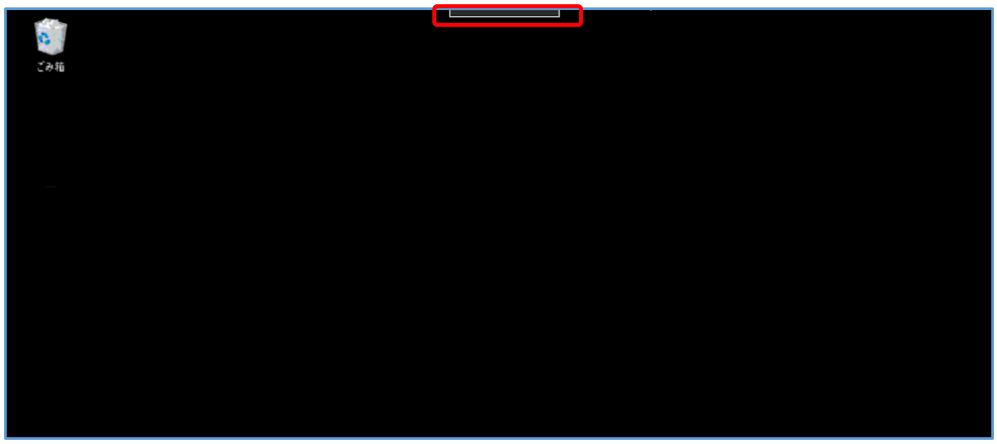


(1) 接続後の画面共有時に、ツールバー内の「フルスクリー」を選択します。



(2) フルスクリーン表示されます。

(3) ツールバー内の「ピン」を選択します。



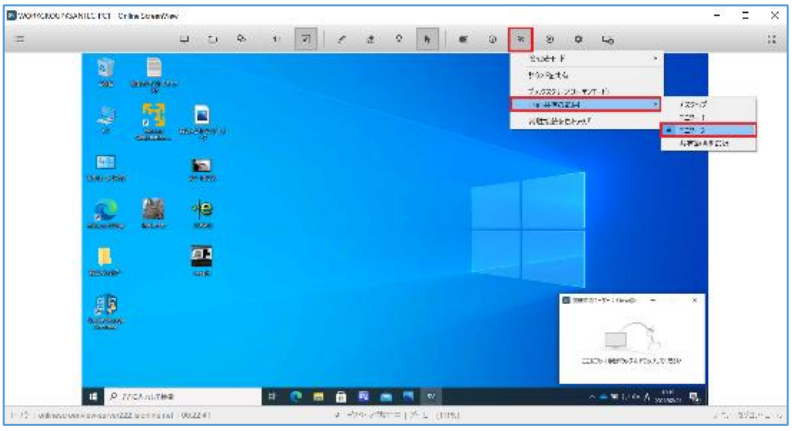
(4) 画面全体が表示されます。
フルスクリーン表示に戻す場合は、画面上端の中央部をクリックします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

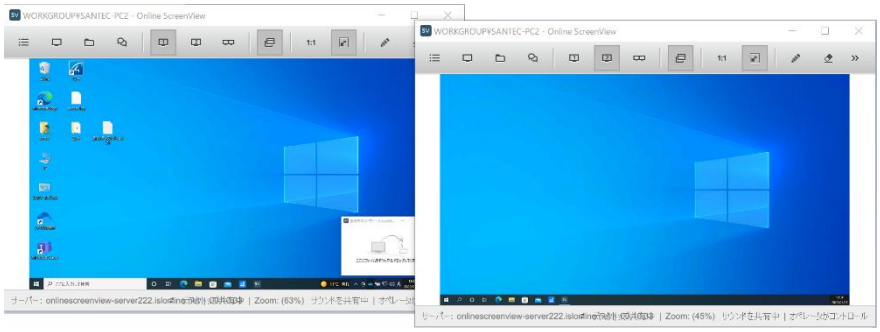
10. 8マルチモニター

接続先がマルチディスプレイの場合、モニターの選択ボタンおよびマルチウィンドウ表示ボタンが表示されます。

画面の切り替えは、マルチウィンドウ表示ボタンの他、ツールバーから表示するディスプレイの選択もできます。



「マルチウィンドウ」ボタンをクリックすると画面が分割されます。
再度、クリックすることで元に戻ります。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

10. 9レコーディング

画面共有時の操作を録画(保存)します。

作成された動画(.isr ファイル)は、ローカル PC 内の任意の場所に保存できます。

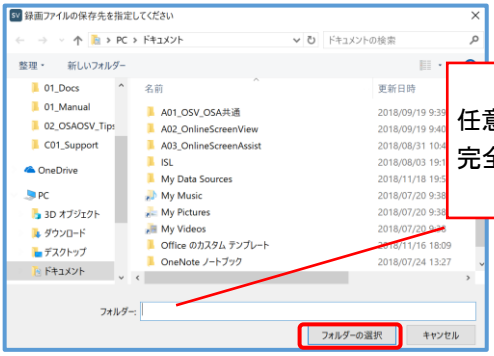
■録画する

(1)Online ScreenAssist にログインし、クライアントと接続します。

(2)[ツールバー]の[レコーディング]を選択します。

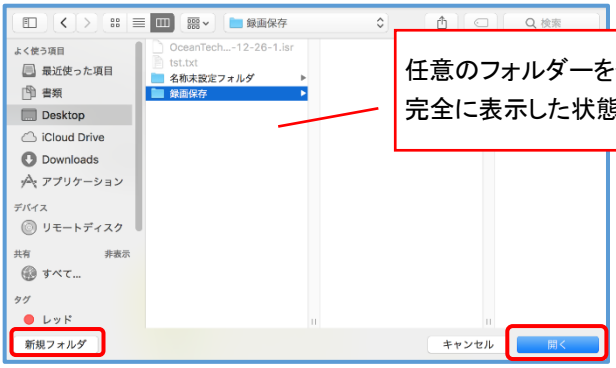
▼Windows の場合

保存先を指定して［フォルダーの選択］を選択すると、録画を開始します。



▼Mac の場合

保存先を指定して［開く］を選択すると、録画を開始します。



(3)録画が開始されるとツールバーの［レコーディング］が赤くなります。

(4)再度[ツールバー]の［レコーディング］を選択すると録画を終了します。

(5)手順 3 で指定した場所に動画(.isr ファイル)が保存されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■再生する

録画したファイルは「.isr」拡張子のついたファイル名で保存されます。「.isr」ファイルは専用のプログラムである ISL Player で再生できます。

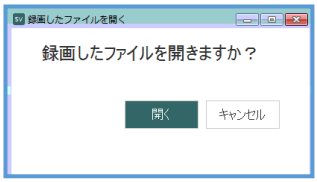
・接続終了後、すぐに再生する

(1)接続終了後、右のようなメッセージが表示されます。

(2)「開く」を選択すると、サーバーに接続を開始します。

(3)ISL Player が起動します。開始ボタンを選択すると、動画を再生します。

（ISL Player はインストールされません）

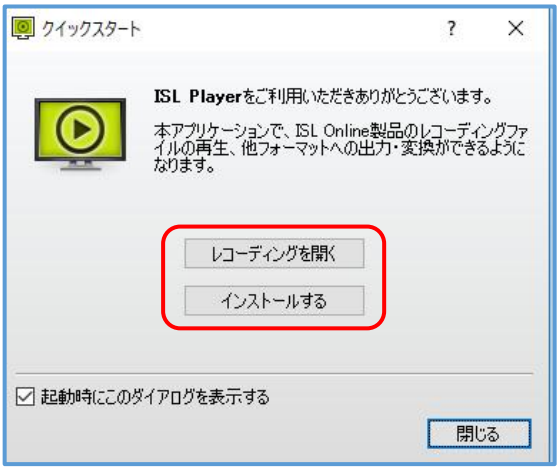


・手動で動画を再生する。

(1)「ISL Player」の起動 exe（Mac 版の場合は app）を以下からダウンロードします。

https://islv6.islonline.net/download/ISLPlayer

(2)起動 exe（Mac 版の場合は app）を実行して、ISL Player を起動します。



① [レコーディングを開く] を選択すると、インストールせずに動画を再生します。

② [インストールする] を選択すると、インストール完了後に以下のウィンドウが表示されます。
[レコーディングを開く] を選択します

※既に ISL Player をインストールしている場合は、動画（.isr）ファイルをダブルクリックするだけで ISL Player を起動できます

(3)再生する「.isr」ファイルを選択して、[開く] を選択します。

ISL Player のツールバー上にある再生ボタンを選択して、動画を再生します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

11. オンラインページ/PC アプリケーションコンソールの機能

オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールの機能をご案内します。

11. 1接続先 PC をグループで管理する

グループを作成して、クライアント端末を分類できます。
あるユーザーで既に接続できる端末を、別のユーザーでも接続できるよう簡単に紐付けることができます。
グルーピングは「端末」単位で 1 台ずつ設定できますが、登録している端末の数が 100 台を超える場合など、設定が困難な場合、グルーピングの設定を行うことができます。

- コンピューターは、それぞれ特定の 1 グループにのみ所属させることができます。
- コンピューターの特定に複数の要件が必要な場合は「タグ」機能も合わせてご利用ください。
- ログインしているアカウントが所有しているコンピューターのみ分類できます。

11. 1. 1 新規グループを作成する

(1) オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします
(2) グループ名を入力し、[作成]を選択します。
(3) グループが作成され、左側にグループ欄が表示されます。

11. 1. 2 グループに PC を分類する

(1) オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします。
(2) グループに移動する PC の[アクション]から[グループに移動する]を選択します。
(3) [グループ名]で移動先のグループを選択して、[移動]を選択します。
(4) 移動先のグループを選択し、移動したコンピューターが表示されることを確認します
※[アクション]から[グループから削除する]を選択すると、特定のグループへの所属を解除して、「すべてのコンピューター」からコンピューターを選択できる状態に戻ります

11. 1. 3 グループの共有（グルーピング）

グループに所属しているすべての PC をほかのユーザーと共有します。
あるユーザーが接続できるように登録した PC を別のユーザーからも接続できるように紐付けることができます。
(1) オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします。
(2) グループを選択し、右横のボタンから[共有する]を選択します。
(3) 共有可能なユーザーの一覧が表示されます。共有したいユーザーにチェックを入れ、権限を選択します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

▼権限の種類

グループ管理者	共有端末への接続、端末の編集・移動、共有ユーザーの権限管理およびアクションの実行ができます
コンピューター管理者	共有端末への接続、端末の編集・移動およびアクションの実行ができます
接続のみ	共有端末への接続およびアクションの実行ができます

(4) [保存]を選択します。

(5) 共有が完了すると、グループ名の下に人型のアイコン(数字:共有しているユーザーの数)が表示されます。

(6) アイコンを選択すると共有しているユーザー名を確認できます。

※複数の PC を共有(グルーピング)するには[複数の PC を一斉にグルーピングする]をご参照ください

11.1.4 複数の PC を一斉にグルーピングする

端末を選択して、一斉にグルーピングを行います。

(1) オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします。

※グルーピングを行う端末に対して接続できるユーザーでログインします。

例:ユーザー「test」で接続できる端末をユーザー「test2」に紐付ける場合:「test」でログイン

(2) 必要に応じて検索を行い、グルーピングを行う端末を表示します。

(3) 対象端末のチェックボックスに☑を入れ、[その他] - [一斉グルーピング]を選択します。

(4) 実行画面が表示されます。

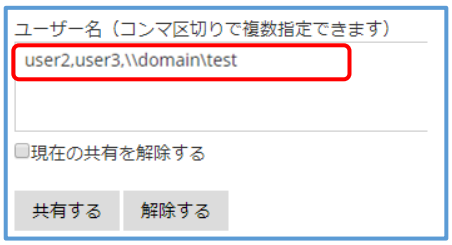
画面に対象端末の一覧が表示されていることを確認します。

端末が表示されていない場合は画面を閉じて、再度手順(3)の検索を行います。

(5) 共有したい端末の横にあるチェックボックスを ON にします。

(6) [ユーザー名] 欄に、端末を共有(接続を許可)するユーザー名を入力します。

複数のユーザーを一斉に登録する場合は「コンマ(,)」区切りで入力してください。

同一ドメイン内のユーザー「user2 と user3」と、ドメイン「domain」に所属するユーザー「test」に紐付けを行う場合	ドメイン「default」とドメイン「domain」に所属するすべてのユーザーに紐付けを行う場合
	

(7) [共有する] を選択すると、グルーピングを開始します。

コンピューターの状態が「アップデート中...」となります。

(8) コンピューターの状態が [完了] となり「共有が更新されました」と表示されたら完了です。

(9) グルーピングが正常に実行されたことを確認します。

一斉グルーピングの実行画面を閉じ、オンラインページにログインします。

検索を行い、グルーピングを実行した端末が画面に表示されることを確認します。

11.1.5 グルーピングの解除

グルーピングを解除するには各端末の「共有する」欄に表示されている共有ユーザーの [×] を選択するか、[複数の PC を一斉にグルーピングする]の手順にしたがってグルーピングを解除する端末を選択後、ユーザー名を入力して [解除する] を選択してください。

※ユーザー名は「\\domain\ユーザー名」の形式で入力します

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

≪注意≫

[現在の共有を解除する]にチェックを入れてグルーピングを実行した場合、選択した端末に紐付けられたユーザーすべてが削除されますのでご注意ください。

11.1.6 グループのアクション

グループ名の編集や、グループ内のコンピューターの共有を行います。

編集する	グループ名:グループ名を変更します 共有しているユーザー: グループ内の PC を共有(接続を許可)するユーザーを指定します。
共有する	グループ内に所属しているすべての PC について、他のユーザーと共有(グルーピング)します
削除	グループを削除します ※グループ内に PC が 1 台でも存在していると、グループを削除できません グループ内を空に(所属している PC を別グループに移動あるいは削除)する必要があります

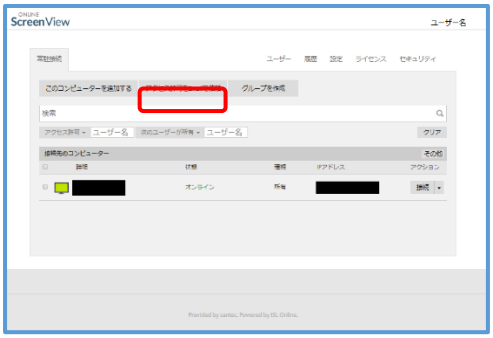
11.1.7 アクセス許可を Email で依頼する

接続先に Email を送信して、常駐接続のクライアントとして登録する許可を求めます。

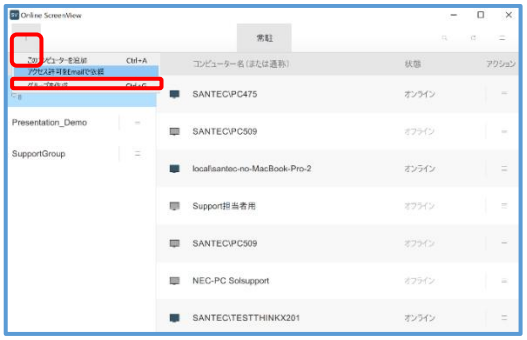
操作する側の PC で規定のメールソフトが設定されている必要があります。

(1) [アクセス許可を Email で依頼する]を選択します。

▼オンラインページ



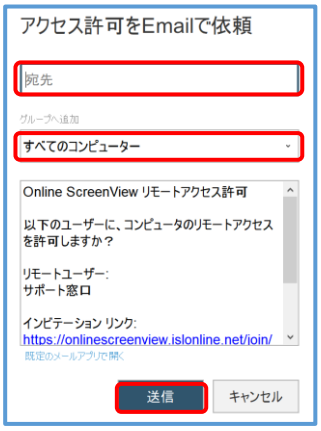
▼PC アプリケーションコンソール



(2) Email を入力し、PC アプリでは必要に応じてグループを選択後、[送信する]を選択します

▼オンラインページ

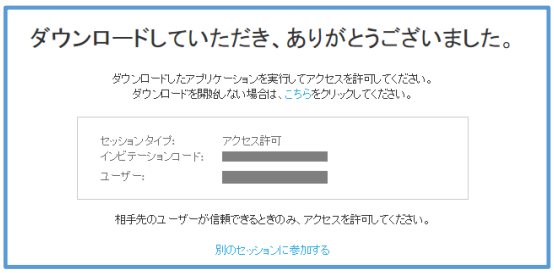
▼PC アプリケーションコンソール



(3) Email を受信した側でメール内の URL(インビテーションリンク)を選択します。

(4) ブラウザが起動し、Online ScreenAssist インストーラーのダウンロードを開始します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



(5) インストーラーを起動すると常駐接続のクライアントとして登録されます。

11. 2アクションメニュー

アクションメニューについて

オンラインページと PC アプリケーションコンソールでは一部の機能差があります。

機能	機能内容	オンラインページ	PC コンソール
接続	リモートコンピューターに接続を行います。 アクセスパスワード入力後にリモートコンピューターの操作が開始できます。	○	○
接続（以前のバージョン）	「Online ScreenAssist Desk」による接続が開始されます。	○	-
代替え接続	Windows の Remote Desktop 接続を利用してリモートコンピューターに接続できます。	-	○
Online ScreenAssist Agent アップグレード	リモートコンピューターにインストールされている Online ScreenAssist Agent をアップグレードします。	○	○
WOL 送信	電源が OFF 状態のリモートコンピューターに電源を投入します。 この機能を使うためには、事前にパソコンの設定、起動状態の Online ScreenAssist Agent がインストールされているパソコンがネットワーク上に認識されている必要があります。	○	○
編集	コンピューター情報の編集を行います。	○	○
共有	グループおよびグループ内にある端末を他のユーザーへ共有します。	○	○
パスワードを変更	アクセスパスワードの変更ができます。	○	○
シャットダウン	リモートコンピューターの電源シャットダウンまたは再起動ができます。	○	○
グループへ移動	指定したリモートコンピューターをグループへ移動します。	○	○
ショートカットを作成	常駐接続先へのショートカットを作成します。 注意：Linux ではご利用できません。	–	○
履歴	ログインしているユーザーが該当端末へ接続した履歴のみ確認できます。 端末を共有しているユーザーの接続履歴は含まれません。	–	○
システム情報	リモートコンピューターのシステム情報を取得します。	–	○
オプション	接続するオプションを設定します。	○	○
削除	選択したコンピューターをリモートコンピューターの一覧から削除します。 パソコンの入替で古いパソコンを廃棄する場合はこの操作を行って下さい	○	○

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

11.2.1 接続 win mac

リモートコンピューターに接続を行います。選択すると接続用プログラムのダウンロードを開始します。

PC アプリケーションコンソールではプログラムはダウンロードされません。

11.2.2 編集 win mac

コンピューター情報の編集を行います。

・コンピューター名：(ドメイン¥コンピューター名)が表示されます

・詳細：オンラインページ上に表示するコンピューター名を変更します

・タグ：検索用のタグを付与します

・共有しているユーザー(グルーピング機能)：

グルーピング機能を使い、共有(接続を許可)されているユーザー名が表示されます。

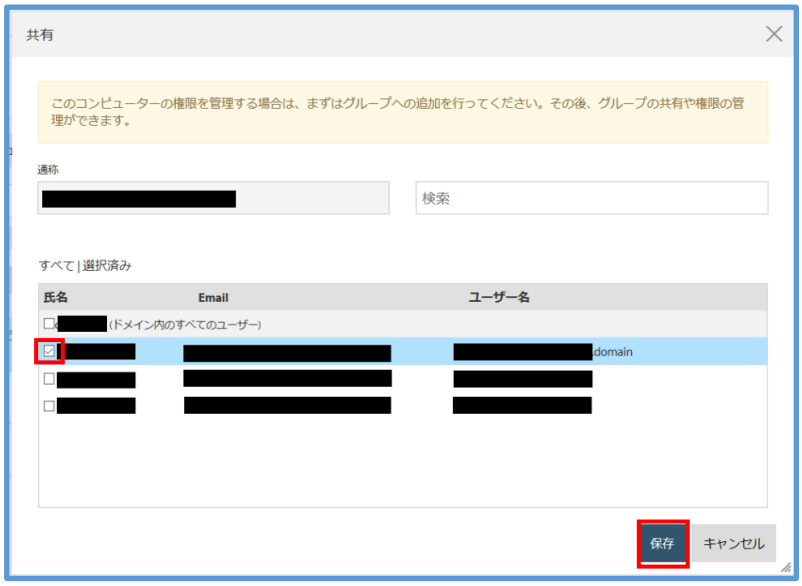
11.2.3 共有 win mac

グループおよびグループ内にある端末を他のユーザーへ共有します。

・[アクションメニュー]から [共有]を選択します。

・登録済のユーザーが表示されます。

・端末を共有したいユーザーを選択して、[保存]を選択し終了します。



11.2.4 接続(以前のバージョン) win mac

リモートコンピューターに接続を行います。選択すると接続用プログラムのダウンロードを開始します。

「Online ScreenAssist Desk」が起動します。

リモートコンピューターに接続を行います。選択すると接続用プログラムのダウンロードを開始します。

「Online ScreenAssist Desk」が起動します。

11.2.5 WOL 送信 win mac

ネットワーク経由で、リモートコンピューターを起動(Mac の場合はスリープモードを解除)できます。

[WOL 送信]を選択すると、実行されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

※リモートコンピューターがオフラインのときのみ表示されるメニューです。

■Windows の場合

各端末の電源やマザーボード、OS が ACPI 機能に対応しているほか、ネットワークアダプタがマジックパケットを解釈できる場合に有効です。また、事前に BIOS 画面で各種設定を行う必要があります。

（詳しい設定方法は弊社サポート窓口までお問い合わせください。）

■Mac の場合

システム環境設定で、電源アダプタの[ネットワークアクセスによるスリープ解除]にチェックが入れる必要があります。

※Mac 端末に接続してファイルを転送中、Mac 端末がスリープモードに入り一度セッションが切断された場合は、WOL 送信を実行してセッションを再開し、中断していたファイル転送を再開できます。

11.2.6 パスワード変更

アクセスパスワードの変更ができます。

・「変更」欄で、[個別パスワード]か[メインパスワード]を選択します。

※初期設定でご利用中の場合は[メインパスワード]を選択してください。

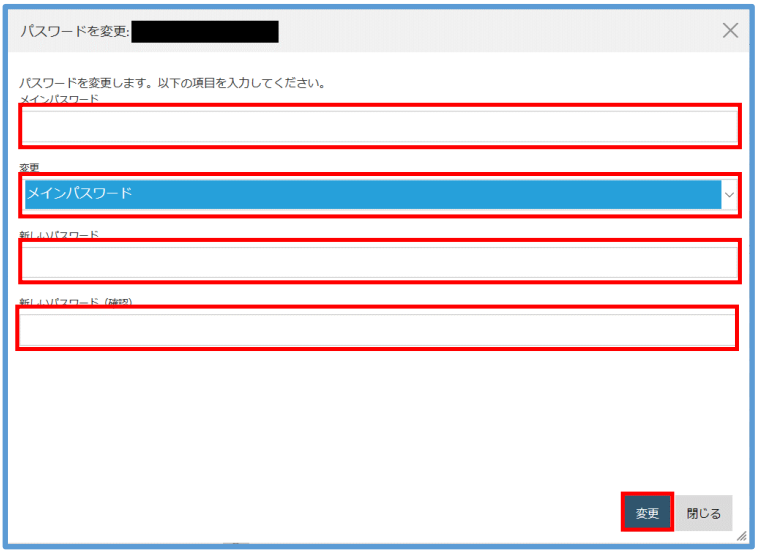
※パスワードの種類については[アクセスパスワード]をご参照ください

・ [メインパスワード]欄に、現在使用しているメインパスワードを入力します。

※「個別パスワード」を変更する場合もメインパスワードの入力が必要です。

・ [新しいパスワード（新規パスワード）]および[(再入力)]の欄に、新しいパスワードを入力しま

・ [変更]を選択すると、パスワードの変更を開始します。完了するとメッセージが表示されます。（メインパスワードを変更した場合は「メインパスワードが変更されました。」、個別パスワードを変更した場合は「個別パスワードが変更されました。」のメッセージが表示されます。）



11.2.7 共有ファイル win mac

共有ファイルにアクセスします。

11.2.8 履歴 win mac

コンピューターに接続した履歴を表示します。履歴を表示する期間を指定できます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

11.2.9 システム情報 win mac

実行すると、端末のシステム情報を取得して情報を表示します。

11.2.10EXE 実行 win mac

指定したファイルを実行できます。

≪注意≫ EXE ファイルは、半角スペースのないファイル名に変更してください。

EXE 実行を行うには、あらかじめクライアント端末の以下の場所に「trusted」という名前のフォルダーを作成し、その中に実行する exe を保存しておく必要があります。

■32bit OS の場合

C:¥Program Files¥OnlineScreenAssist¥OnlineScreenAssist Agent

■64bit OS の場合

C:¥Program Files (x86)¥OnlineScreenAssist¥OnlineScreenAssist Agent

EXE ファイルは、クライアント端末にログオンしているユーザーアカウントではなく、「システムアカウント」で実行されます。

・実行先の端末のアクセスパスワードを入力します。

・「引数」欄に実行する exe の名前を入力し、[EXE 実行]を選択します。

・完了すると、メッセージ「Command ok」が表示されます。 [閉じる]を選択して終了します。([EXE 実行]を選択すると、再度 EXE 実行を行います)

※実行が完了すると、「Command ok」のメッセージが表示されます。

11.2.11シャットダウン win mac

端末の電源管理(シャットダウンまたは再起動)ができます。

・[アクション選択]からシャットダウン(または再起動)を選択します。

・「アクセスパスワード」欄にメインパスワードを入力して、[実行する]を選択します。

・端末のシャットダウン(または再起動)が行われます。

11.2.12Online ScreenAssist アップグレード

端末の Online ScreenAssist のアップグレードが行えます。

※端末側の自動アップグレードの設定が有効で、オンライン状態のときのみ実行できます。

※Online ScreenAssist アップグレードを実行しても、画面は切り替わりません。

※画面上部に「Online ScreenAssist アップグレードが実行されました」と表示されます。

11.2.13グループに移動する

指定したコンピューターを指定したグループへ移動します。

11.2.14削除

選択したコンピューターをリモートコンピューターの一覧から削除します。

≪補足≫複数の端末を対象にしたアクションの実行について

複数の(オンライン状態の)端末にアクションを実行する場合は、対象端末のチェックボックスをオンにして、リスト上部の[その他]からアクションを選択します。

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

12. PC アプリケーションコンソールの機能

12.1代替接続を利用する

代替接続では、OnlineScreenAssist Agent がインストールされている端末へ PC アプリケーション上から RDP 接続、SSH 接続によるセッションを実行できます。また、ネットワークプリンターへの接続も可能です。

本機能を利用するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

・接続される端末の OS 設定で RDP 接続（SSH 接続）の受信が許可されていること

・Windows OS のエディションが Pro 以上で事前にパスワード、リモート接続が許可されていること

PuTTy win	Windows で SSH 接続を行う場合に使用します。 設定変更を行うことで、既にインストール済みの SSH 接続用クライアントを使用することもできます
Microsoft Remote Desktop mac	macOS Caralina 以前で RDP 接続を行う場合に使用します。 App Store から OS に適したバージョンをインストール後、ISL Light 設定を変更します。
Parallels Client mac	macOS Big Sur 以降で RDP 接続を行う場合に使用します。 App Store から OS に適したバージョンをインストール後、ISL Light 設定を変更します。

（補足）

以下の条件では、セッション中に代替接続はご利用になれません。

・接続オプション[Client を利用する]、[メインウィンドウを非表示にする]を有効にして Windows に常駐接続を行った場合

・クライアントが Online ScreenAssist（Windows 版）でセッションに参加した場合

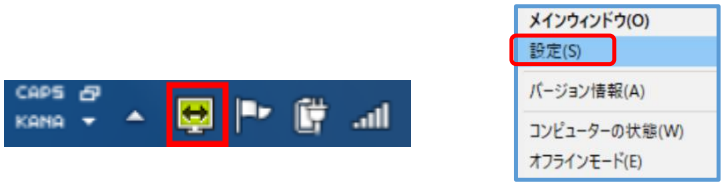
・代替接続開始後にセッション再接続が必要な動作（再起動やログオフ）が発生する場合

（例）ログオン状態の端末に対して RDP 接続（[rdp://localhost:3389]）を実行した場合

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■OnlineScreenAssist Agent インストール端末の設定

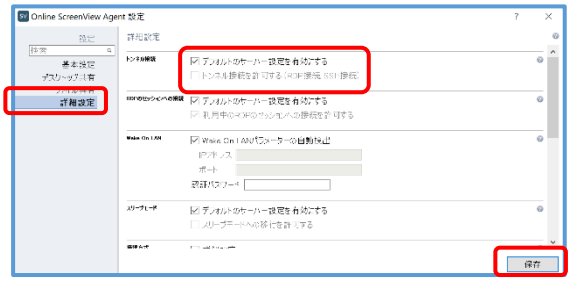
(1) システムトレイのアイコンから[設定]を選択し、[詳細選択]を開きます。



(2) 「デフォルトのサーバー設定を有効にする」のチェックをはずし、「トンネル接続を許可する（RDP 接続、SSH 接続）」にチェックを入れ、[保存]を選択します。

(3) システムトレイのアイコンから[設定]を選択し、[詳細選択]を開きます。

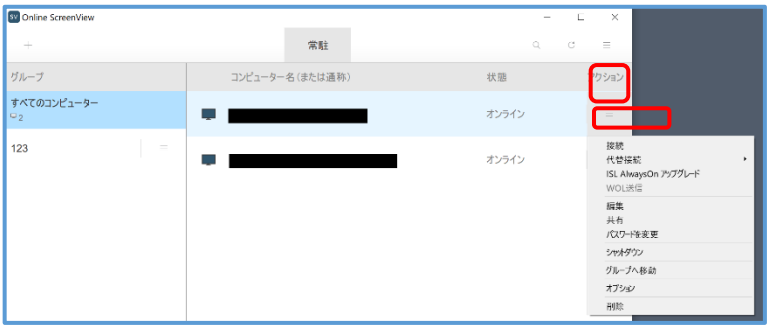
(4) 「デフォルトのサーバー設定を有効にする」のチェックをはずし、「トンネル接続を許可する（RDP 接続、SSH 接続）」にチェックを入れ、[保存]を選択します。

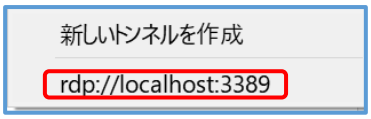


2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

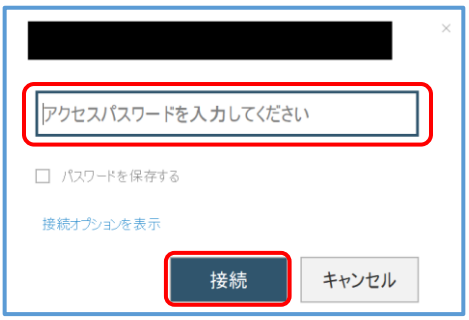
■常駐接続先端末へ代替接続（RDP 接続）を行う

(1) 接続を行う端末のアクションから[代替接続]-[rdp://localhost:3389]を選択します。

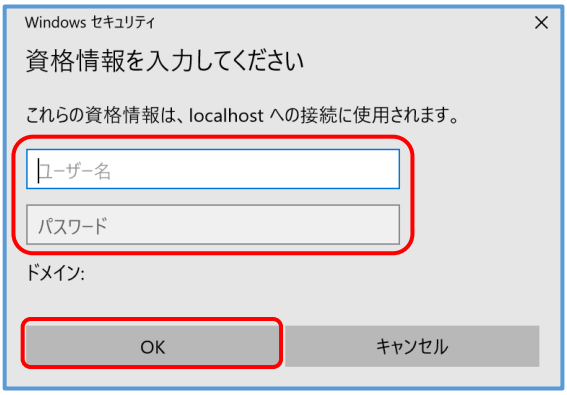


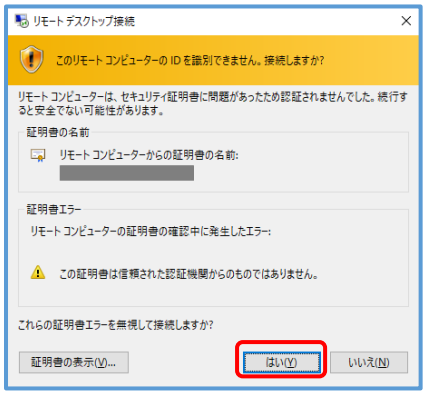


(2) アクセスパスワードを入力し、「接続」を選択します。

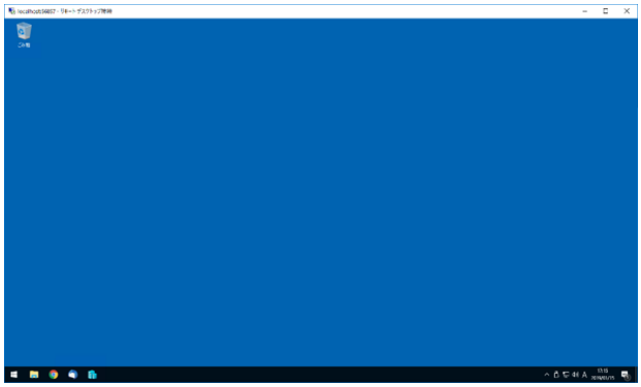


(3) リモートデスクトップ接続の資格情報入力画面が表示されます。Windows ログオン情報を入力し「OK」を選択します。証明書エラーが表示された場合は、[はい]を選択します





(4) 接続先へ RDP 接続のセッションが実行されます

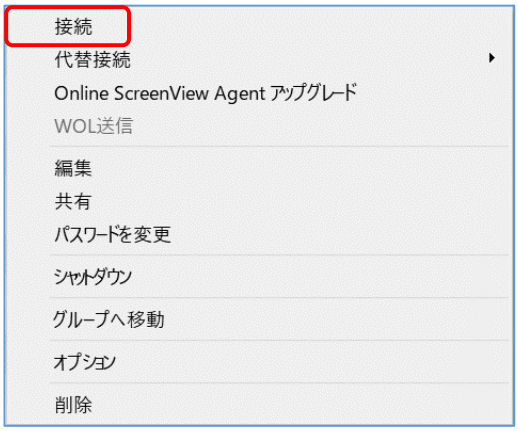


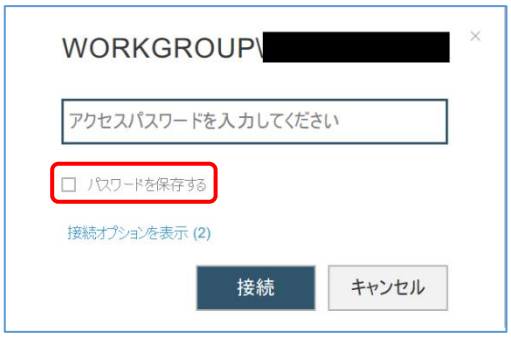
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

12. 2アクセスパスワードを保存する

アクセスパスワードを保存すると次回からの接続でアクセスパスワードの入力を省略できます。

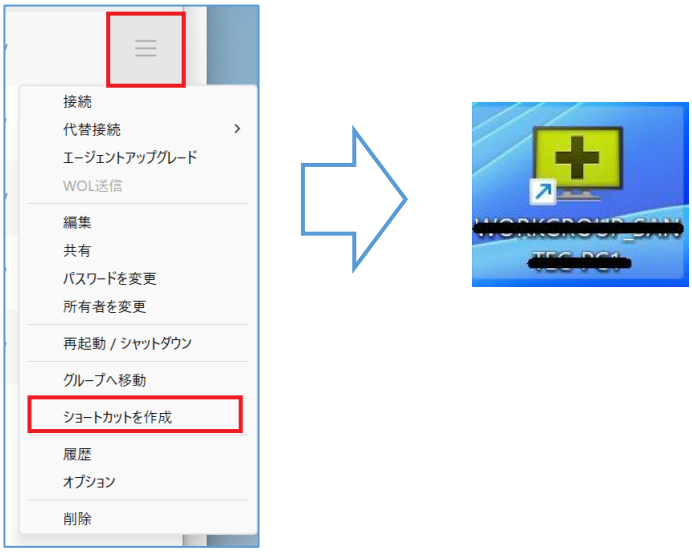
[アクション]メニューから[接続]を選択します。
アクセスパスワード入力画面で[パスワードを保存する]にチェック、アクセスパスワード入力し、接続を開始します。
次回の接続からアクセスパスワードの入力が省略されます。





12. 3ショートカットを作成

「PC アプリケーションコンソール」のアクションからショートカットアイコンの作成ができます。



・「常駐接続」画面の該当の接続先端末のアクションから[ショートカットを作成]を選択します。
・PC のデスクトップ上にショートカットアイコンが作成されます。
・ショートカットアイコンをクリックすると接続先端末のリモート操作が開始されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

13. Online ScreenAssist Agent の機能

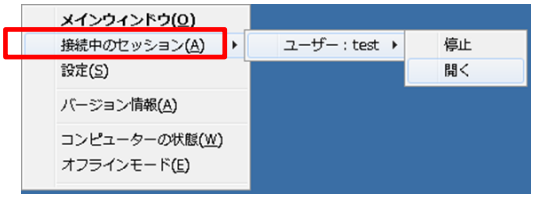
13. 1タスクトレイ（システムトレイ）

タスクトレイのアイコンから、Online ScreenAssist に関する各項目が選択できます。
※タスクトレイのアイコンは、Windows リモートデスクトップ接続によるログオン（サインイン）を行った場合は表示されません。アイコンが表示されない状態でも、プログラムの動作には問題ございません。

■ Windows の場合

■ Mac の場合

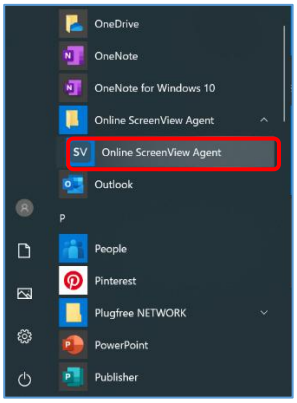
接続オプション[Client を利用する]を利用しない接続では、接続中に「接続中のセッション」が選択可能です。ここではコンピューターに接続中のオペレーターを確認できるほか、セッションを終了することもできます。

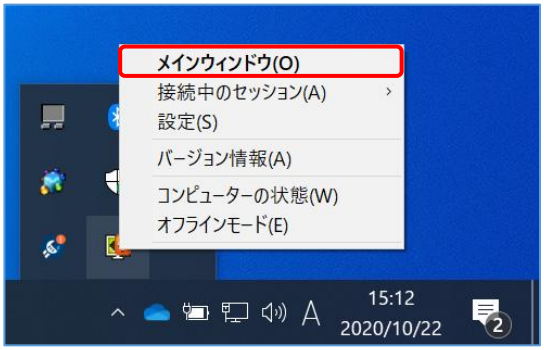


13. 2メインウィンドウ

メインウィンドウでは、コンピューターの状態やアクセス履歴などの基本情報が確認できます。
Agent をインストールした、コンピューターで操作します。

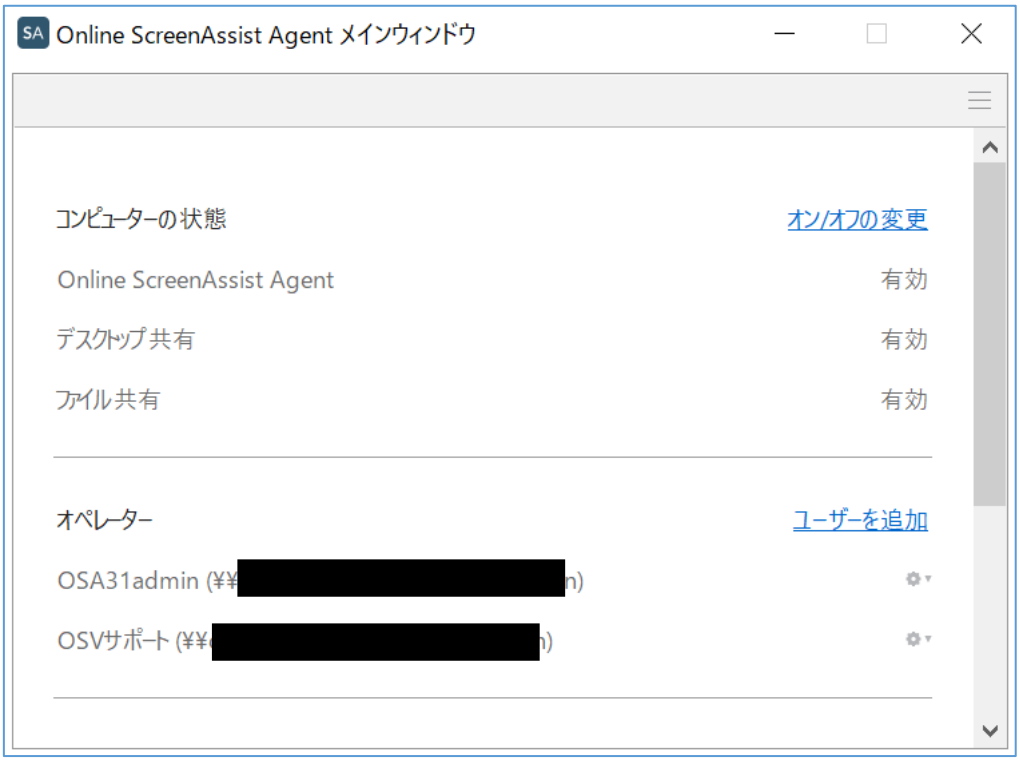
(1) タスクトレイのアイコンまたはスタート画面から[Online ScreenAssist]を選択して、メインウィ ンドウを表示します。





2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(2)「コンピューターの状態」などが確認できます。



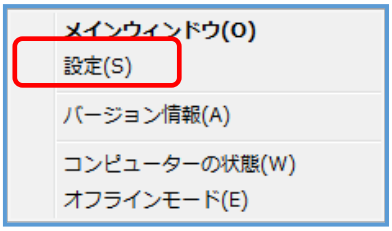
13. 3Online ScreenAssist Agent の設定

設定ウィンドウでは、Online ScreenAssist Agent の詳細な設定ができます。

■設定ウィンドウの表示:

システムトレイの Online ScreenAssist Agent アイコンを選択し、[設定]を選択します。

▼Windows の場合　　▼Mac の場合



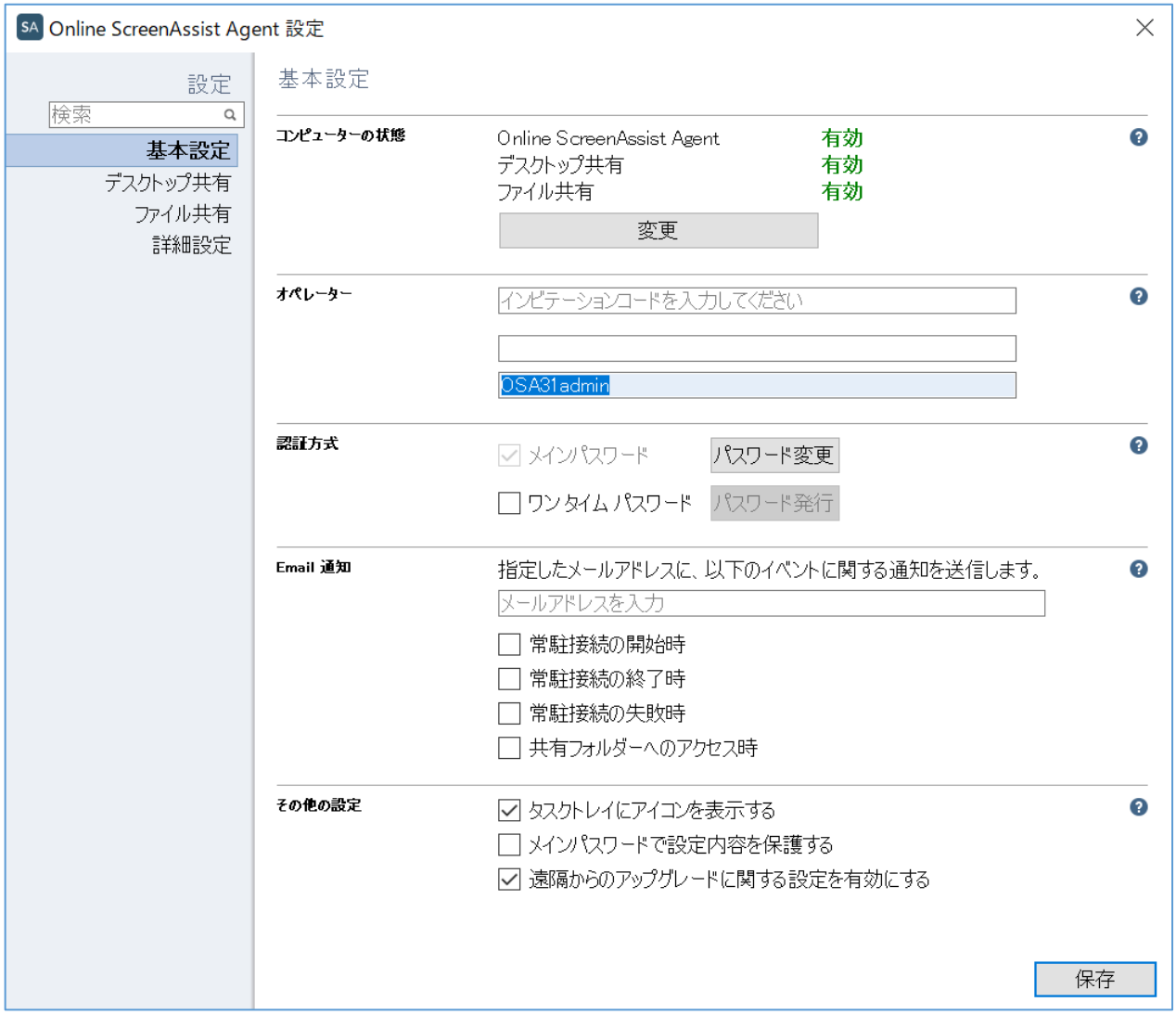
Online ScreenAssist Agent をインストールしている端末で行うクライアント側の設定は、すべてのオペレーターに対して適用されます。

オペレーターごとに異なる設定を適用する場合は、[基本設定]-[オペレーター]-[変更]から個別に設定を行います。

いくつかの設定はサーバー側で初期値が定義されています。クライアント端末側で個別の設定を定義する場合は、[デフォルトのサーバー設定を有効にする]のチェックを外して設定の変更を行います。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

13.3.1 基本設定



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

コンピューターの状態	
Online ScreenAssist Agent	無効の場合、Online ScreenAssist に関するすべての機能が利用できなくなります。
デスクトップ共有	無効の場合、常駐接続によるオペレーターからのアクセスを拒否します。アクションによるシステム情報の取得もできません。
ファイル共有	無効の場合、ファイル共有で設定している共有フォルダーへのアクセスを拒否します。
認証方式	
メインパスワード	Online ScreenAssist のインストール時に設定したパスワードです。端末へのアクセスだけでなく、オンラインページ上からアクションを実行する際にも使用します。
個別パスワード	通常の基本設定画面には表示されません。
ワンタイムパスワード	1 度のみ使用可能なパスワードの入力を要求します。
オペレーター	
変更	オペレーターごとに異なる設定を割り当てることができます。個別パスワードの設定もこちらから行います。
削除	登録済みのオペレーターを削除します。
Email 通知	
常駐接続の開始時	端末への常駐接続が開始された際に通知を送信します。
常駐接続の終了時	端末への常駐接続が終了された際に通知を送信します。
常駐接続の失敗時	端末への常駐接続を検知し、接続が正常に行われなかった際に通知を送信します（フィルタリング等）。
共有フォルダーへのアクセス時	ファイル共有に設定した共有フォルダーにアクセスされた際に通知を送信します。
その他の設定	
タスクトレイにアイコンを表示する	タスクトレイに Online ScreenAssist のアイコンを表示します。
メインパスワードで設定内容を保護する	Online ScreenAssist の設定画面を開く際にメインパスワードの 入力を要求します。
自動アップグレードを有効にする	オンラインページでの操作で、Online ScreenAssist のアップグレードが可能になります。

■個別パスワードについて

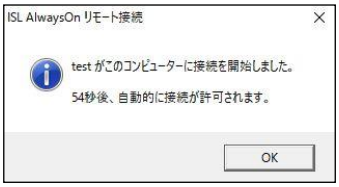
メインパスワードとは異なるパスワードでオペレーターが常駐接続を行う際に使用します。

個別パスワードはオペレーターごとに設定を行うため、Online ScreenAssist Agent の[設定]-[基本設定]には表示されません。

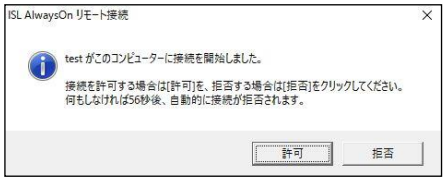
個別パスワードは、オンラインページ、PC コンソール上でも設定および変更が可能です。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

13.3.2 デスクトップ共有

接続オプション	
(コマンド実行時限定)アクセスパスワードなしで接続する	コマンドを実行して起動した Online ScreenAssist からの接続時、接続を開始する前にクライアント端末上に確認メッセージを表示します。クライアント側でアクセスを許可すると、オペレーター側はアクセスパスワードの入力をせずに接続を開始できます。
この端末に接続できるコンピューターの最大数	Online ScreenAssist から同時接続できるセッション数を制限する際に指定します。指定した数を超えて接続しようとすると、接続元にメッセージが表示され、接続できません。
接続前に確認を行う	オペレーターが端末への接続を開始する際に確認メッセージを表示します。[確認時間]に設定した時間(上限 120 秒)の経過後、または[OK]の選択後に接続を開始します。 

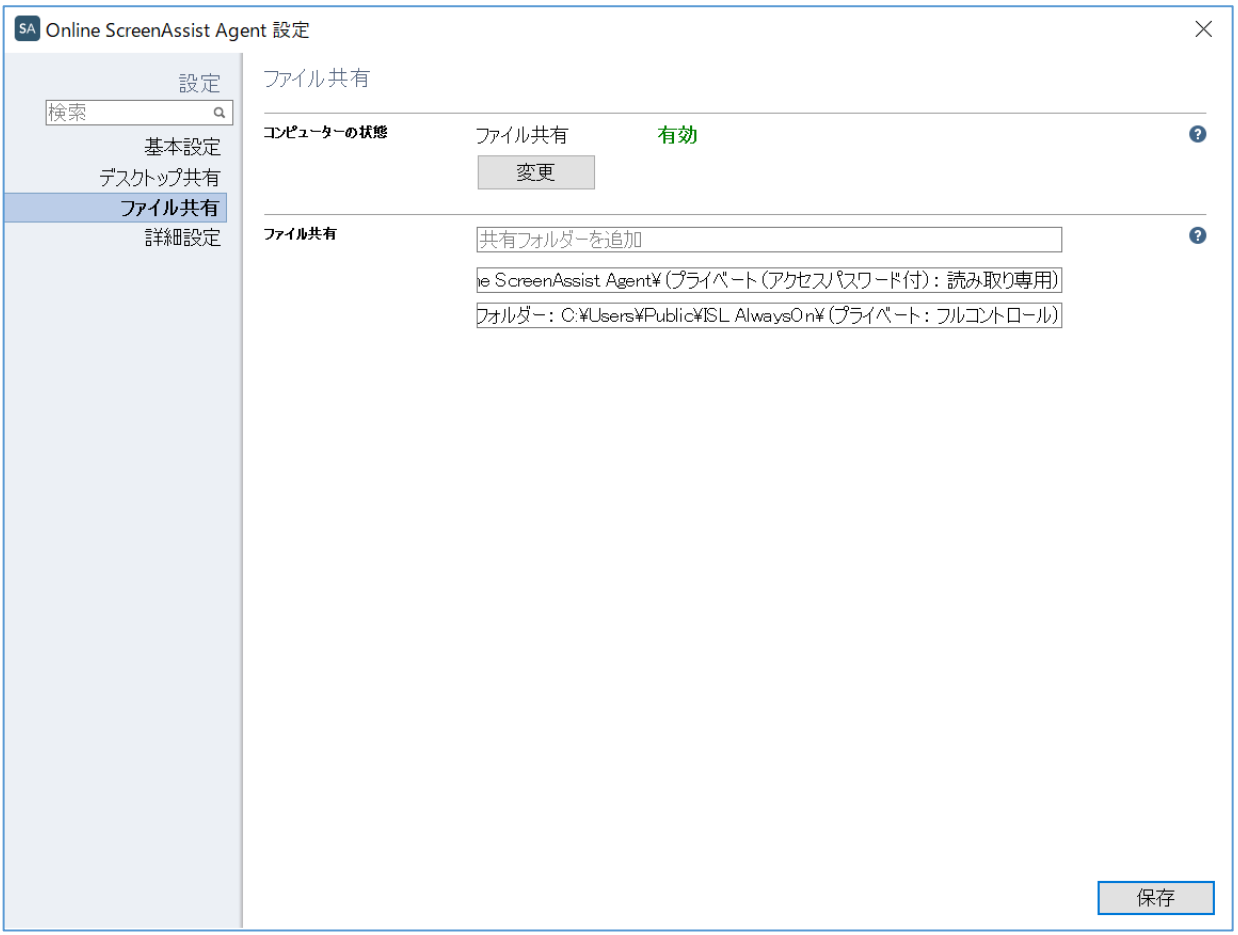
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

接続拒否を有効にする	「接続前に確認を行う」で 設定した確認時間内に、接続の許可/拒否を手動で選択できるようになります。 許可を選択した場合はただちに接続を開始し、拒否を選択した場合は接続を拒否した旨をオペレーターに表示します。確認時間内に何 もしない場合の動作は[初期設定]にて変更できます(初期値:許 可)。 
ローカルユーザーがログインしていない場合、確認メッセージの表示をスキップする win	「接続前に確認を行う」が有効でも、接続先の端末にユーザーがログインしていない場合、確認メッセージの表示をスキップし、接続します。
セッション開始時にコンピューターをロックする	接続の開始時にコンピューターをロックすることで、OS のユーザー情報を知らないユーザーからの不正な操作を防止します。
ネットワークが切断された際にコンピューターをロックする	常駐接続中ネットワーク障害等によってサーバーとの通信が切断 された際に自動でコンピューターをロックします。ネットワーク回 復後は端末に再接続されます。
セッション終了時にコンピューターをロックする	常駐接続の終了時に自動でコンピューターをロックします。セッション終了前に端末のロックを忘れてしまった場合にも、他のユーザーから操作されるのを防ぐことができます。
セッション開始時にブラックスクリーンを有効にする win	接続の開始時にデスクトップ画面を黒く表示して、周りから操作内 容が見えないようにします。Online ScreenAssist をインストールしている端末の OS が Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降の場合は、 [詳細設定]-[Client を利用する](次に説明)も併せて有効にしてください。
[ESC]キー押下時にブラックスクリーンを解除するまで(秒) win	接続される端末側で[ESC]キーを押下した際にブラックスクリーンを解除するまでの時間を変更できます(※ブラックスクリーンが停止されるまでの秒数はオペレーター側に表示されます)。 初期値:10 設定可能範囲:10～180
詳細設定	
Client を利用する	オペレーター側の接続オプション[Client を利用する]に関係なく、 強制的に Online ScreenAssist Client を使用して常駐接続を行います(初期 値:無効)。
レコーディング	
セッションレコーディ ングを有効にする	端末に対する常駐接続の操作を記録し、指定の保存先へレコーディングファイルを自動的に保存します。 録画したファイルは「.isr」拡張子のついたファイル名で保存され、 専用プログラム「ISL Player」で再生できます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

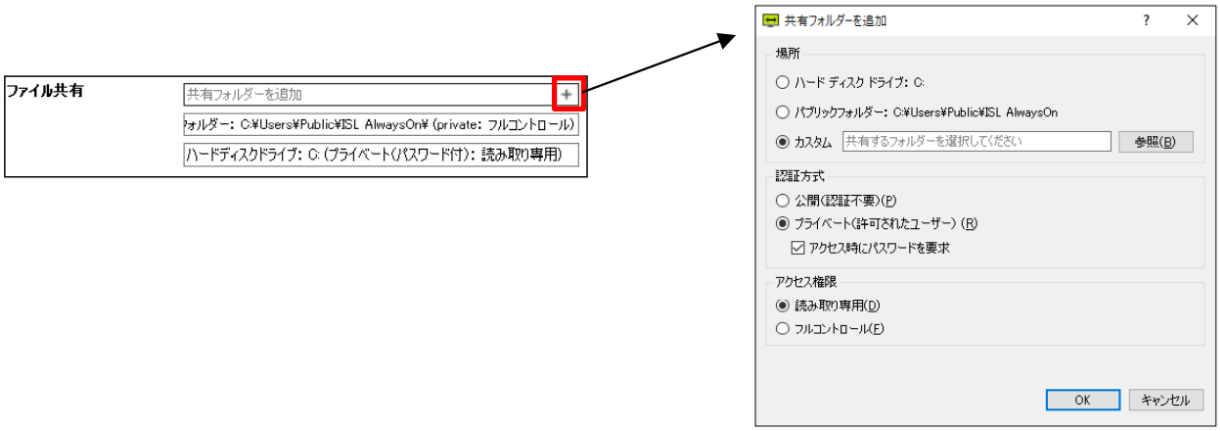
13.3.3 ファイル共有 win

オペレーターがアクセス可能な共有フォルダーを設定することで、常駐接続を行うことなくファイルの交換ができるようになります。 ※共有フォルダーへのアクセスは、端末がオンライン状態の場合のみ可能です。



■共有フォルダーを追加

共有フォルダーを追加するには［ファイル共有］欄の右上に表示される［＋］を選択し、共有するフォルダーのパスおよび権限を設定します。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

場所	
ハードディスクドライブ	全てのドライブを共有します。
パブリックフォルダー	インストール時の初期設定として指定されている Online ScreenAssist フォルダーを共有します。Online ScreenAssist フォルダーは、OS ごとに格納されている場所が異なります。 ■Windows 10、11 の場合 C:¥Users¥Public¥ISL AlwaysOn ■macOS の場合 /User/Shared/ISLAlwaysOn/ ※4.4.2116.69 以降、新規インストールした端末にはパブリックフォルダーの設定は自動で追加されなくなりました。 ■Linux の場合 パブリックフォルダーは自動で作成されません。
カスタム	[参照] から任意のフォルダーを選択して共有します。
認証方式	
公開(認証不要)	共有フォルダーへのアクセスに制限はありません。
プライベート(許可されたユーザー)	ご利用のブラウザ上で Online ScreenAssist アカウントにログインしていない場合、フォルダーへのアクセス時にログインを要求されます。 [アクセス時にパスワードを要求]にチェックを入れると、さらにアクセスパスワードの入力が必要になります。
アクセス権限	
読み取り専用	ZIP ダウンロードのみ可能になります。
フルコントロール	ZIP ダウンロードのほか、ファイル(フォルダー)の削除、アップ ロード、新規フォルダーの作成ができます。

■共有フォルダーへのアクセス

(1) [常駐接続]を選択します。

(2) [アクション]-[共有ファイル] を選択して、ファイルの一覧を表示します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(3) [共有先のパス]から参照する共有フォルダーを選択します。

選択したフォルダーの認証方式に[アクセス時にパスワードを要求]が設定されている場合は、アクセスパスワードの入力を求められます。

(4) 共有フォルダー内のファイル一覧が表示されます。

(5) ファイルが以下の条件を満たしている場合は、右の虫眼鏡マークにマウスカーソルを合わせることでファイルの内容を参照できます。

① 320KB 未満のテキストファイル（txt, out, html, htm, cs, css, vb, ini, reg）

② 32KB 未満のイメージファイル（png, jpg, jpeg, gif）

※ テキストファイルは、半角文字のみ参照できます。全角文字は文字化けして表示されます。

■オンラインページ上のアクション

共有フォルダー内のファイルおよびサブフォルダーに対して以下のアクションが実行できます。

サブフォルダーに対してアクションを実行する場合は、右側の[アクション]から各操作を選択します。

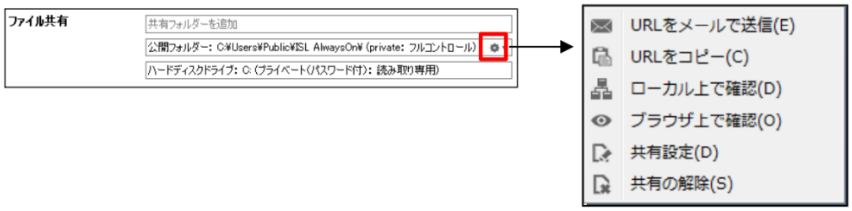
オンラインページ上のアクション※1	
ファイルを削除※2	確認メッセージの表示後にチェックボックスで選択したファイルを削除します。
ZIP ダウンロード	選択したファイルをまとめて ZIP 形式でダウンロードできます。
アップロード	[アップロード]を選択し、表示されるウィンドウでファイルを選択して[実行]を選択すると、ファイルを共有フォルダー内にアップロードできます。 サブフォルダー内には、サブフォルダー右側の [▼] からアップロードできます。
新規フォルダーの作成	共有フォルダー内に新規フォルダーを作成します。
ZIP に Unicode を使用	Unicode を保持したまま、ZIP 形式に圧縮します。（Windows 標準の解凍ツールを使用する場合など、一部の環境でフォルダー名やファイル名の文字化けが発生することがあります）

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

※1 [アクセス権限]が読み取り専用の場合は、[ZIP ダウンロード]のみ実行できます。

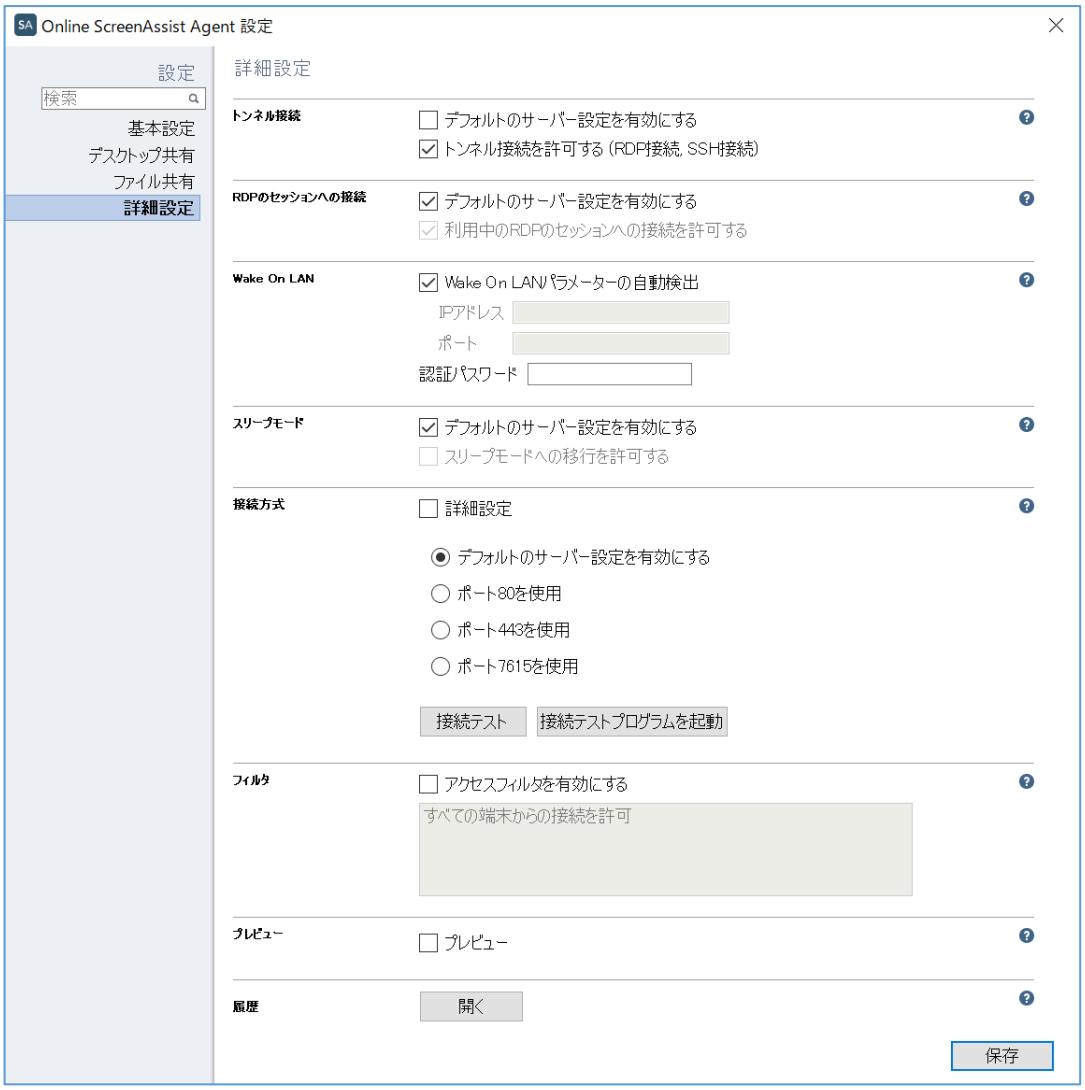
※2 サブフォルダーのアクション [フォルダーの削除]は、フォルダー内にファイルがない場合のみ実行できます。

■その他のアクション

右クリックによるアクション	
パブリックフォルダーへのコピー win	任意のファイル（フォルダー）上で[右クリック]-[送る]-[Online ScreenAssist public Folder]を選択すると、対象を「Online ScreenAssist」フォルダー内にコピーできます。
共有フォルダーへの追加 win	任意のファイル（フォルダー）上で[右クリック]-[このフォルダーを Online ScreenAssist で共有]を選択すると、対象フォルダーをパスに設定済みの追加ウィンドウが立ち上がります。
クライアント上でのアクション	
共有フォルダーにマウスポインターを重ねて表示される歯車マークより、共有フォルダーに対するアクションを選択できます（メインウィンドウ上からも選択可能）。 	
URL をメールで送信	共有ファイルにアクセスできる URL をメールで送信します。
URL をコピー	共有ファイルにアクセスできる URL をクリップボードにコピーします。 メモ帳などに張り付けることができます。
ローカル上で確認	共有ファイルをエクスプローラー上で確認できます。
ブラウザ上で確認	共有フォルダーを規定のブラウザで開きます。
共有設定	共有の設定内容を変更します。
共有の解除	共有を解除します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

13.3.4 詳細設定



トンネル接続	
トンネル接続を許可する（RDP 接続, SSH 接続）	Online ScreenAssist 上からこの端末を指定して代替接続のアクションが使用できるようになります。 （初期値：無効）
RDP のセッションへの接続	
利用中の RDP セッションへの接続を許可する win	この端末に対する常駐接続の際に接続オプション[利用中の RDP のセッションへ接続する] （初期値：有効）
Wake On LAN	
Wake On LAN パラメーターの自動検出	Magic Packet の送信先となるブロードキャストアドレスを自動で判別します。アドレス変換を設定したルーターなど、サーバーから特定の宛先に対して送信する場合はチェックを外し、送信先の IP アドレスとポートを入力します。
スリープモード	

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

スリープモードへの移行を許可する win	Online ScreenAssist によるスリープモードへの移行の阻止を停止します。
接続	
詳細設定※1	プロキシサーバー経由でインターネットに接続する場合などに使用します。設定後は[接続テスト]を選択して接続に問題がないことを確認した上で、サービスの再起動（[コントロールパネ ル]-[管理ツール]-[サービス]-[OnlineScreenAssist Agent Service]）を行ってください。
接続テストプログラムを起動	ISL Tester を起動して、接続・転送のテストを行います。テスト結果はログファイルとして出力できます。
フィルタ	
アクセスフィルタを有効にする	IP アドレスまたは MAC アドレスを指定して、オペレーターからのアクセスを制限できます。 詳細は後述の説明をご参照ください。
プレビュー	
プレビュー	プレビュー機能はサポート対象外です。 主にトラブルシューティングの際に使用します。
履歴	
詳細は後述の説明をご参照ください。	

※1 プロキシを使用した環境の場合は、接続方式が[自動検出]（初期値）となっていることを確認した上で、プロキシの設定を入力してください。
また、Mac の場合にご利用になれる接続方式は以下になります。
direct / wsstun-proxy / wsstun-direct / wstun-proxy / httpt-proxy / wstun-direct / httpt-direct / https-direct / https-proxy / https-direct ※ 現在、Mac 版では HTTP PAC の設定はサポート対象外です。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■接続テストプログラムについて

Online ScreenAssist 製品では接続の際、ポート 7615→443→80 の順にアクセスするため、ポート 7615 を使用できない状態では、接続に時間がかかります。

接続テストプログラムである ISL Tester を実行することで、クライアント端末と Online ScreenAssist サーバーとのデータ転送速度を計測し、最適な通信方式を選択することができます。

※ ISL Tester に表示されるデータ転送速度が 1MB/s 以上、応答時間が 500ms 以内であれば、 Online ScreenAssist による通信を快適な状態でご利用になれます。 ISL Tester を使用して適用した設定は、当該端末の以下のレジストリキーをエクスポートすることで配布が可能です。

■64bitOS の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥ISL Online¥AutoTransport

■32bitOS の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥AutoTransport

接続テスト	接続テストを開始します。
転送テスト	転送テストを開始します。
接続オプション	すべての接続方式でテストを実行し、結果を出力します。
UDP テスト	UDP プロトコルを利用した転送テストを実行します。
ログを削除	コンソールに出力された実行ログを削除します。
ログを保存	コンソールの実行ログをファイル(.txt)に保存します。
設定	設定画面を開きます。
バージョン情報	ご利用の ISL Tester のバージョンを確認します。
終了	ISL Tester を終了します。

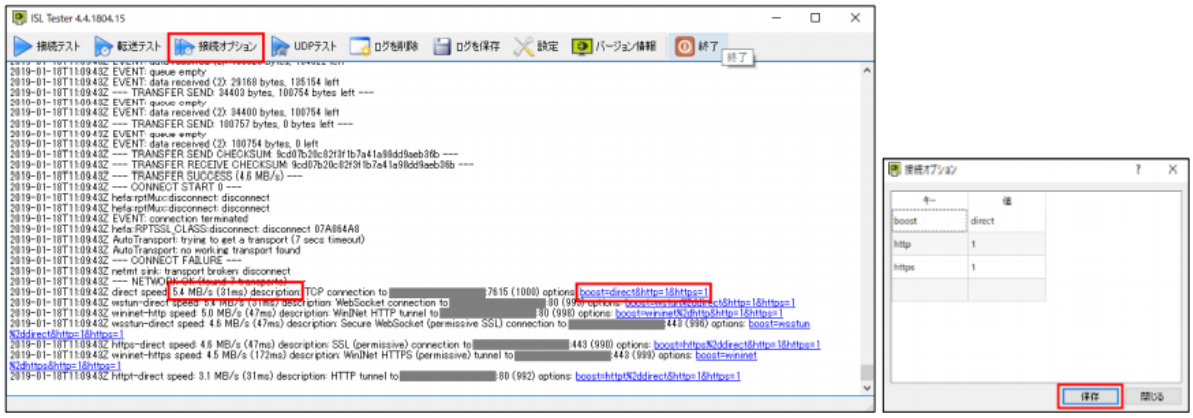
■ISL Tester の実行手順

(1) [接続]-[接続テストプログラムを起動]を選択し、ISL Tester を起動します。

(2) [接続オプション]を選択します(終了まで数分かかる場合があります)。

(3) 画面下部にて"speed"の値が一番大きい結果のリンク「boost=...」(「boost=...」がない場 合は、「force=...」)を選択します。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



(4) [保存]を選択します。

(5) サービスを再起動([コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]から [OnlineScreenAssist Agent Service])します。

■接続・転送ログファイルの取得手順

(1) [接続テスト]を選択して接続テストを開始し、処理が停止するまでしばらく待ちます。

(2) 処理が停止したら[ログを保存する]を選択し、ログファイルを任意の場所に保存します。

(3) [ログを削除する]を選択して実行ログをクリア後、[転送テスト]を選択して転送テストを 開始します。処理が停止したら、ログファイルを任意の場所に保存します。

(4) [ログを削除する]を選択して実行ログをクリア後、[接続オプション]を選択して接続テス トを開始します。処理が停止したら、ログファイルを任意の場所に保存します。

※ [設定]を変更することで、接続・転送の条件を指定してログを取得できます。

■フィルタについて

IP アドレスまたは MAC アドレスを指定して、クライアント端末へのアクセスを制限できます。

(1) [アクセスフィルタを有効にする]のチェックボックスを入れます。

(2) アクセスを許可する場合は"allow"、禁止する場合は"deny"と記述します。

書式:[allow_|deny_][ip|mac|all](; [allow_|deny_][ip|mac|all]...)

例:MAC アドレス [00-12-34-56-78-90] による接続を禁止する場合

deny_mac 00-12-34-56-78-90;allow_all

または

deny_mac 00-12-34-56-78-90 allow_all

※ "deny"と"all"を組み合わせて利用してください。

※ 複数の設定を行う場合は、[;](セミコロン)または改行で追記します。

(3) [保存]を選択します。

■フィルタリングの記述について

フィルタリングの設定は上から下の順に読み取りが行われ、該当するものが1つでもあると以 降の設定は読まない形となります。そのため「XXX_all」を入力すると、それ以降に記載された 内容は無視されてしまうので、最後に記載する必要があります。

例:

allow_ip XXX.CCC.BBB.111

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

allow_ip XXX.CCC.BBB.122

allow_ip XXX.CCC.BBB.103 deny_all

※ IP アドレスは範囲指定での記載が可能です。(XXX.CCC.BBB.111 - XXX.CCC.BBB.122)

※ Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。

■履歴について

端末に対するアクセス(常駐接続)履歴の検索やエクスポートができます。

(1) [履歴]-[開く]を選択します。 ※[メインウィンドウ]-[履歴の検索]からも同じウィンドウを開くことができます。

(2) 「ユーザー」「タイプ」「期間」「検索(任意)」条件を入力して、検索を行います。

(3) 詳細を表示する場合は、[オプション]-[全てのイベントを表示]を選択します。

(4) リスト内の各履歴の左に▸マークが表示されるので、展開します。

(5) 履歴を保存する場合はウィンドウ下にある[エクスポート]を選択、保存先とファイル名を指定して[保存]を選択します。

(6) 履歴が XML ファイルとして保存されます。

※ [クリア]を選択するとメッセージの確認後、すべての履歴を削除できます。
削除後は元に戻せないのでご注意ください。

※ エクスポートファイルの時間には協定世界時(UTC)が適用されます。

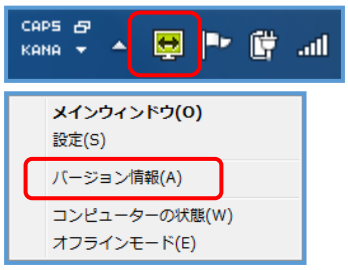
13. 4バージョンアップ情報とアップグレード

Online ScreenAssist のバージョン情報の確認、及びアップグレードができます。

13. 4. 1 バージョン情報の表示

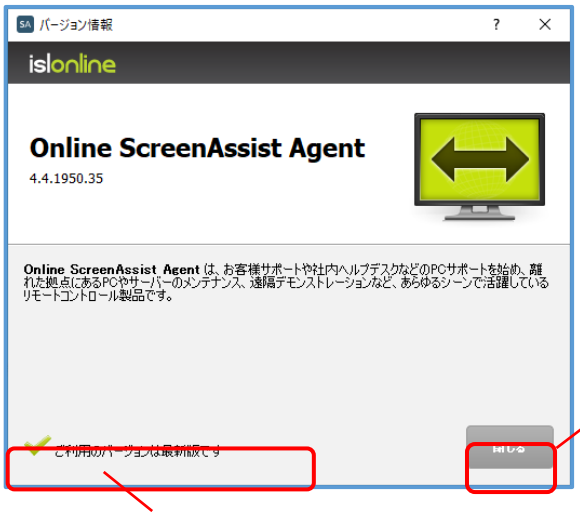
クライアント側でバージョン情報を表示するには、システムトレイの Online ScreenAssist アイコンを選択し、[バージョン情報]を選択します。

▼Windows の場合



▼Mac の場合

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



ウィンドウを閉じます

現在インストールされている Online ScreenAssist のバージョンを自動で確認します

最新のバージョンが見つかった場合は、[アップグレード]が表示されます

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

13.4.2 アップグレード:オンラインページでの一斉アップグレード

オンラインページから一斉にエージェントをアップグレードします。

≪条件≫

・各端末の Online ScreenAssist のバージョンが 2.1.0 以上

・端末の Online ScreenAssist 設定画面内で「自動アップデートを有効にする」にチェックが入っている状態
（デフォルトでは ON）

・端末が「オンライン」表示となっていて、正常に通信が行われる状態であること

≪補足≫:グルーピングで紐つけられたユーザーに関して

グルーピングで紐つけられたユーザーのアカウントでオンラインページにログインした場合も、グルーピングされた端末を含め一斉アップグレードを行うことができます。

(1) オンラインページにログインします。

(2) アップグレードを行う端末がオンライン状態であることを確認します。

(3) アップグレードを行う端末をチェックします。

(4) [一括操作] - [エージェントアップグレード] を選択します。

(5)アップグレードが開始されると、画面上に「Online ScreenAssist アップグレードを開始しました」のメッセージが表示されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

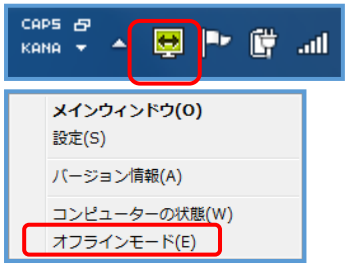
13.5 オフラインモード

Online ScreenAssist をオフラインモードに移行します。オフラインモードに移行すると、リモートアクセスができなくなる他、システムトレイ上も Online ScreenAssist のアイコンが非表示になります。

13.5.1 オフラインモードへの移行

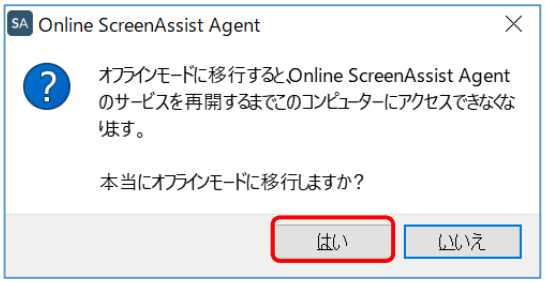
(1) システムトレイの Online ScreenAssist アイコンを選択し、[オフラインモード]を選択します

▼Windows の場合



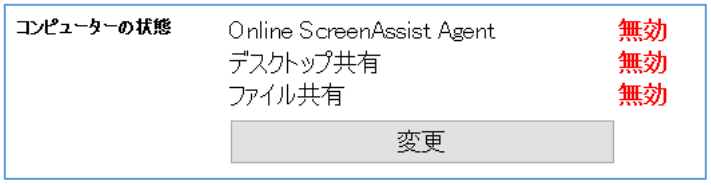
▼Mac の場合

(2)「本当にオフラインモードに移行しますか？」の確認メッセージが表示されます。



[はい]を選択します。

(3) [コンピューターの状態]のオプションが、全て"無効"に切り替わり、Online ScreenAssist がオフラインモードに移行します。[保存する]を選択して設定画面を閉じます。

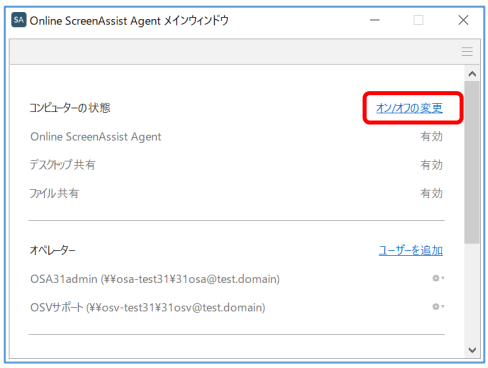


2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

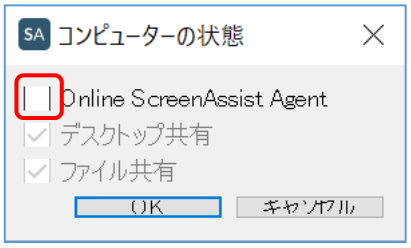
13.5.2 オフラインモードの解除

■Windows の場合

(1) コンピューターの「すべてのプログラム」から「Online ScreenAssist Agent」を選択します。
コンピューターの状態から[オン/オフの変更]を選択します。



(2) [Online ScreenAssist Agent]にチェック、[OK]を選択します。



(3) 設定画面で、[保存]を選択して設定画面を閉じます

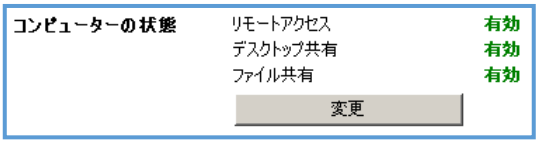
■Mac の場合

(1) Finder の[アプリケーション] – [OnlineScreenAssist] – [ISLAlwayOnSettings.app] を起動して、Online ScreenAssist の設定画面を開きます。

(2) 確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選択します。

(3) 続けて確認のメッセージが表示されたら、[アクセス許可]を選択します。

(4) 「コンピューターの状態」欄の[変更]を選択し、[リモートデスクトップ] [デスクトップ共有](必要に応じて[ファイル共有])のチェックボックスをオンにして[OK]を選択します。



(5) [保存する]を選択して設定画面を閉じます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

14. ワンタイム接続

セッションコードの発行を行い、オペレーターとクライアントとの間で 1 度限りの接続を行います。

14. 1Online ScreenAssist Desk/Client の接続

インストールした、Online ScreenAssist Desk/Client の起動プログラム（オペレーター側、クライアント側）を実行します。

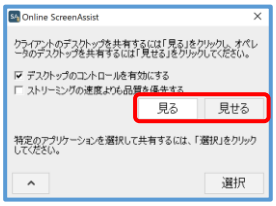
■オペレーター側

(1) PC 上で OnlineScreenAssist Desk を起動します。
(2) OnlineScreenAssist のアカウント
ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン]を選択します。
(3) セッションコード（8 桁）が発行されます。
(4) セッションコードをクライアントに伝えます。

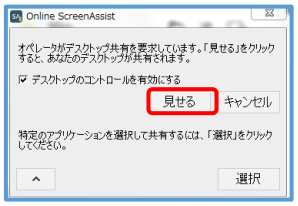
■クライアント側

(1) クライアントの PC 上で OnlineScreenAssist Client を起動します。
ブラウザから利用する場合は、以下の接続ページにアクセスします。
接続ページ URL：https://osa.santec.com
(2) オペレーターから伝えられた 8 桁のセッションコードを入力し、[参加する]を選択すると接続を開始します。
接続が完了すると、両方にメインウィンドウが表示されます。チャットを開始できます。
(3) オペレーター側で[開始]を選択するとオペレーター側・クライアント側それぞれに確認画面※が表示されます。

▼オペレーター側



▼クライアント側

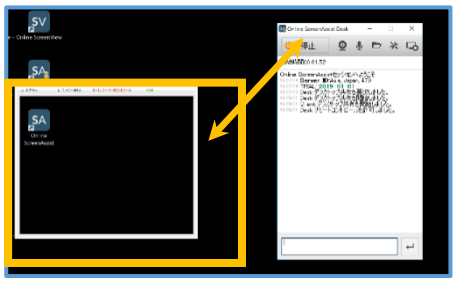


■オプション

オペレーターまたはクライアントの確認画面で[見る]または[見せる]を選択すると、デスクトップの共有を開始します。

デスクトップのコントロールを有効にする	デスクトップの共有開始と同時に、相手先にマウスとキーボードの操作を許可します。
ストリーミングの速度よりも品質を優先する	最高画質でデスクトップ共有を開始します。 （接続の速度よりも画質を優先して接続を行います）
見る/見せる/キャンセル	見る：クライアントの画面を「見る」 見せる：オペレーターの画面を「見せる」 キャンセル：キャンセルしてウィンドウを閉じます
選択	画面共有の範囲を指定します。 ・特定のアプリケーションやモニターを選択して、選択したアプリケーションやモニター画面だけを相手側に「見せる」ことができます。 ・「範囲指定」を選択すると、デスクトップ画面の任意の範囲を指定して、相手に「見せる」ことができます。（指定範囲は共有画面の外枠をドラッグして拡大/縮小および移動できます。）

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

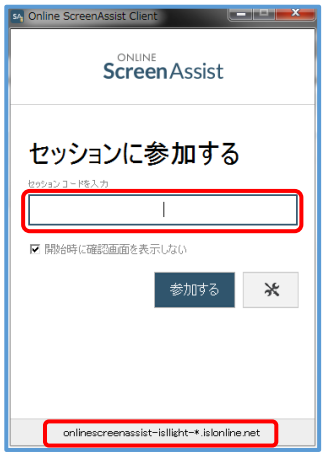
オペレーターまたはクライアントの確認画面で[見る]または[見せる]を選択すると、デスクトップの共有を開始します。

14. 2起動画面

オペレーター側、クライアント側それぞれの起動画面についてご案内します。

▼オペレーター側

▼クライアント側



招待する		Email を送信してクライアントをセッションに招待します。 クライアントは受信した Email 内の URL にアクセスして、表示される[開始]を選択して接続を開始できます。 （オペレーターPC 上で、規定のメールソフトが設定されている必要があります）	
コード取得		セッションコードを取得（再取得）します	
設定	win	Online ScreenAssist Desk、Online ScreenAssist Client の設定を行います。	
開始時に確認画面を表示しない		オプションを OFF（無効）にして接続を開始すると、オペレーターが「見る」を実行した際にクライアント側に画面共有を許可するかどうかを尋ねる確認画面が表示されます。（画面共有を許可する場合は、クライアント側で「見せる」を選択してください）	
メニュー	mac	設定	Online ScreenAssist Desk、Online ScreenAssist Client の設定を行います。
		ログを参照する	Online ScreenAssist Client のログを確認します。 ※ログは起動 exe 実行後に記録を開始します。
		バージョン情報	Online ScreenAssist Client のバージョンを確認します。
接続先サーバー		接続先サーバーを表示します。	

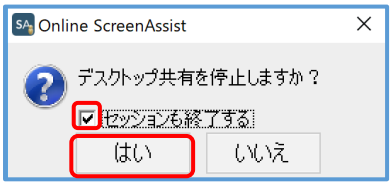
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

14.3　終了方法

デスクトップ共有画面から終了する

(1) デスクトップ共有画面（ウィンドウ）端の[×]を選択します

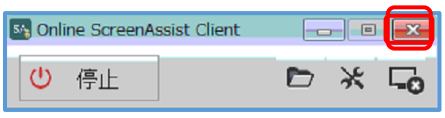
(2) 終了確認のメッセージが表示されます。



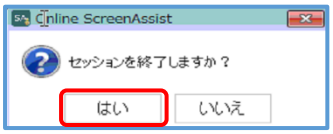
[はい]を選択するとデスクトップ共有を終了します。
[セッションも終了する]に☑を入れると、デスクトップ共有の終了と同時にセッションも終了します。

チャット画面から終了する

(3) チャット画面右のボタン、または[×]を選択します。



(4) セッション（またはプログラム）の終了確認メッセージが表示されます。
[はい]を選択するとセッションを終了します



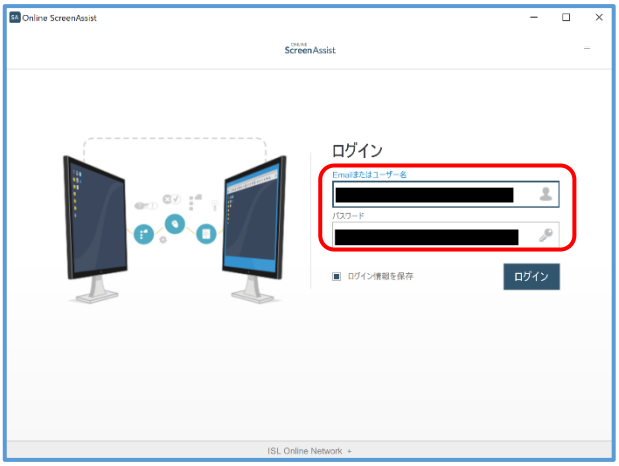
14.4PC アプリケーションコンソールの接続

PC アプリケーションコンソール（Online ScreenAssist）を使用してワンタイム接続を利用する操作についてご案内します。

14.4.1　接続方法

■オペレーター側

(1) PC アプリケーションコンソール（OnlineScreenAssist）を起動し、ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン]を選択します。



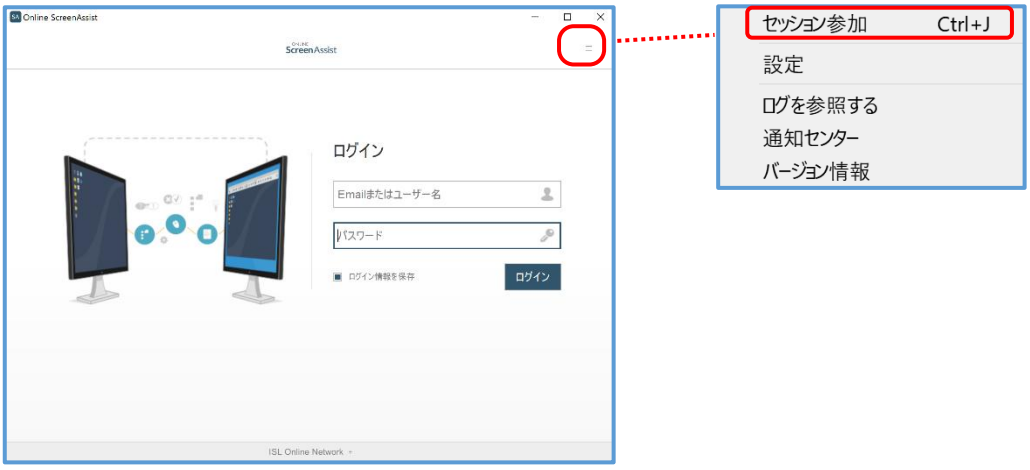
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(2) [セッションを開始する]を選択して、セッションコード（8 桁）を発行します。

セッションコードを発行すると、待機画面に変わります。
クライアントにセッションコードを連絡します。

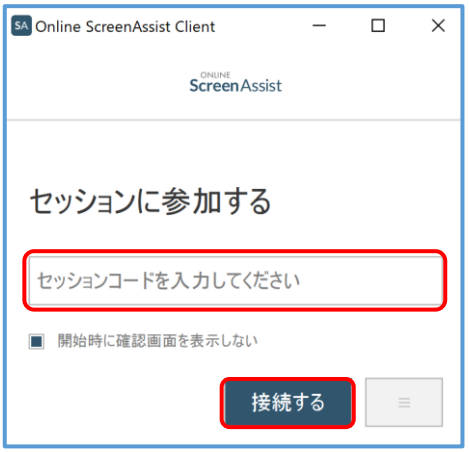
■クライアント側

(1) PC アプリケーションコンソール（Online ScreenAssist）を起動、右上メニューから[セッション参加]を選択します。



ブラウザから利用する場合は、以下の接続ページにアクセスします。

(2) オペレーターから伝えられた 8 桁のセッションコードを入力し、[接続する]を選択すると接続を開始します。



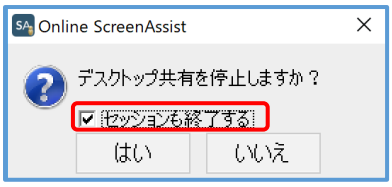
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

14.4.2　終了方法

■デスクトップ共有画面から終了する

(1) デスクトップ共有画面(ウィンドウ)端の[×]を選択します

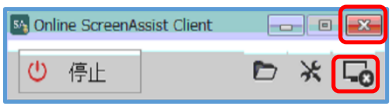
(2) 終了確認のメッセージが表示されます。
[はい]を選択するとデスクトップ共有を終了します。
[セッションも終了する]に☑を入れると、デスクトップ共有の終了と同時にセッションも終了します。

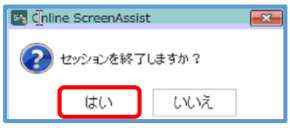


■チャット画面から終了する

(1) チャット画面右のボタン、または[×]を選択します。

(2) セッション(またはプログラム)の終了確認メッセージが表示されます。
[はい]を選択するとセッションを終了します。





■ダッシュボードから強制終了する

ダッシュボード上でセッションを強制終了することができます。

(1) ダッシュボードを開きます。(ツールバー上のボタンを選択して共有画面の前面に表示することができます)

(2) [ワンタイム]のタブを選択します

(3) 現在使用中のセッションの一覧が表示されます
任意のセッションの右側にある[アクション]を選択します。

(4) [セッションを中止する]を選択します。

(5) セッションの終了確認メッセージが表示されます
[はい]を選択するとセッションを強制終了します。

14.5オンラインページの接続

14.5.1　接続方法

■オペレーター側

(1) Online ScreenAssist ログインページ(http://onlinescreenassist.com)にアクセス、ユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]を選択します。

(2) ログイン後、ワンタイム接続画面が表示されます。

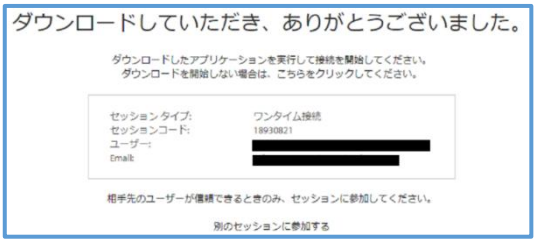
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(3) [新しいセッションを開始する]を選択すると、ワンタイム接続のための実行ファイルをダウンロードします。
(4) ダウンロードしたファイルを実行すると、セッションコード発行後の状態になります。
(5) セッションコードをクライアントに連絡します。
クライアント側でセッションコードを入力し[接続する]を選択すると接続を開始します。

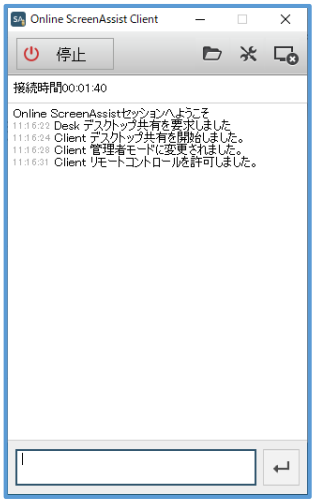
■クライアント側

(1) Online ScreenAssist 接続ページ[https://osa.santec.com/]にアクセスします。
(2) オペレーターから伝えられたセッションコードを入力し、[接続]を選択します。

(3) 接続プログラムファイルがダウンロードされます。



(4) ダウンロードしたファイルを実行すると Online ScreenAssist Client が起動し、
オペレーターとの接続が開始されます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15. Web 会議を利用する

15.1 Web 会議の利用方法

Web 会議は、コミュニケーションやリアルタイムコンテンツの配信など、組織内のグループ活動をサポートするクライアントサーバー型情報システムです。

共有したワークスペース内に作成した Microsoft PowerPoint のスライドを取り込み、スライド上に描き込みやコメントを入れるほか、テキストメッセージを使って参加者に質問を投げかけることができます。

Web カメラとヘッドセットを用意すれば、音声・ビデオチャットも可能です。

15.2 ログインする

(1) Online ScreenAssist オンランンページ(http://onlinescreenassist.com)にアクセスし、ユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]を選択します。

(2) オンラインページ表示後、[Web 会議]を選択します。

15.3 会議(セミナー)を作成する

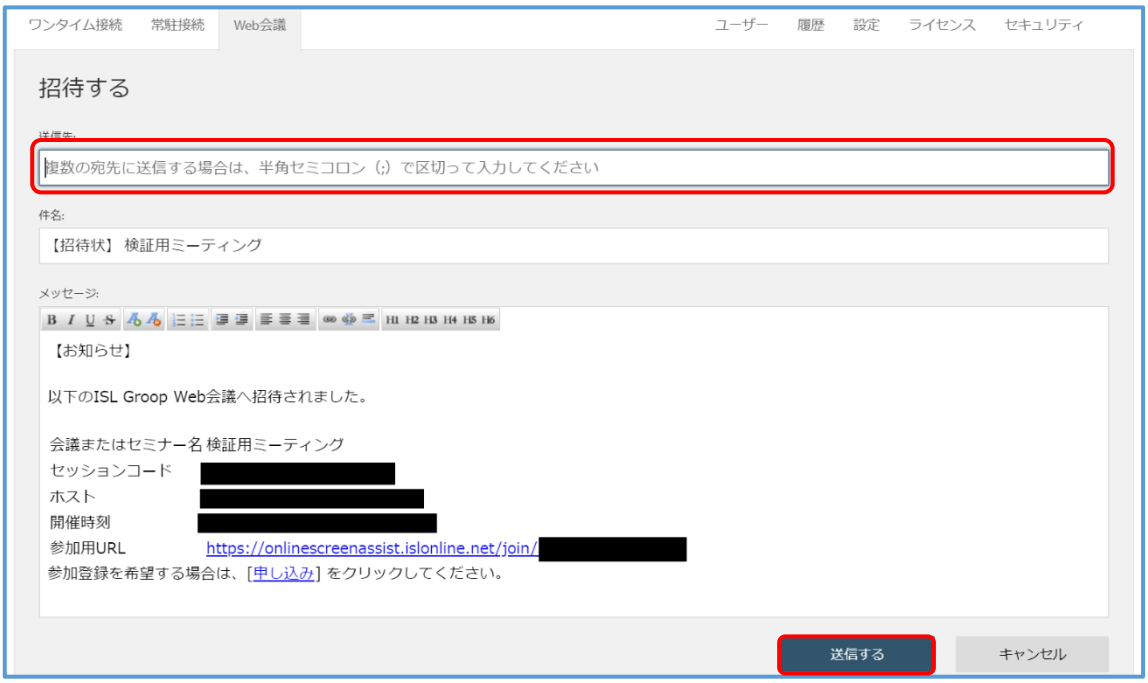
(1) Web 会議を作成する場合は[新規 Web 会議の作成] を、Web セミナーを作成する場合は[新規 Web セミナーの作成]をクリックします。

(2) 会議(セミナー)名を入力し、開催日の(国別)時間帯を選択します。

※参加可能なユーザーや開始時の役割など、詳細な設定を行う場合は[詳細設定を開く]をクリックします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(3) [作成]をクリックすると、招待メールの送信画面に切り替わります。



必要に応じて[件名]、[メッセージ]の編集を行い、[送信先]に Email アドレスを入力して[送信する]をクリックします。
一度に複数の参加者へ招待状を送付する場合は、間を「;」（セミコロン）で区切ります
例：tarou@oceanbridge.jp;hanako@oceanbridge.jp
招待状を送付せずに会議（セミナー）作成を終了する場合は、 [キャンセル] をクリックします。
※招待状は後から送信することもできます[招待する]をご参照ください。

(4) [送信する]または[キャンセル]をクリックすると、主催者（オーナー）の Email アドレス宛に会議（セミナーが作成されたことを告知するメールが自動で送信されます。また、主催者（オーナー）は、自動的に「ホスト」として会議の参加者リストに追加されます

補足：Web 会議と Web セミナーの違いについて

デフォルト設定で「Web 会議」では会議の主催者（オーナー）を除く参加者全員が「プレゼンター」となるのに対し、「Web セミナー」では主催者（オーナー）を除く参加者全員が「ゲスト」となります。

ホストは 3 通りの方法で招待メールを送信できます。

① セミナー作成時に表示される招待メールの送信画面
② オンラインページの[アクション] – [招待する]
③ Web 会議画面内の[メインボタン] – [招待状を送る]

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15.4 Web 会議に参加する

Web 会議に参加するには、以下 2 つの方法があります。

① 主催者から送付された、招待状（Email）上の URL をクリックする

② オンラインページ上で、参加者がセッションコードを入力する

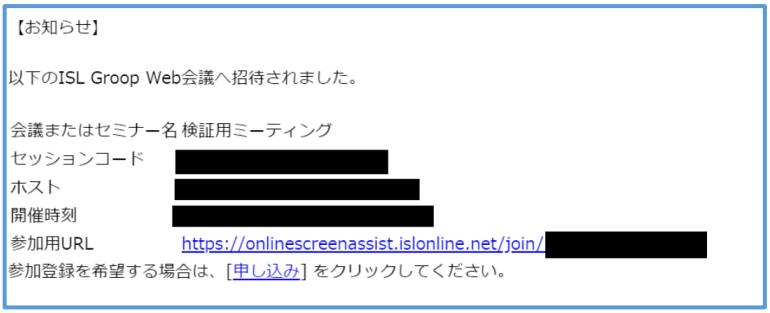
簡単な方法として、1 の主催者が参加者へ招待状（Email）を送信する方法になります。

参加者は、主催者が送付した Email の招待状に書かれたリンクをクリックすることで、自動的にブラウザを起動して接続を開始できます。

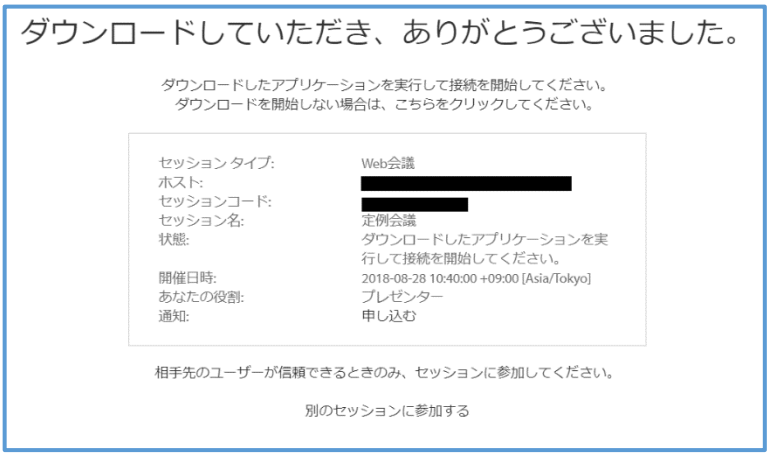
15.4.1 主催者から送付された、招待状（Email）上の URL をクリックする場合

(1) メールソフトを起動して、主催者から送付された招待状(Email)を開きます。

(2) 参加用 URL の URL を選択します。



(3) Web ブラウザが起動して、会議（セミナー）参加画面が開きます。



(4) 「セキュリティの警告」が表示される場合は、[実行する]をクリックします。

(5) WEB 会議がサーバーに接続されると、メイン画面が表示されます。

Web 会議を初めて利用する際は、ユーザー名、Email アドレスを入力する画面が表示されることがあります。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15.4.2 オンラインページ上で、参加者がセッションコードを入力する場合

主催者は事前にメールや Web ページ上での公開などを通じ、参加者に会議（セミナー）のセッションコード(12 桁)を通知しておく必要があります。

(1) Online ScreenAssist オンラインページ（http://onlinescreenassist.com）にアクセスし、ユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]を選択します。

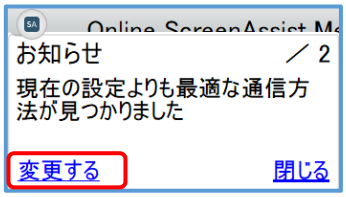
(2) 右上の[セッション参加]ボタンを選択し、参加する会議（セミナー）のセッションコード(12 桁)を入力し[接続]をクリックします。

(3) ダウンロードされるプログラムを実行します。
「セキュリティの警告」ウィンドウが表示される場合は、[実行]をクリックします。

(4) Web 会議が開始されると、メイン画面が表示されます。
Web 会議を初めて利用する際は個人情報の入力画面が表示される場合があります。

補足：接続オプションの自動検出について

既に Online ScreenAssist をご利用中で自動接続のオプション（httpt-proxy、https-proxy など）が設定されている場合、現在の設定よりも最適な通信方法が見つかると、画面左上に以下のメッセージが表示されます。



そのまま Web 会議に参加する場合は、「閉じる」をクリックします。
通信方法を最適な通信方法に変更して会議（セミナー）に参加する場合は、「変更する」をクリックします。
（何も選択しない場合、メッセージは数秒後に自動で消えます）

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15.5メイン画面

Web 会議のメイン画面の利用方法をご案内します。

15.5.1 画面レイアウト

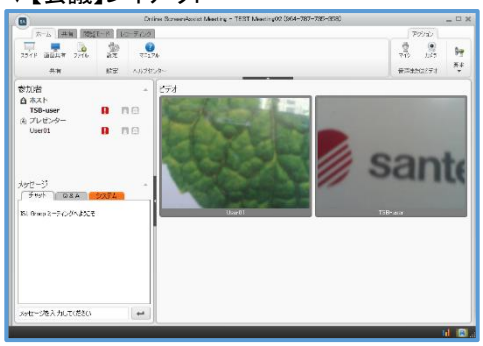
Web 会議のメイン画面は、スライド、会議、フルスクリーンの 3 つの既存のレイアウトの中から選択して表示できます。

[メインボタン]-[レイアウト変更]から変更可能です。

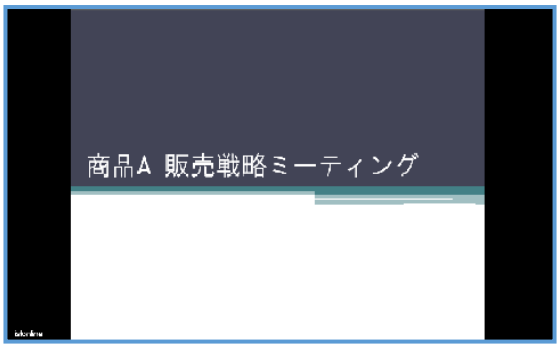
レイアウトのうち、スライドと会議は、[レイアウト変更ボタン]で切り替えることができます。

▼【スライド（標準）】レイアウト

▼【会議】レイアウト



▼フルスクリーン



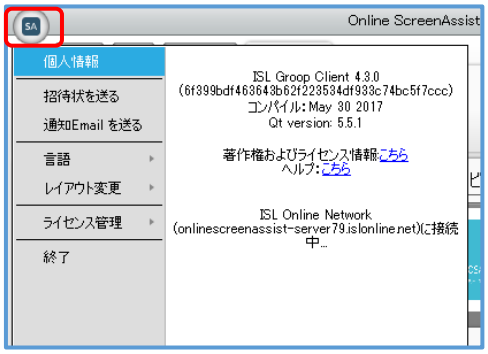
※フルスクリーンは、「F11」キーで画面を切り替えることができます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

メインボタン	個人情報の変更、招待状/告知の送付、言語の変更、レイアウト変更などを行います
リボン	Web 会議の基本機能を格納しています。[ホーム] [共有] [閲覧モード] [レコーディング] [アクション]合計 5 つのタブで構成されています
登壇者	演説台に立ち、プレゼンテーションを行います。登壇者のパーソナル画像、あるいはカメラ映像が表示されます
参加者エリア	参加者の一覧、現在の役割、ステータスを表示します
メッセージエリア	テキストメッセージを入力し、チャットや Q&A を行います 開始直後は[チャット] [Q&A] [システム]合計 3 つのタブで構成されていますが、 パーソナルチャットを開始すると、[パーソナル チャット]タブが追加されます
スライドビュー	スライド（PowerPoint スライドなど）を表示します
ビデオエリア	参加者のパーソナル画像、またはカメラ映像を表示します

15.5.2 メインボタン

[メインボタン]を選択するとメインメニューが表示されます。

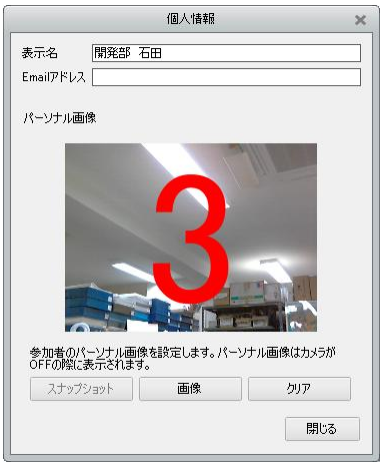


※macOS では[セッション]タブが表示されます。

■個人情報

Web 会議上で使用する表示名や Email アドレスを変更します。

また、カメラ映像の代わりに、パーソナル画像として任意の静止画またはスナップショットを表示させることができます。



表示名	参加者の表示名を変更します
Email アドレス	参加者の Email アドレスを入力します
スナップショット	スナップショットの撮影を行います。 （カメラを有効にする必要があります） クリックすると 3 秒のカウントダウンの後、パーソナル画像を撮影します。
画像	パーソナル画像に使用する静止画を選択します（.png、.jpg、.jpeg、.bmp 対応）
クリア	パーソナル画像を消去します

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■招待状を送る（ホストのみ使用できます）

Email を経由して、参加者に会議（セミナー）の招待状を送ります。

■通知 Email を送る

ホストのみ使用できます。

Email を経由して、参加者に会議（セミナー）の告知を行います。

■言語

Web 会議のメイン画面で使用する言語を変更します。

■レイアウト変更

スライド、会議、フルスクリーンの 3 つの中から、画面のレイアウトを選択します。

■ライセンス管理（オーナーのみ使用できます）

ライセンスの取り扱いに関して設定を行います。会議室の設定が「手動※」の場合に、必要なライセンス数を確保してセッションに参加するユーザー数を制限できます。

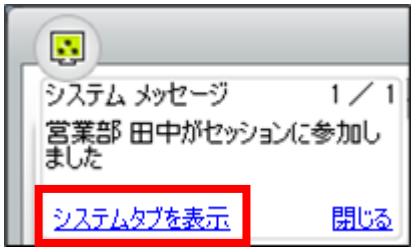
（ライセンスを確保するには複数ライセンスが必要です。）

※初期設定では「自動」に設定されています。

■終了

プログラムを終了します。

補足：通知ダイアログについて



会議（セミナー）の状況に応じて、メインボタンの下に通知ダイアログが表示されることがあります。

（※左の例では、「営業部　田中」が会議に参加したことをホストに通知しています）

ダイアログ下のオプション（この例では［**システムタブを表示**］）をクリックすると、メッセージエリア内の[システム]タブがアクティブになります。［**閉じる**］をクリックすると、通知ダイアログを閉じます。

補足：ライセンス付与について

会議（セミナー）開始後、Web 会議の終了（退出）によりセッション開始権限のあるユーザー（ライセンス保有者）がいなくなる場合は、セッション開始権限のあるユーザーが退出した 3 分後にセッション全体が強制的に終了します。

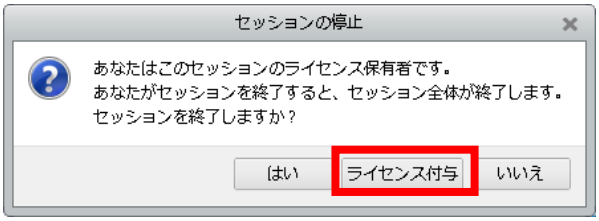
セッション開始権限のあるユーザーの退出後も、引き続き会議（セミナー）行いたい場合は、他の参加者に一時的にライセンスを付与できます。

（※セッション開始権限については、「編集」の「開始可能な役割」をご参照ください）

操作方法：（例：セッション開始権限が「オーナー」の場合）

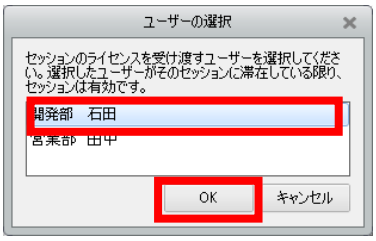
1) オーナー（ホスト）が、Web 会議を終了します

2) オーナー画面上に、ライセンス付与の確認メッセージが表示されます



3) [ライセンス付与]をクリックすると、現在会議（セミナー）に参加しているユーザーの一覧が表示されます。付与するユーザーを選択し、[OK]をクリックします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



4) 選択したユーザーにライセンスが付与され、会議（セミナー）を続行します。
（ライセンスを付与されたユーザーの画面に通知ダイアログは表示されません）

15.5.3 リボン

Web 会議の基本機能が格納されています。
[ホーム] [共有] [閲覧モード][レコーディング] [アクション] 合計 5 つのタブで構成されており、[ホーム] [共有] [閲覧モード][レコーディング]は、それぞれのタブをクリックして切り替えることができます。

■各タブの構成

(1) **ホーム**

共有	スライド	新規スライドを追加します
	画面共有	参加者のデスクトップ画面全体（または一部）を共有します（macOS の場合、画面共有の範囲は指定できません）
	ファイル	共有ファイルの追加、削除、保存などを行います
設定	設定	スピーカー、マイク、ビデオの設定を行います
ヘルプセンター	マニュアル	ブラウザが起動し、ISL Online の製品トップページ（https://www.islonline.jp）が開きます

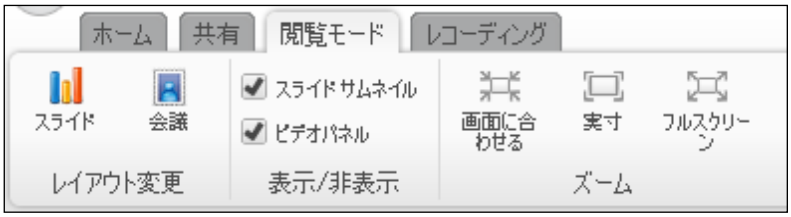
(2) **共有**

スライド	インポート	Microsoft PowerPoint のスライド、または JPEG ファイルを取り込みます（PowerPoint スライドの取り込みは Windows OS でのみ可能です）
	エクスポート WIN	Microsoft PowerPoint のスライドを出力します

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

挿入	クリップボード画像	スライド上に、クリップボード画像を挿入します
	スクリーンショット WIN	指定した範囲の画面キャプチャをスライド上に挿入します
閲覧モード	単独閲覧	現在の進行に合わせず、独立してスライドを閲覧します
	共有閲覧	現在の進行に合わせ、自動的にスライドが切り変わります

(3) 閲覧モード



レイアウト変更	スライド	画面レイアウトを「スライド」に変更します
	会議	画面レイアウトを「会議」に変更します
表示/非表示	スライドサムネイル	スライドサムネイルの ON/OFF の切り替えができます
	ビデオパネル	ビデオパネルの ON/OFF の切り替えができます
ズーム	画面に合わせる	スライドの全体を表示します
	実寸	実際のサイズでスライドを表示します
	フルスクリーン	スライドを全画面表示します フルスクリーンは[ESC]キーで解除できます

(4) レコーディング

レコーディング	開始	録画を開始します
	停止	録画を停止します
	設定	録画の対象を指定します
マーカー	挿入	録画ファイルにマーカー(印)を挿入します

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(5) **アクション**

音声/ビデオ	マイク	マイクの ON/OFF を切り替えます
	カメラ	カメラの ON/OFF を切り替えます
要求	レイアウトの変更や、役割の昇格を要求します ※現在、[レイアウト変更]の要求はご利用になれません。	

■基本機能

各タブの主な機能について、使い方を説明します。

(1) **ホーム**

①画面共有

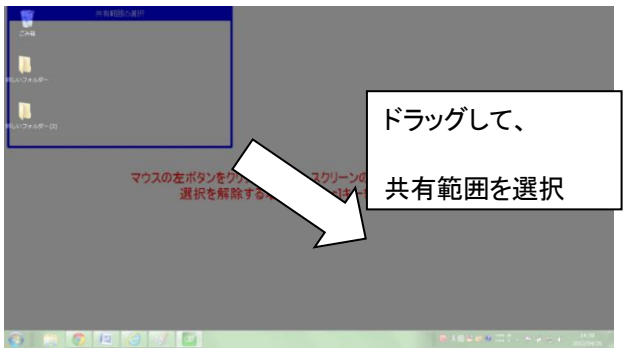
：スライド上に、デスクトップ画面全体（または一部）を共有します。

操作方法:

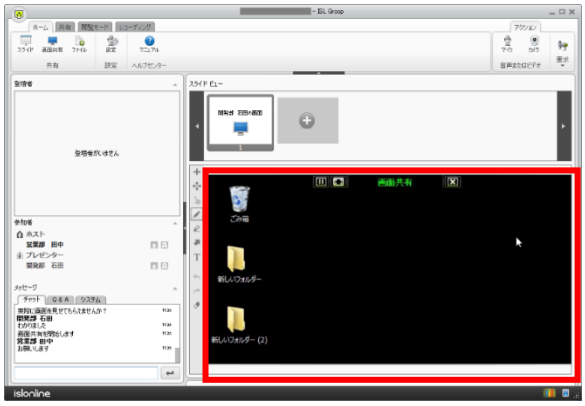
1) [画面共有]をクリックします。

2) 画面がグレーアウトして、「マウスの左側をクリックしたままスクリーンのエリアを選択してください。
選択を解除する場合は[Esc]キーを押してください」のメッセージが表示されます。

3) 画面範囲をドラッグ、または共有するアプリケーションウィンドウを選択します。
（デスクトップ画面全体を共有したい場合は、画面上をクリックします）



4) 選択した共有範囲が、参加者のスライド上に表示されます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

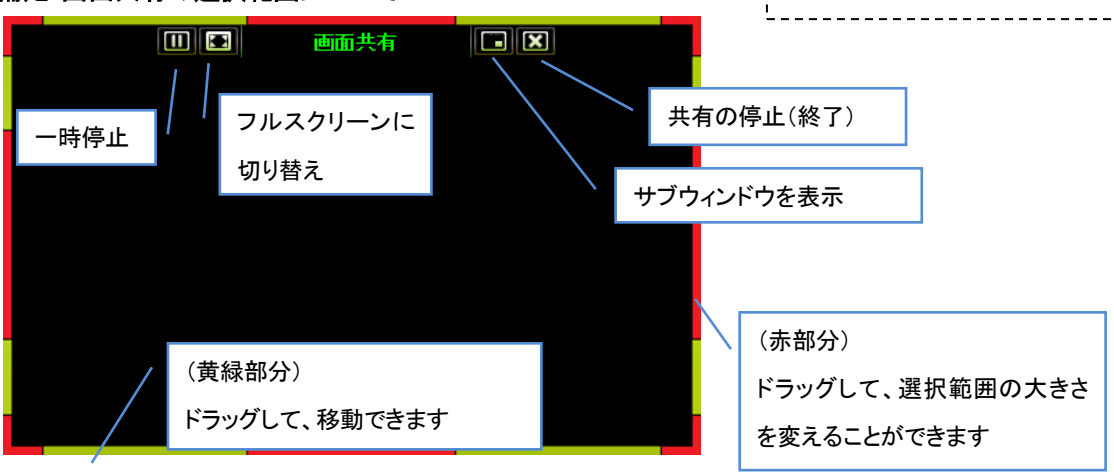
5) 共有側の画面にはサブウィンドウが表示されます（メイン画面は最小化されます）。

補足：サブウィンドウについて

- **登壇者**
  登壇中の参加者のパーソナル画像（またはカメラ映像）が表示されます。

  登壇者がいない場合は[登壇者]ボタンが表示されます。
- **マイク**
  音声配信の ON/OFF を切り替えます。
- **カメラ**
  ビデオ映像の ON/OFF を切り替えます。
- **メインウィンドウ**
  メイン画面（**エラー! 参照元が見つかりません。**参照）を表示します。
- **画面共有を停止**
  画面共有を停止（終了）します。

補足：画面共有の選択範囲について



※現在、アプリケーションウィンドウを選択した画面共有は使用できません。
選択したウィンドウ上に表示された別ウィンドウも画面共有されます。

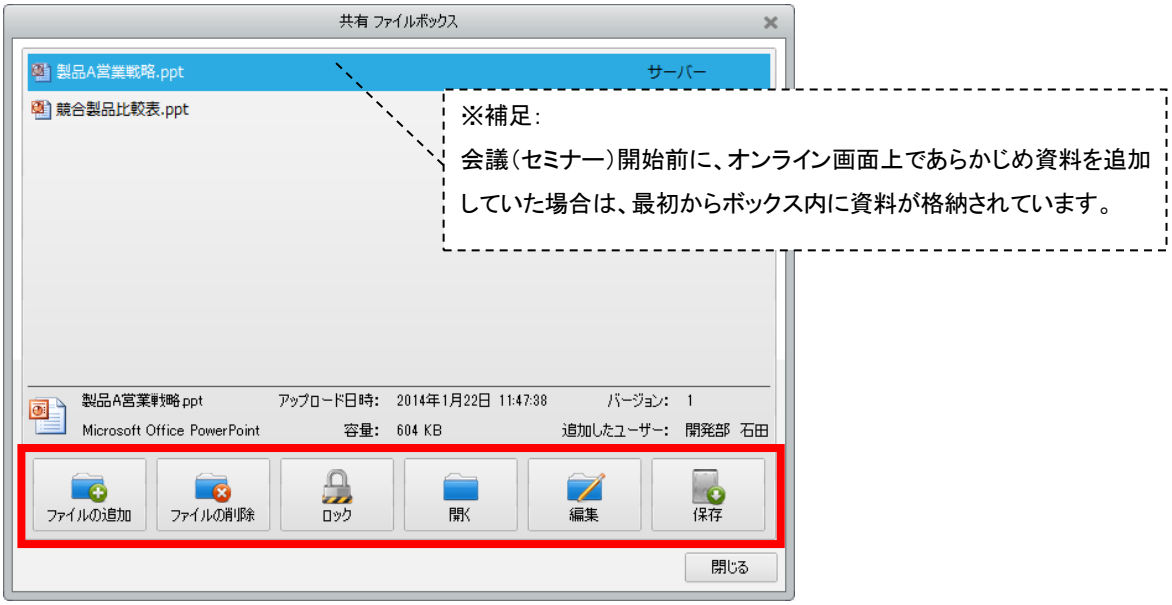
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

②ファイル

:共有ファイルの追加、削除、保存などを行います。

操作方法:

1) [ファイル]をクリックします
2) 共有ファイルボックスが開きます。
3) 機能のボタンをクリックします。



ファイルの追加	共有ファイルボックス内に、ファイルを追加します。 (追加できるひとつのファイルの最大サイズは 10MB です)
ファイルの削除	共有ファイルボックス内のファイルを削除します
ロック/ロック解除	共有ファイルボックス内のファイルのロック/ロック解除を行います
開く	共有ファイルボックス内のファイルを開きます
編集	共有ファイルボックス内のファイルを編集します
保存	共有ファイルボックス内のファイルを、ローカルに保存します
閉じる	共有ファイルボックスを閉じます

※共有ファイルのロック解除は、そのファイルを追加した(ロックした)ユーザー、またはホストのみ行うことができます

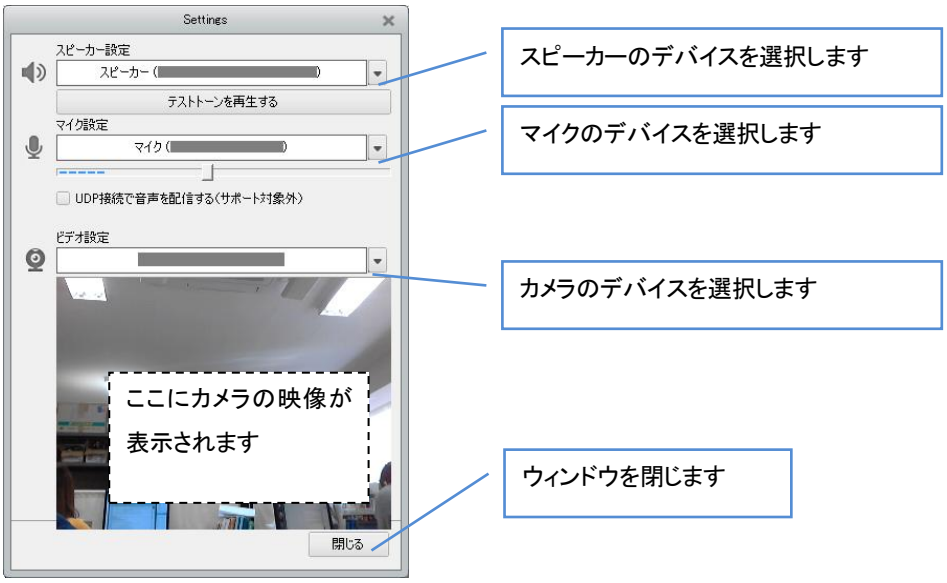
③設定

スピーカー、マイク、ビデオの設定を行います。

操作方法:

1) [設定]をクリックします
2) 必要に応じて、マイクやカメラのテストを行います

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



補足:「UDP 接続で音声を配信する」について

チェックボックスに☑を入れると、UDP による接続を許可します。

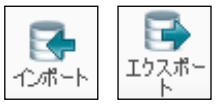
（※現在、「UDP 接続で音声を配信する」の機能はサポート対象外です）

補足:パーソナル画像について

カメラ映像の代わりに、パーソナル画像に任意の静止画、またはスナップショットを表示させることができます。

(2) **表示**

①インポート、エクスポート



・インポート

Microsoft PowerPoint のプレゼンテーションファイル、または JPEG ファイルをスライドに取り込みます（PowerPoint スライドの取り込みは Windows OS でのみ可能です）

・エクスポート WIN

1 枚または複数のスライドを、Microsoft PowerPoint のプレゼンテーションファイルとして書き出します

操作方法:

1) [インポート/エクスポート]をクリックします（インポートの場合は、PowerPoint のファイルを選択します）

2) [インポート/エクスポートするスライドを選択] ウィンドウが表示されます。

（[Ctrl] + クリックで、任意の複数のスライドを選択できます。）

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

補足:

・エクスポートすると、スライド内のオブジェクトはすべてスライド内に埋め込まれ、以降はスライドの一部としてオブジェクトを選択・編集ができなくなります。

・Microsoft PowerPoint のスライドをインポートまたはエクスポートするには、Microsoft PowerPoint（2010～2019）がインストールされている必要があります。

・インポートできるファイルの拡張子は、「.pptx」および「.ppt」です。

・エクスポートできるファイルの拡張子は「.ppt」のみで、Office Open XML 形式（拡張子が「.pptx」）のエクスポートには対応していません。

②クリップボード画像

:スライド上に、クリップボード画像を挿入します

操作方法:

1) スクリーンショットの撮影（Print Screen キーを押すなど）を行います

2) [クリップボード画像]をクリックします

3) スライド上に、1 で撮影したクリップボードの画像が挿入されます

補足:

スライドビュー上にスライドが 1 枚もない場合は、[クリップボード画像]は使用できません。

③スクリーンショット

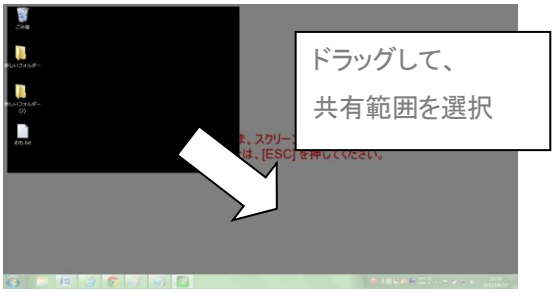
:範囲を選択してスクリーンショットを撮影し、スライド上に挿入します。

操作方法:

1) [スクリーンショット]をクリックします

2) 画面がグレーアウトして、「マウスの左ボタンをクリックしたまま、スクリーンのエリアを選択してください。選択を解除する場合は、[ESC]を押してください。」のメッセージが表示されます。

3) ドラッグして、スクリーンショットを撮影したい画面の範囲を選択します



4) スライド上に、スクリーンショットが挿入されます

補足:

スライドビュー上にスライドが 1 枚もない場合は、[スクリーンショット]は使用できません。新しいスライドを追加してください。（スライドの追加については、「スライドサムネイル」をご参照ください）

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

④**単独閲覧・共有閲覧**

・単独閲覧

現在の進行に合わせず、参加者が独立してスライドを閲覧できます

（会議中にコンテンツの追加や確認を行う場合や、既に終了した発表を振り返るときなどにお使いください）

・共有閲覧

発表者（ホストまたはプレゼンター）のスライド進行に合わせて、自動的にスライドが切り変わります

（発表者が会議を進行し、他の参加者がそれに従って閲覧するときにお使いください）

操作方法:

[単独閲覧]または[共有閲覧]をクリックします

補足:

・単独閲覧では、現在会議で使用中のスライドがオレンジ色の枠線で囲まれます。

・共有閲覧では、現在会議で使用中のスライドがグレーの枠線で囲まれます。

（スライドの進行については、「補足:スライドの進行について」をご参照ください）

(3) **閲覧モード**

①レイアウト

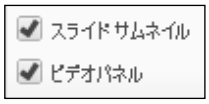
・スライド:Web 会議のメイン画面の、デフォルトのレイアウトです。

・会議:プレゼンテーションのレイアウトからスライドビューと登壇者画面を隠します。

補足:レイアウトは、Web 会議 画面右下のボタンを使って変更することもできます。

（詳しい手順は、「画面レイアウト」をご参照ください）

②表示/非表示



・スライドサムネイル:スライドサムネイルの ON/OFF の切り替えができます

・ビデオパネル:ビデオパネルの ON/OFF の切り替えができます

(4) **レコーディング**

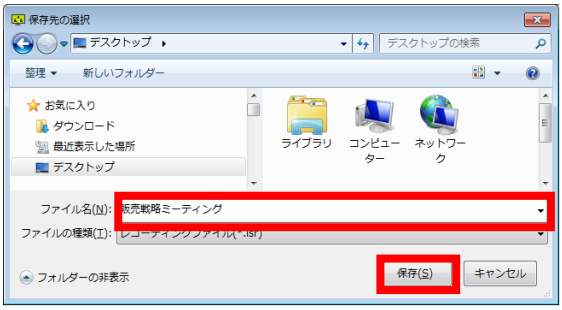
会議（セミナー）の、スライド、音声、カメラ画像、チャットを録画できます。

操作方法:

1) [開始]をクリックします。

2) 録画するファイルの保存先を選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックします。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



3) 録画を開始します。

※録画中に、任意のタイミングでマーカー[挿入]をクリックすると、その時間軸にマーカー(印)を入れておくことができます。マーカーは後で録画ファイルを再生する際に、挿入したところから再生できます。

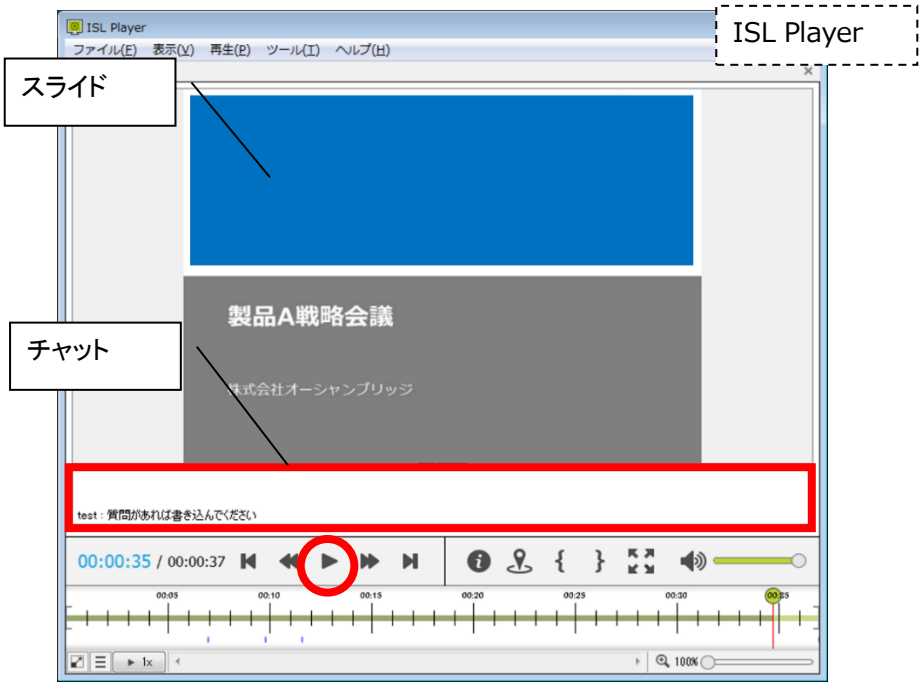
4) [停止]をクリックして、録画を終了します。

補足:録画ファイルの再生について

録画されたファイルは「ファイル名.isr」という独自の拡張子で保存され、isr ファイルは ISL Player で再生できます。

ISL Player は、以下の URL からダウンロードできます。

https://www.islonline.net/download/ISLPlayer

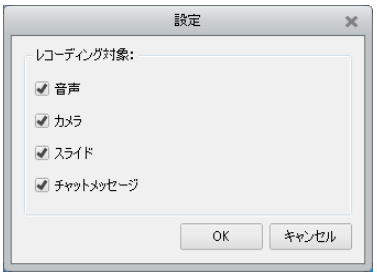


補足:録画の対象について

録画する対象として、音声、カメラ映像、スライド、チャットメッセージの ON/OFF を選択できます。

1) レコーディングの[設定]をクリックします

2) レコーディングしたい対象のチェックボックスを ON にし、[OK]をクリックします



Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(5) **アクション**

アクションタブは、2 つのセクションに分かれます。

①音声またはビデオ

・マイク:クリックして、音声配信の ON/OFF を切り替えます

・カメラ:クリックして、ビデオ映像の ON/OFF を切り替えます

ON/OFF の設定を変更すると、参加者エリアのステータスに反映されます。

②要求

・レイアウト変更

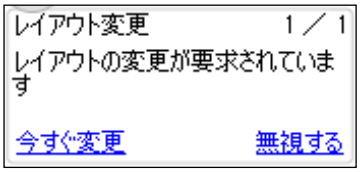
[スライド]または[会議]の画面レイアウトで閲覧中、自分と異なるレイアウトで閲覧している参加者に対し、レイアウトの変更を要求します。

操作方法:

1) [要求]をクリックし、[レイアウト変更]を選択します

2) レイアウトの一致しない全参加者に、レイアウト変更の要求が通知されます

（メインボタンの下に、通知ダイアログが表示されます）



レイアウト変更を希望しない場合は、[無視する]をクリックします

3) [今すぐ変更]をクリックすると、レイアウトが変更されます

([今すぐ変更][無視する]のいずれも選択しなかった場合は、数秒後、自動的にレイアウトが変更されます)

・昇格

オーナーに対して、役割の昇格を要求します。

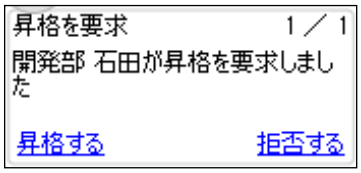
（※役割の詳細は、後述の補足「参加者の役割について」をご参照ください）

操作方法:

1) 昇格を希望する参加者が、[昇格]をクリックします

2) オーナーに対し、昇格の要求が通知されます

（メインボタンの下に、メッセージが表示されます）



昇格を拒否する場合は、[拒否する]をクリックします

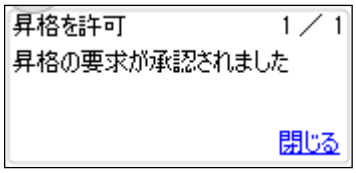
3) 昇格を許可する場合は、[昇格する]をクリックします

([昇格する][拒否する]のいずれも選択しなかった場合は、数秒後、自動的に[拒否する]を選択したとみなされます)

4) 1)で昇格を希望した参加者の役割が、1段階昇格します

昇格を希望した参加者には、昇格の承認が通知されます

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



補足:参加者の役割について

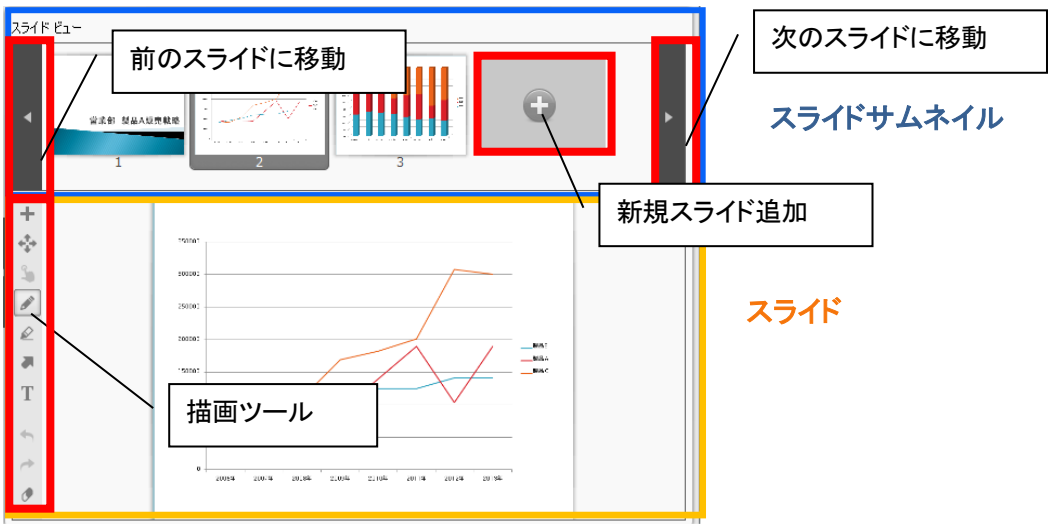
会議参加者は、以下の役割のいずれかを担当します。(3 種類)

	ホスト
会議(セミナー)をオンライン画面上で作成したオーナー、およびセッション開始前または途中でホストに昇格した参加者を指します。ホストは他の参加者に対し、音声(マイク)やカメラの ON/OFF を要求するほか、参加者の役割の昇格/降格や、会議から強制的に退出させることができます。ライセンス所有者であるホスト(オーナー)に対しては、他ホストから昇格/降格、退出させることはできません。 なお、会議(セミナー)を開始できるユーザーがホストのみの場合、ライセンス所有者であるホスト(オーナー)がセッションを終了すると、全ての参加者のセッションが強制的に終了されます。ホスト(オーナー)はセッション終了時、セッション権限を他ホストに移管して、セッションを継続させることもできます。	
	プレゼンター
音声を発信できる一般的な参加者を指します。プレゼンターは、スライドやコンテンツの追加、描画ツールによる注釈を入れることができます。	
	ゲスト
聴衆として招待された参加者を指します。音声やカメラの発信はできません。ゲストは全体に対するチャットと質問の送信はできますが、質問に対して回答することはできません。	

※　ホストは、ゲスト⇔プレゼンター⇔ホストの順に、役割を昇格/降格させることができます

15.5.4 スライドビュー

スライドビューは、上部にスライドサムネイル(スライド全体の流れ)、その下にスライドを表示します。



①スライドサムネイル

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

スライドサムネイルでは、表示したいスライド、または［前の/次のスライドに移動］をクリックして前後に移動できます。
また、[新規スライド追加]をクリックして新しいスライドを追加できます。

[スライドの種類について]
・新しいスライド：
　白紙のスライドを挿入します
・スライドの複製：
　選択したスライドを複製します
・画面共有：
　画面共有を行います
・インポート：
　スライドのインポートを行います

②スライド
現在選択しているスライドを表示します

補足：スライドの進行について

・単独閲覧では、現在会議で使用中のスライドがオレンジ色の枠線で囲まれます。
・共有閲覧では、現在会議で使用中のスライドがグレーの枠線で囲まれます。
・共有閲覧を行うと、発表者（ホストまたはプレゼンター）のスライド進行に合わせて他の参加者のスライドが自動で切り替わります。

※描画ツールについて

レイアウトで「スライド」を選択している場合は、スライドの左側に［描画ツール］が表示されます。
（参加者の役割がゲストの場合は、描画ツールは表示されません）
[描画ツール]を使い、スライド上にさまざまな書き込みや注釈を入れることができます。

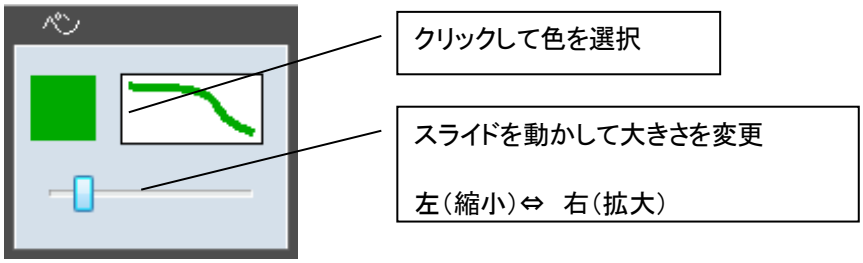
	新規スライド	新しいスライドを追加します
	移動/リサイズ	[ペン][マーカー][矢印][テキスト]で挿入したオブジェクトを移動、または拡大/縮小します
	ポインター	ポインターを使って、スライドに注目させます （※ポインターは登壇者のみ使用できます）
	ペン	フリーハンドで描き込みを行います
	マーカー	マーカーで書き込みを行います
	矢印	枠線と中身の色を選択し、フリーハンドで矢印を挿入します
T	テキスト	フォント・色・サイズを選択し、キーボードから文字を入力します
	元に戻す	直前の操作をやり直します

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

	やりなおす	[元に戻す] の操作をやり直します
	削除	スライド上の描き込みを、すべて削除します （特定のオブジェクトを削除するには [移動/リサイズ]を選択し、オブジェクトを選択してキーボードの [delete] キーを押します）

※ペンマーカー、矢印、テキストは、色と大きさを変更できます。

例：ペンの場合

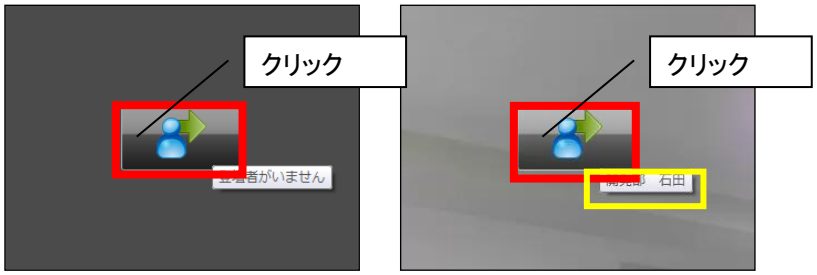


15.5.5 登壇者

登壇者(席)に立ち、参加者の注目を集めて発言を行うことができます

操作方法：

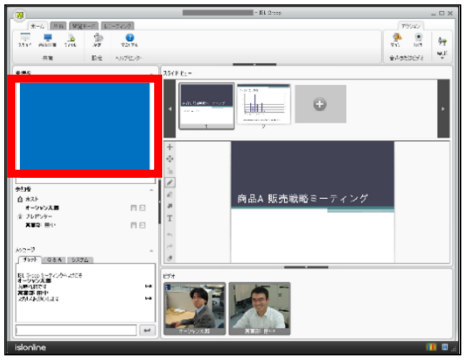
1) [登壇者]ボタンをクリックします。



[登壇者が空いている場合] [他の参加者が登壇中の場合]

※他の参加者が登壇中の場合は、画面上に進行役の名前が表示されます。
他の参加者がいる場合でも、[登壇者]ボタンをクリックすると登壇できます。

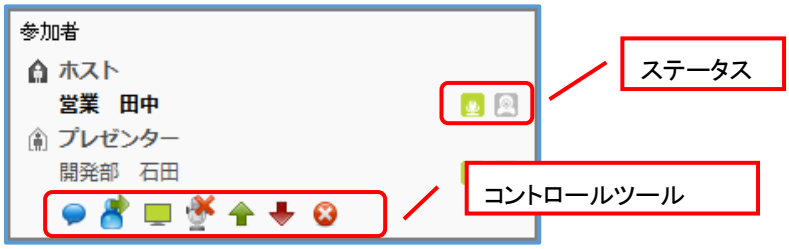
2) 登壇者席に、参加者のパーソナル画像（またはカメラ映像）が表示されます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15.5.6 参加者エリア

現在の会議の参加者の一覧が表示されます。参加者の役割のほか、ステータスにより音声、ビデオ映像 ON/OFF の状態などが確認できます。



① ステータス

マイクまたはカメラのアイコンをクリックして、ON/OFF の切り替えができます。

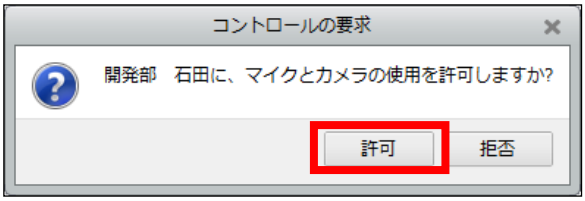
また、ホストは他の参加者に対しマイクまたはカメラの ON/OFF を要求できます。

操作方法:マイクまたはカメラの ON/OFF 要求

1) ステータス内の、[マイク(左)]または[カメラ(右)]ボタンをクリックします

(緑色は ON、灰色は OFF の状態を表しています)

2) 参加者の画面上に、マイクおよびカメラのコントロール許可を求めるウィンドウが表示されます。



3) ホストによるコントロールを許可する場合は、[許可]をクリックします

4) 参加者のマイクまたはカメラの ON/OFF が切り替わり、以降はホスト側で自由に切り替えができるようになります。

②コントロールツール

(ユーザーの役割によって、表示される項目が異なります)

コントロールツールは、参加者エリアの参加者名をクリックすると表示されます。

プライベートチャットを開く	プライベートチャットタブが開き、クリックした参加者とチャットができます。 チャット画面はメッセージエリア内に、区切られた別のタブとして表示されます。
登壇者を譲る/強制的に登壇者をやめさせる	クリックした参加者に登壇者席を譲る、または登壇者席から強制的に退出させることができます
リモート接続	クリックした参加者のコンピューターに対し、リモート接続を行います※
ユーザーの音声をミュートにする/ミュート状態を解除する	クリックした参加者の、音声配信の ON/OFF を行います
(役割名)に昇格する	クリックした参加者を昇格し、現在の役割よりも 1 レベル上位の役割を与えます
(役割名)に降格する	クリックした参加者を降格し、現在の役割よりも 1 レベル下位の役割を与えます
強制的に退出させる	クリックした参加者を、セッションから強制的に退出させます

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

※リモート接続について

ホストは他の参加者のコンピューターに対して、ISL Light で接続を開始できます。

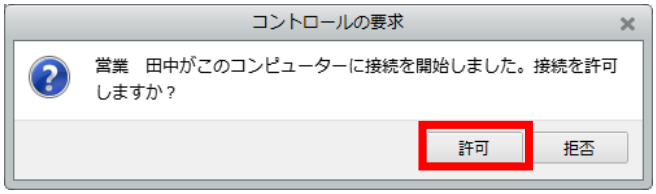
操作方法:

1) コントロールツール内の、[リモート接続]ボタンをクリックします

2) リモート接続プログラム[PC アプリケーションコンソール]が起動します

(PC アプリケーションコンソールが、インストールされていない場合は Online ScreenAssist Desk が起動します。)

3) 参加者の画面上に、接続の許可を求めるウィンドウが表示されます



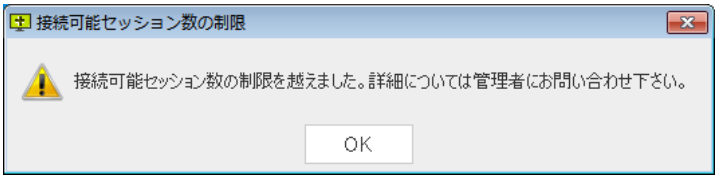
4) 接続を許可する場合は、[許可]をクリックします

5) 接続が開始されます

注意

リモート接続機能では、実行中の Web 会議(セミナー)セッションとは別に同時接続ライセンスが必要です。

ライセンスに空きがない場合はメッセージが表示されます。



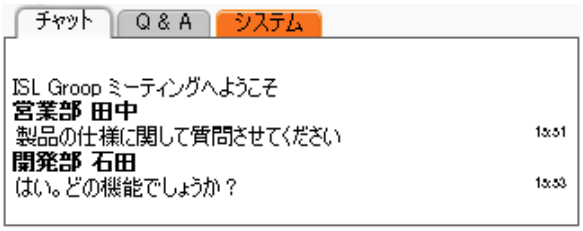
15.5.7 メッセージエリア

メッセージエリアは通常、3 つのタブ [**チャット**] [**Q&A**] [**システム**] で構成されます。

プライベートチャットが開始されると、[**相手の名前**]タブが追加されます。

メッセージを入力し、エンターキーあるいは画面右下にある[送信]ボタンをクリックするとメッセージを送信できます。

■チャット:参加者全体で、チャットを行います

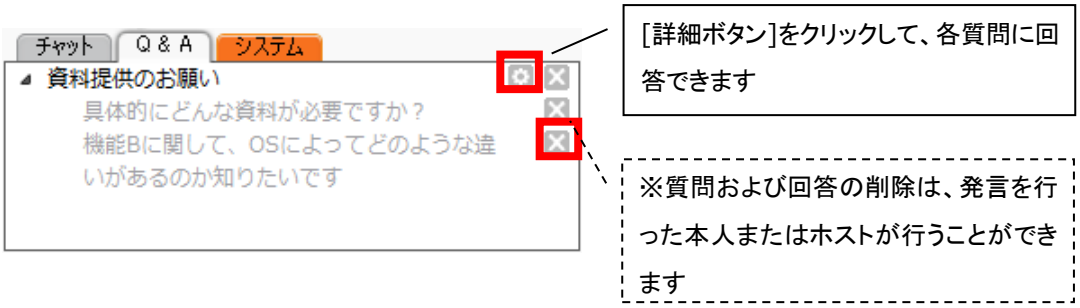


2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■Q＆A

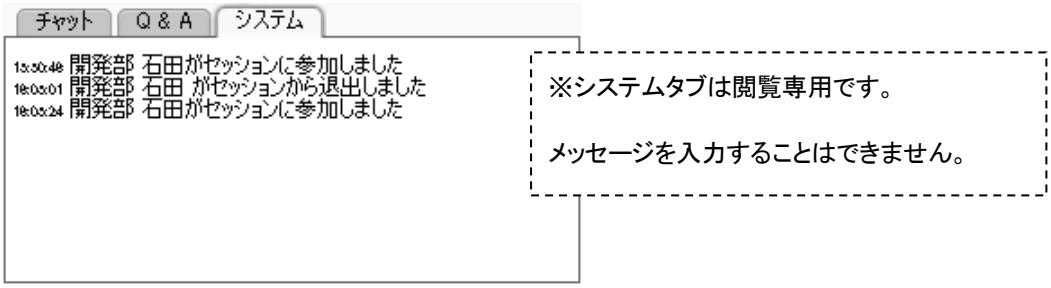
他の参加者に質問を投げかけ、その回答を書き込むことができます。

1つの質問に対し、同じ参加者が続けて書き込み行った場合は、回答は上書きされます。

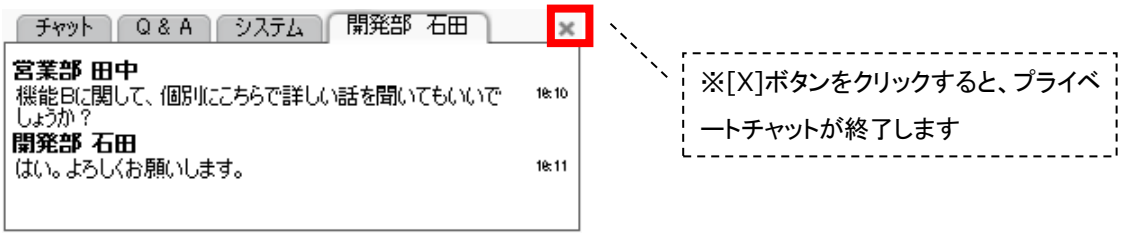


■システム

システムに関する告知を表示します（例：会議への参加、退出、強制退出など）

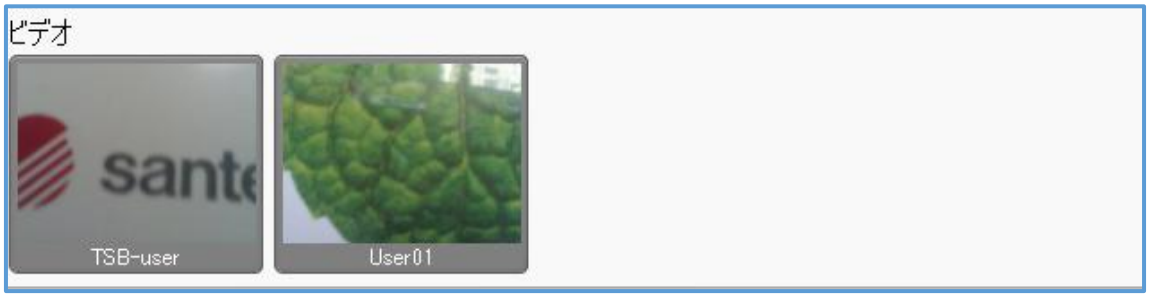


■プライベートチャット：特定のユーザーと個別でチャットを行います



15.5.8 ビデオエリア

ビデオ エリアには、参加者のカメラ映像、あるいはパーソナル画像が表示されます。



※参加者が登壇者に立つと、参加者のカメラ映像（あるいはパーソナル画像）がビデオエリアから消え、登壇者に表示されます。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15.6オンラインページ

オンラインページでは、Web 会議(セミナー)の新規作成、参加、招待、条件の変更や削除などができます。

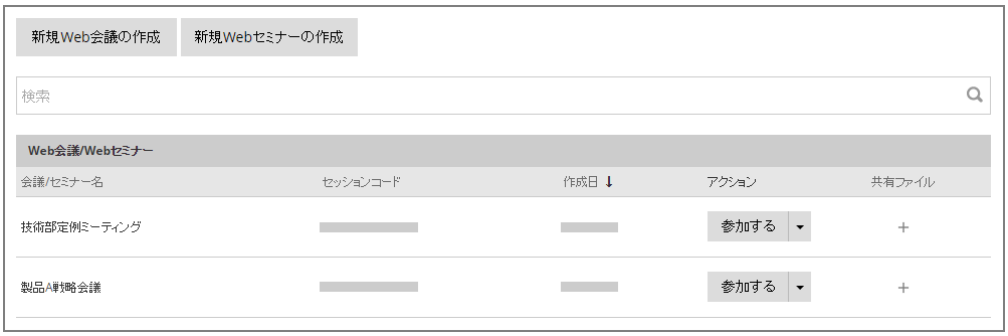
15.6.1 Web 会議/セミナー一覧

手順:

① ISL Online のオンラインページにログインし、[Web 会議]をクリックします。

② 既に会議を作成していた場合は、会議のリスト一覧が表示されます。

[各機能の説明]



・会議/セミナー名:会議(セミナー)の名称を表示します。

・セッションコード:会議(セミナー)のセッションコードを表示します。

・作成日:会議(セミナー)の作成日を表示します。

・アクション:会議(セミナー)に対してアクションを実行します。

(参加、招待、会議(セミナー)内容の編集、削除、登録ユーザーの確認など)

・共有ファイル:ファイルを添付して、会議(セミナー)で共有します。

・新規 Web 会議の作成:

新規に会議を作成します。作成後、会議はセミナーに変更することもできます。

・新規 Web セミナーの作成:新規にセミナーを参加します。作成後、セミナーは会議に変更することもできます。

15.6.2 各機能の説明

15.6.2.1 セッションコード

・会議(セミナー)のセッションコードは数字 12 桁で構成されています。

・セッションコードを Web ページ上などであらかじめ公開しておくことで、ホストは招待状を送付せず、参加者を会議(セミナー)に自由に参加させることができます。

その場合、参加者はオンラインページ上で直接セッションコードを入力し、会議(セミナー)に参加します。

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15.6.2.2 会議/セミナー名

・会議（セミナー）の名称を表示します。
・会議（セミナー）の名称は、アクションの[▼]-[編集]から変更できます。

15.6.2.3 作成日

・会議（セミナー）を作成した日が表示されます。

補足:開催日時について

・会議（セミナー）の開催日時は、アクションの[▼]-[編集]から変更できます。
開催日時を編集して、既に終了している会議（セミナー）を再開することも可能です。
・セッション開始権限のある参加者は、開催日時に関係なく、いつでも会議（セミナー）を開始（または終了後に入室）できます。
・セッション開始権限のない一般の参加者が会議に参加する際は、セッション開始権限のあるユーザーが先に会議（セミナー）を開始している必要があります。

15.6.2.4 アクション

①参加する:会議(セミナー)に参加できます。

1) [参加する]をクリックします。
2) Web 会議の最新バージョンのダウンロードが開始されます。
3) ダウンロードが完了し、ダウンロードされたファイルの確認が終了すると、Web 会議(セミナー)に接続が開始されます。
4) サーバーに接続されると、Web 会議のメイン画面が表示されます。

②招待する:招待メールを送信して会議(セミナー)に招待できます。

③セッション情報:会議(セミナー)の基本情報を確認します。
画面右上の×を選択すると、セッション情報の画面を閉じます。

④編集:会議(セミナー)の内容や設定の編集を行います。
「保存」をクリックすると、編集した内容が保存されます。

基本情報	
セッションコード	会議(セミナー)のセッションコードが表示されます
会議/セミナー名	「Web 会議」または「Web セミナー」名を変更します
開催日	会議またはセミナーの開催日時を変更します
詳細	会議またはセミナーの詳細情報を入力します。 入力した内容はセッション情報の「詳細」に表示されます。
ユーザー(「詳細設定を開く」をクリック)	
参加可能なユーザー	「すべて」「登録済ユーザー」「認証済ユーザーのみ」の中から、会議(セミナー)に参加できるユーザーを選択します。 (※登録済ユーザー、認証済ユーザーのみに関しては「⑧登録済ユーザー」をご参照ください。)
開始時の役割	会議(セミナー)開始直後のユーザーの役割を決定します
開始可能な役割	「オーナー」「ホスト」「プレゼンター」「すべて」の中から、セッション(会議またはセミナー)を開始できる参加者の役割を選択します。 開始権限をもつ参加者は、開催日時に関係なくいつでもセッションを開始できます。

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

☑(オプション)	他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する :オーナー以外のユーザーが会議(セミナー)を開始した際に、ホスト(オーナー)に Email で通知を行います
ライセンス管理	**・自動(初期設定):** ライセンス保有数の範囲内で参加者の人数に応じて自動でライセンス数が適用されます。 **・手動:** ライセンス保有数の範囲内で必要なライセンス数を手動で確保できます。 **・自動/無効:** 「自動」と同様にライセンスが適用されますが、変更は無効になります。

⑤共有ファイル

会議(セミナー)で使用する、共有ファイルを追加または削除します。(オンラインページの共有ファイルの「＋」をクリックした場合と同じページが表示されます)

⑥アンケートの作成

登録フォームおよびアンケートを作成します(現在、サポート対象外です)

⑦削除:会議(セミナー)の削除を行います

1) [削除]をクリックします。
2) ポップアップが開きます。間違いないようであれば[OK]をクリックします。
3) 会議(セミナー)が削除されます。

⑧登録済ユーザー:会議(セミナー)に登録を行ったユーザーの情報を確認します。

登録済ユーザー項目は、会議(セミナー)の「参加可能なユーザー」が「すべて」以外になっている場合のみ表示されます。

手順:

1) [登録済ユーザー]をクリックします
2) 登録済のユーザーの氏名、Email、登録日、(開始時の)役割が表示されます
3) 登録済ユーザーの情報を CSV で出力する場合は、[CSV にエクスポート]をクリックします。
   ブラウザにより、拡張子のないファイルで出力される場合があります。
   その場合は必要に応じてファイル名を変更し、拡張子「.csv」を追加してください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

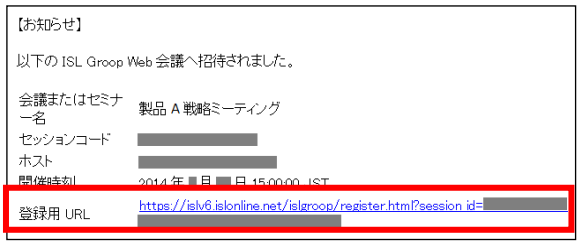
補足:会議/セミナーの登録について

オーナーが会議(セミナー)の参加者を「登録済ユーザー」「認証済ユーザーのみ」に設定している場合は、招待されたユーザーは、会議(セミナー)開始前に参加の登録をしておく必要があります。ユーザーは以下の手順に従って、登録を行います。

手順:

1) オーナーから送付された招待状(Email)を開きます。

2) [登録用 URL]の URL をクリックします。

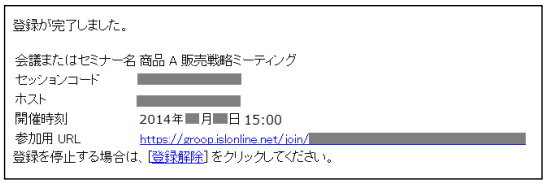


3) Web ブラウザが起動して、会議(セミナー)の登録画面が開きます。
[ユーザー登録情報]欄に必要な情報を入力し、[登録する]をクリックすると、登録が完了します。氏名、Email、ユーザーの役割(パブリッククラウドライセンスのみ)は必須項目です。

※画像はパブリッククラウドライセンスのものです

4) 登録が完了すると、入力した Email 宛に、登録完了のメールが自動で送信されます。
(オーナー側では「登録済ユーザー」をクリックし、登録済ユーザーの確認ができるようになります)

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



補足:ユーザーの登録解除について

オーナーは、「登録済みユーザー」一覧からユーザーの登録解除が可能です。対象のユーザーの[アクション]-[編集]-[ユーザーを削除]を選択します。複数のユーザーの登録を解除する場合には、対象のユーザーにチェックを入れ、[一括操作]-[ユーザーを削除]からも登録解除が可能です。

補足:「認証済ユーザーのみ」に関して

　オーナーが会議（セミナー）の参加者を「認証済ユーザーのみ」に設定した場合、オーナーが許可するまでユーザーは会議に参加できません。

オーナーは「登録済ユーザー」一覧からユーザーの会議参加を許可/拒否できます。

対象のユーザーにチェックを入れて、[一括操作]からユーザーの会議参加の許可/拒否を選択します。

また、[アクション]-[編集]からユーザーごとに会議参加の許可/拒否を変更することも可能です。

ユーザーには、オーナーが許可するまで登録認証待ちの状態が表示されます。

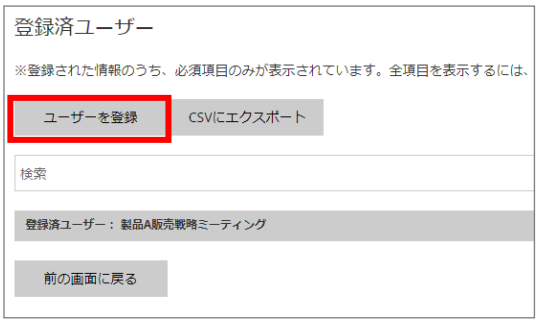
2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

オーナーに許可されたユーザーは、[開始する]からプログラムのダウンロードができ、会議に参加できます。

補足:ユーザーの登録に関して

「登録済ユーザー」の情報はオーナー側からも登録できます。

オーナー側から登録を行う場合は [ユーザーを登録]ボタンをクリックしてください。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

15.6.2.5　共有ファイル

会議（セミナー）で使用する共有ファイルを追加または削除します。

ホストおよびプレゼンターは共有ファイルを Web 会議のホームタブの[ファイル]から開くことができます。

※一度にアップロードできる共有ファイルのサイズの上限は 10MB です。

■ファイルの追加

手順：

1）共有ファイルの[＋]をクリックします。既に共有ファイルをアップロードしている場合は、ファイルのアイコンをクリックします。

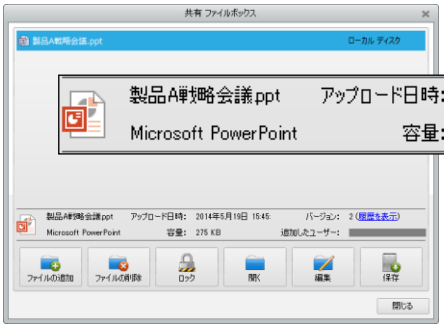
2）共有ファイルの画面が開きます。

3）[ファイルを選択]をクリックし、追加（アップロード）するファイルを選択します。

4）共有ファイルが一覧に追加されます。

補足：ファイルのバージョンについて（共有ファイルボックス）

既に存在する共有ファイルと同名のファイルをアップロードした場合、ファイルおよびバージョン No の両方が更新されます。（Web 会議メイン画面の[ホーム] - [ファイル] - [履歴を表示]をクリックすると、ファイルの履歴が表示されます。）



※旧バージョンのファイルをダウンロードする場合は[履歴を表示]をクリックし、該当のファイルを選択して[保存]を行います

■ファイルの削除

手順：

1）共有ファイルのファイルアイコンをクリックします。

2）共有ファイルのページが開きます。アクション欄の[削除]をクリックします。

3）確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックするとファイルが削除されます。

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■ロック/ロック解除

共有ファイルが他のユーザーから編集/削除されないよう、会議（セミナー）開始前にロックをかけておくことができます。

手順：

1）共有ファイルのファイルアイコンをクリックします。

2）共有ファイルのページが開きます。 [ロック]/[ロック解除]をクリックします。

3）共有ファイルがロック（またはロック解除）されます。

15.6.2.6 新規 Web 会議、新規 Web セミナーの作成

新規に会議（セミナー）を作成します。

（会議およびセミナーの作成方法については、**「エラー! 参照元が見つかりません。」**をご参照ください）

会議（セミナー）は作成後、[▼]-[編集]で内容を変更できます。

15.6.2.7 セッション履歴

オンラインページで、セッション（Web 会議、Web セミナー）の履歴を確認できます。

手順：

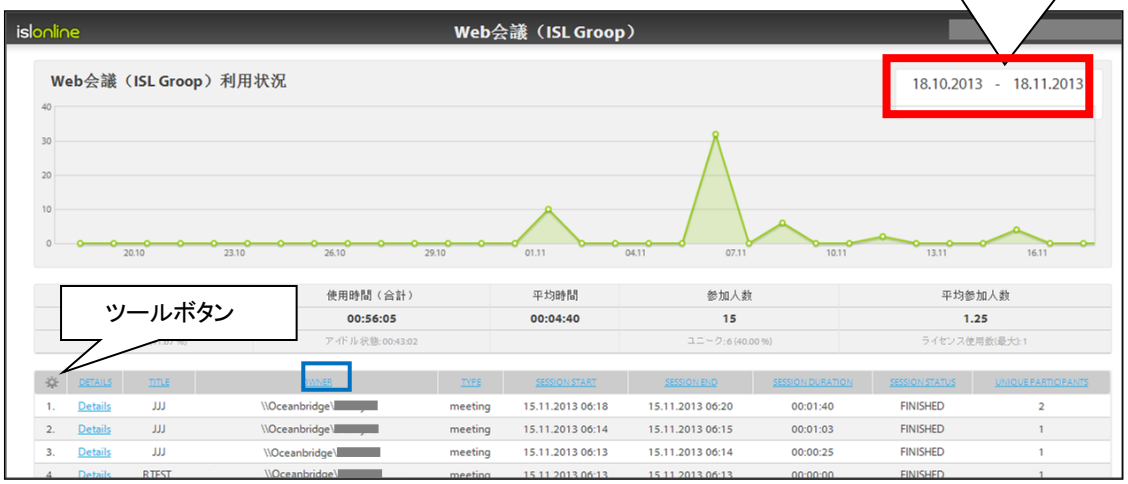
1）Online ScreenAssist ホームページにアクセスします。

管理者（ライセンスオーナー）のアカウントでログインします。

2）[履歴]タブをクリックします。

3）[Web 会議]をクリックします。

4）セッション履歴が表示されます。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

16. Wake On LAN 機能の設定

Wake On LAN(以下 WOL)は、ローカルエリアネットワーク(LAN)に Magic Packet(マジックパケット)を送信することにより端末を遠隔で起動する技術です。

Online ScreenAssist の WOL 機能では、Agent 機能がインストールされている端末から
Magic Packet をブロードキャストアドレス宛に送信することで、同一ネットワーク内の対象端末を遠隔起動します。

■利用条件や設定について

WOL 機能をご利用いただくには、Online ScreenAssist のインストールの他に、以下の設定が必要になります。

・お使いの PC が Wake On LAN に対応している。

Wake On LAN は、ハードウェアの機能となります。

詳しくはお使いの製品のメーカーHP をご参照ください。

・内向き UDP ポート 2304 が解放されている

ネットワーク機器の内向きのポート(プロトコル:UDP)2304 番が解放されている必要があります。

・ルーターがブロードキャストアドレスを許可している

ネットワークを構成するルーターがブロードキャスト(ダイレクトブロードキャスト)アドレスを許可している必要があります。

※設定はお使いのネットワーク機器によって異なります。詳しくはお使いの製品のメーカーHP をご参照ください。

・Online ScreenAssist の Agent が同一ネットワーク内に存在する。

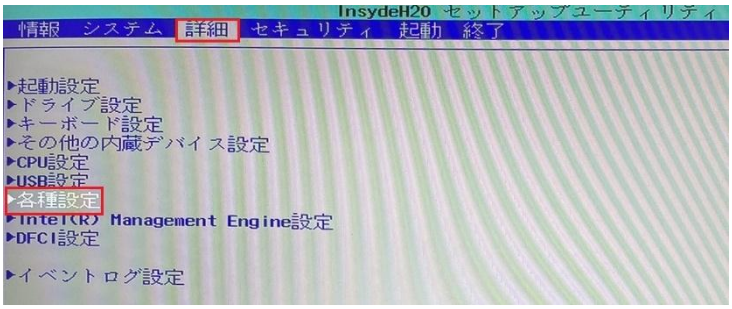
16.1 PC の BIOS 設定

BIOS の設定例(Dell™ OptiPlex™ 780 の場合)

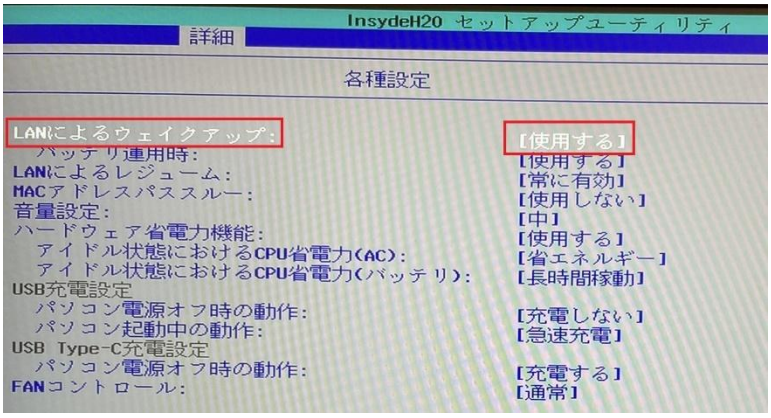
BIOS の設定例(富士通 LIFEBOOK A シリーズの場合)

(1) 起動中に[F2]キーを押下、BIOS 画面を起動します。

(2) [詳細] - [各種設定]を選択し、[Enter]キーを押下します。



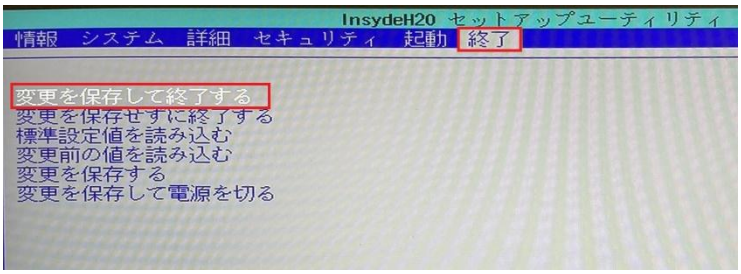
(3) [LAN によるウェイクアップ]を[使用する]に変更、[ESC]キーでメニューに戻ります。



Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(4) [終了]を選択し、[変更を保存して終了する]を選択、[Enter]キーを押下します。



(5) パソコンを再起動します。

16.2 Windows OS の高速スタートアップを無効に設定する

「高速スタートアップ」を無効にする手順（Windows 10 の場合）

(1) 「コントロール パネル」、「システムとセキュリティ」から「電源オプション」を選択します。

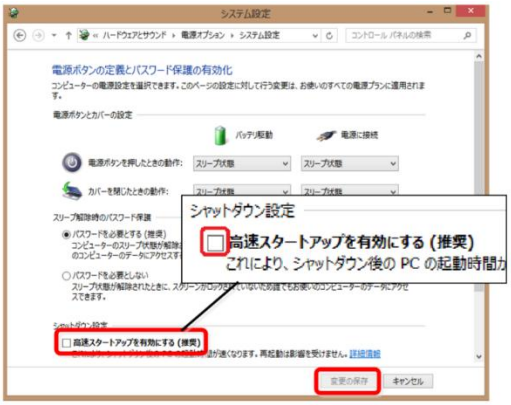
(2) 「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。

(3) 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。

(4) 「高速スタートアップを有効にする（推奨）」のチェックを外します。

(5) 「変更の保存」をクリックして保存します。

(6) 端末を再起動します。



16.3ネットワークアダプター（LAN カード）の設定

ネットワークアダプタの設定（Intel® 82567LM-3 Gigabit Network Connection の場合）

(1) 「コントロール パネル」-「ネットワークとインターネット」から「ネットワークと共有センター」を選択します。

(2) 「アダプタの設定の変更」をクリックします。

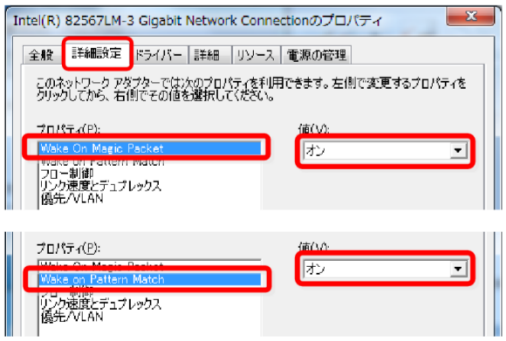
(3) 「イーサネット」（対象となるネットワークアダプタ）を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

(4) 「構成」をクリックします。

(5) 「詳細設定」をクリックし、「Wake On Magic Packet」 および「Wake On Pattern Match」の値を「オン」にします。

Provided by santec. Powered by ISL Online

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved



(6) 続けて「電源の管理」タブをクリックして、以下 3 つのチェックを有効にします。

・「電源節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」

・「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」

・「Magic Packet でのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」

16.4 Agent が同一ネットワーク内に存在する

起動したい端末と同一ネットワーク内に、Magic Packet の送信元となる、Online ScreenAssist インストール済みの端末が最低 1 台必要です（WOL を実行するオペレーターが Magic Packet の送信元となる端末の Online ScreenAssist に接続できる必要はありません）。

また、Magic Packet の送信元となる端末は Online ScreenAssist Agent サービスが起動していて、[オンライン]状態である必要があります。

休止/スリープ/スタンバイの状態では Online ScreenAssist のサービスは起動しません。

対象端末と同一ネットワーク上にあるオンライン状態の端末の中から Magic Packet の送信元となる端末がランダムに選ばれ、Magic Packet の送信を行います（最大 3 台）。

Magic Packet の送信元と対象端末の間に L3 スイッチやルーターが存在し、それらの機器の電源がオフになっている場合は対象端末に Magic Packet が到達しません。

補足：所属するネットワークの判定基準について

対象端末と Magic Packet の送信元となる端末が所属するネットワークの判定方法は、Online ScreenAssist のバージョンにより異なります（最新版へのアップグレードを推奨します）。

・Online ScreenAssist Agent 4.4.1823.32 以降

Online ScreenAssist Agent をインストールしている端末は、デフォルトゲートウェイの MAC アドレスをサーバーに送信します。

サーバーはこの MAC アドレスの値を基に所属するネットワークを判定し、同じ MAC アドレスのデフォルトゲートウェイを持つ端末が存在しない場合は、IP アドレスを使用して判定します。

・Online ScreenAssist Agent 4.4.1823.32 以前

対象端末が最後にオンライン状態だった時点のグローバル IP アドレスを基に所属するネットワークを判定します。

同じグローバル IP アドレスを持つネットワークセグメントが多数存在する場合、選ばれた端末から送信された Magic Packet が対象端末に到達しない可能性があります。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

17. Online ScreenAssist Agent のアンインストール

17. 1常駐接続リストから削除する

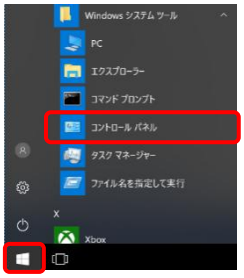
Online ScreenAssist の常駐接続リストから削除するとリモートアクセスは利用できなくなります。
接続先 Online ScreenAssist Agent のアンインストールをした場合、常駐接続リストからは削除されず「オフライン」と表示されます。

(1) Online ScreenAssist ログインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします。
(2) 常駐接続リストから削除対象の接続先 PC のプルダウンメニューで「削除」を選択します。
(3) 確認のメッセージが表示されるので「」を選択します。

17. 2常駐接続プログラムのアンインストール：Windows の場合

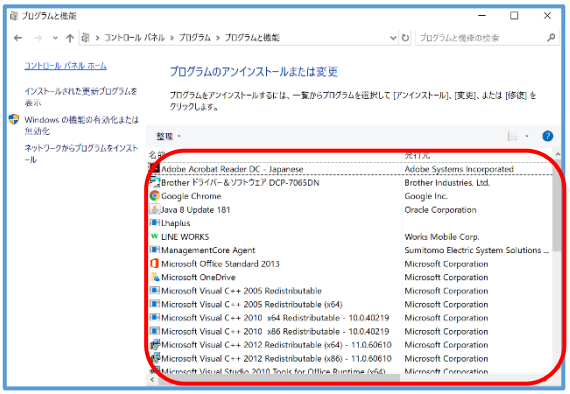
■常駐プログラムをアンインストールする

(1) Windows スタートボタン-[Windows システムツール]から[コントロールパネル]を開きます。



(2) プログラムのアンインストールを選択します。

(3) プログラムのリストの中から Online ScreenAssist Agent を選択し、アンインストールを行います。



2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

■ハードディスク内のすべての関連ファイルを削除する

アンインストール作業の後、以下のインストールフォルダーも削除します。

▼32bit OS の場合

C:¥Program Files¥OnlineScreenAssist¥OnlineScreenAssist Agent

▼64bit OS の場合

C:¥Program Files (x86)¥OnlineScreenAssist¥OnlineScreenAssist Agent

■レジストリに設定した値を削除する

以下のレジストリキーを削除します。

《注意》

レジストリを削除すると、ユーザーパスワードやアクセスパスワードなどの接続ための設定値や接続を行ったサーバーの履歴などが消去されます。ご注意ください。

▼32bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥AutoTransport

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥Grid

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

▼64bit OS の場合

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥AutoTransport

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥Grid

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

17. 3常駐接続プログラムのアンインストール：Mac の場合

Finder の［アプリケーション」- [OnlineScreenAssist] - [OnlineScreenAssistUninstall.app］を起動して、プログラムをアンインストールします。

アンインストールすることでリモートアクセスの利用はできなくなりますが、Online ScreenAssist の一部の情報が保持されている状態です。すべての情報を削除する場合は次項をご参照ください。

■すべての情報を削除する場合

アンインストール後に、以下のフォルダーを削除することでインストール時の情報等をすべて削除することができます。

- /etc/islonline/AutoTransport
- /etc/islonline/Grid
- /etc/islonline/ISL+AlwaysOn

上記フォルダーは通常 Finder から開くことができません。ターミナルを起動して表示し、削除します。

以下の手順をご参照ください。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

(1) Mac でターミナルを起動します
(2) ターミナルに「open /etc]と入力し、return キーを押します。
(3) etc フォルダーが開きますので以下のフォルダーを削除してください。

- /etc/islonline/AutoTransport
- /etc/islonline/Grid
- /etc/islonline/ISL+Alwayson

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

18. 留意事項

- クライアントが Mac の場合、ファイル転送で送信した「フォルダー」はゴミ箱に移動できません。
- 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」＋「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- メッセージの一部に英語が表示されます。
- 複数のディスプレイを持つ端末に常駐接続を行った場合、正しいモニターが選択できません。
- 常駐（高速接続）で Mac 端末に接続後、ファイル転送で送信したフォルダーの置き換え（上書き）はできません。
- ログインページの「常駐接続」で「接続」をクリックした後に「パスワードを保存する」を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- 接続元 PC の OS が Windows 8、8.1、10 でかつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）でログインしていた場合は、常駐接続を行った際にデスクトップ共有開始直後に自動で「管理者モード」および「セッション再接続」が有効になります。
- クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です
- [OnlineScreenAssist Agent 設定] > [詳細設定] > [接続] > [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- 高速接続（接続オプション「OnlineScreenAssist Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
- テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
- 遠隔プリントは利用できません
- [OnlineScreenAssist Agent 設定] > [履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時（UTC）が適用されます。
- [OnlineScreenAssist Agent 設定] > [Show Flags]はサポート対象外です。
（主にトラブルシューティングで使用します）
- [OnlineScreenAssist Agent 設定] > [フィルタ]の設定は、Android および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- オンラインページの「共有ファイル」には、以下の制限事項がございます。
- 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
- テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- [OnlineScreenAssist Agent 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート
- （パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます。
- Web 会議のセミナー「登録フォーム」、「アンケートの作成」はご利用いただけません。
- 画面共有時の「アプリケーション共有」機能はご利用いただけません。
- アクション欄の「編集」>「詳細設定を開く」>「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」はご利用いただけません。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

- 接続先 PC が AMD 社製の「APU」を搭載した Windows 11 端末の場合、ブラックスクリーン機能を有効にすると、接続先 PC がスリープ状態となります。
  その場合、ブラックスクリーン機能をお使い頂く事ができません。

2018-2025 ©santec Japan Corporation All Right Reserved

OnlineScreenAssist 販売元
製品サポート

santec Japan Corporation

〒485-0802

愛知県小牧市大草年上坂 5823

URL：http://www.santec.com